SII OPOS
アプリケーションプログラマーズガイド

Rev.01

[対象製品]
MP-B21Lシリーズ
MP-B30Lシリーズ
MP-B30シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01　　2024年　11月

©セイコーインスツル株式会社　2024
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。
本書を第三者に無断で頒布することを禁じます。
Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。
BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供する「SII OPOS」（以降：本ソフトウェア）について説明します。

本ソフトウェアは、プリンターを制御するOPOS 第1.14.1版POSプリンターデバイスクラス準拠のOpenPOSコントロールです。

対象製品

本書の対象製品について下記に記載します。

	デバイス名	本書での記載
POSPrinter	MP-B21L MP-B30L MP-B30	プリンター

本ソフトウェアの利用にあたっては「OpenPOS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第1.14.1版」（以降：OPOS APG V1.14.1）も合わせて参照してください。

本書の表記

本書の表記について説明します。

操作と表示

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。

- Windows 10の画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

用語一覧

本書で使用する用語について下記の通りに定義します。

用語	内容
OPOS APG V1.14.1	「OpenPOS for OLE Application Programmer's Guide 日本版仕様書第1.14.1 版」
OPOS仕様	OPOS APG V1.14.1で定義されたPOSデバイスインターフェースの仕様。
OPOSコントロール	Windows上に構築されたPOSシステムに、POSデバイス（POS用周辺機器）を容易に統合するための機能を提供するActiveXコントロール準拠のデバイスドライバ。 本書に記載されたOPOSコントロールは、OPOS仕様で定義されたAPIをサポートする。
デバイスクラス	OPOS仕様で定義されたプロパティ、メソッド、イベントのセットを共有するPOSデバイス毎のカテゴリ。本書ではPOSプリンターのデバイスクラスを扱う。
デバイス名	OPOSコントロールを利用する際に指定する制御対象となるPOSデバイスを識別するための名称。 同一デバイスクラス中では重複したデバイス名を作成することはできない。
設定プログラム	本ソフトウェアで提供する、デバイスの追加・設定変更を行うプログラム。 本ソフトウェアをインストールすると、コンピューターには[SIIOPOSSettingUtility]としてインストールされる。
論理デバイス名	デバイス名の別名。設定プログラムで設定した任意の名前。
コントロールオブジェクト	デバイスクラスごとに、プロパティ、メソッド、イベントのセットをアプリケーションに提供するもの。
サービスオブジェクト	コントロールオブジェクトより呼び出されOPOSが規定する機能を、各デバイス向けに実行するもの。
POSプリンターコントロール	POSプリンターデバイスクラスのOPOSコントロール。制御対象デバイスはプリンター。
初期値	使用可能条件を満たした直後の値。
改行量	印刷行の高さ（印字行の高さと行間スペースの合計値）。
技術説明書	下記の技術説明書。 ・MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B30Lシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B30シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書
取扱説明書	下記の取扱説明書。 ・MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B30Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B30シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書
プリンターコマンド	「技術説明書」に記載されている、プリンターを制御するための命令。

目次

1章 概要 1-1

1.1 構成 1-2
1.1.1 構造図 1-2
1.2 プリンターの設定 1-3
1.3 制限事項 1-5
1.3.1 共通 1-5
1.3.2 POSプリンターコントロール 1-5

2章 インストール 2-1

3章 設定プログラムの操作方法 3-1

3.1 画面構成 3-2
3.1.1 メニューバー 3-2
3.1.2 デバイスビュー 3-3
3.1.3 設定ビュー 3-3
3.2 機能 3-8
3.2.1 デバイスの追加 3-8
3.2.2 デバイスの設定変更 3-19
3.2.3 デバイスの削除 3-20
3.2.4 論理デバイス名の追加と削除 3-21
3.2.5 デバイスの対話テスト 3-25
3.2.6 プリンターのメモリ設定（PrinterUtility） 3-27

4章 OPOSコントロール 4-1

4.1 POS プリンターコントロール 4-2

5章 POSプリンターコントロールのインターフェイス仕様 5-1

5.1 一覧 5-1
5.1.1 共通プロパティ 5-1
5.1.2 専用プロパティ 5-2
5.1.3 共通メソッド 5-6
5.1.4 専用メソッド 5-7
5.1.5 イベント 5-7
5.2 印字データとエスケープシーケンス 5-8
5.2.1 指定時のみ動作するエスケープシーケンス 5-8
5.2.2 変更されるまで有効となるエスケープシーケンス 5-11
5.2.3 印刷メソッドの終了または「ノーマル」エスケープシーケンスによってリセットされるエスケープシーケンス 5-11

5.3 共通プロパティ 5-13
BinaryConversion プロパティ R/W 5-13
CapCompareFirmwareVersion プロパティ 5-14
CapPowerReporting プロパティ 5-14
CapStatisticsReporting プロパティ 5-14
CapUpdateFirmware プロパティ 5-15
CapUpdateStatistics プロパティ 5-15
CheckHealthText プロパティ 5-15
Claimed プロパティ 5-16
ControlObjectDescription プロパティ 5-16
ControlObjectVersion プロパティ 5-16
DeviceDescription プロパティ 5-16
DeviceEnabled プロパティ R/W 5-17
DeviceName プロパティ 5-17
FreezeEvents プロパティ R/W 5-18
OpenResult プロパティ 5-18
OutputID プロパティ 5-19
PowerNotify プロパティ R/W 5-19
PowerState プロパティ 5-20
ResultCode プロパティ 5-20
ResultCodeExtended プロパティ 5-21
ServiceObjectDescription プロパティ 5-22
ServiceObjectVersion プロパティ 5-22
State プロパティ 5-23
5.4 専用プロパティ 5-24
AsyncMode プロパティ R/W 5-24
CapCharacterSet プロパティ 5-24
CapCoverSensor プロパティ 5-25
CapMapCharacterSet プロパティ 5-25
CapRec2Color プロパティ 5-25
CapRecBarCode プロパティ 5-26
CapRecBitmap プロパティ 5-26
CapRecBold プロパティ 5-26
CapRecCartridgeSensor プロパティ 5-26
CapRecColor プロパティ 5-27
CapRecDhigh プロパティ 5-27
CapRecDwide プロパティ 5-27
CapRecDwideDhigh プロパティ 5-28
CapRecEmptySensor プロパティ 5-28
CapRecItalic プロパティ 5-28
CapRecLeft90 プロパティ 5-28
CapRecMarkFeed プロパティ 5-29
CapRecNearEndSensor プロパティ 5-29
CapRecPageMode プロパティ 5-29
CapRecPapercut プロパティ 5-30
CapRecPresent プロパティ 5-30
CapRecRight90 プロパティ 5-30
CapRecRotate180 プロパティ 5-30

CapRecRuledLine プロパティ 5-31
CapRecStamp プロパティ 5-31
CapRecUnderline プロパティ 5-31
CapTransaction プロパティ 5-32
CartridgeNotify プロパティ R/W 5-32
CharacterSet プロパティ R/W 5-32
CharacterSetList プロパティ 5-33
CoverOpen プロパティ 5-34
ErrorLevel プロパティ 5-34
ErrorStation プロパティ 5-34
ErrorString プロパティ 5-35
FlagWhenIdle プロパティ R/W 5-35
FontTypefaceList プロパティ 5-36
MapCharacterSet プロパティ R/W 5-36
MapMode プロパティ R/W 5-36
PageModeArea プロパティ 5-38
PageModeDescriptor プロパティ 5-39
PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W 5-40
PageModePrintArea プロパティ R/W 5-41
PageModePrintDirection プロパティ R/W 5-42
PageModeStation プロパティ R/W 5-44
PageModeVerticalPosition プロパティ R/W 5-44
RecBarCodeRotationList プロパティ 5-45
RecBitmapRotationList プロパティ 5-45
RecCartridgeState プロパティ 5-46
RecCurrentCartridge プロパティ R/W 5-46
RecEmpty プロパティ 5-46
RecLetterQuality プロパティ R/W 5-47
RecLineChars プロパティ R/W 5-47
RecLineCharsList プロパティ 5-54
RecLineHeight プロパティ R/W 5-56
RecLineSpacing プロパティ R/W 5-56
RecLinesToPaperCut プロパティ 5-57
RecLineWidth プロパティ 5-57
RecNearEnd プロパティ 5-59
RecSidewaysMaxChars プロパティ 5-59
RecSidewaysMaxLines プロパティ 5-59
RotateSpecial プロパティ R/W 5-60
5.5 共通メソッド 5-61
CheckHealth メソッド 5-61
ClaimDevice メソッド 5-62
ClearOutput メソッド 5-62
Close メソッド 5-63
CompareFirmwareVersion メソッド 5-63
DirectIO メソッド 5-63
Open メソッド 5-65
ReleaseDevice メソッド 5-66
ResetStatistics メソッド 5-66

RetrieveStatistics メソッド 5-67
UpdateFirmware メソッド 5-70
UpdateStatistics メソッド 5-70
5.6 専用メソッド 5-71
BeginInsertion メソッド 5-71
BeginRemoval メソッド 5-71
ChangePrintSide メソッド 5-71
ClearPrintArea メソッド 5-71
CutPaper メソッド 5-72
DrawRuledLine メソッド 5-72
EndInsertion メソッド 5-74
EndRemoval メソッド 5-74
MarkFeed メソッド 5-74
PageModePrint メソッド 5-77
PrintBarCode メソッド 5-79
PrintBitmap メソッド 5-92
PrintImmediate メソッド 5-93
PrintMemoryBitmap メソッド 5-94
PrintNormal メソッド 5-96
PrintTwoNormal メソッド 5-97
RotatePrint メソッド 5-97
SetBitmap メソッド 5-99
SetLogo メソッド 5-100
TransactionPrint メソッド 5-101
ValidateData メソッド 5-102
5.7 イベント 5-105
DirectIOEvent イベント 5-105
ErrorEvent イベント 5-105
OutputCompleteEvent イベント 5-106
StatusUpdateEvent イベント 5-106

6章 本ソフトウェアが使用するレジストリについて 6-1

6.1 POSプリンターコントロール 6-1

7章 ヘッダファイルについて 7-1

7.1 POSプリンターヘッダファイル 7-1

1章　概要

本章では本ソフトウェアの概要について説明します。

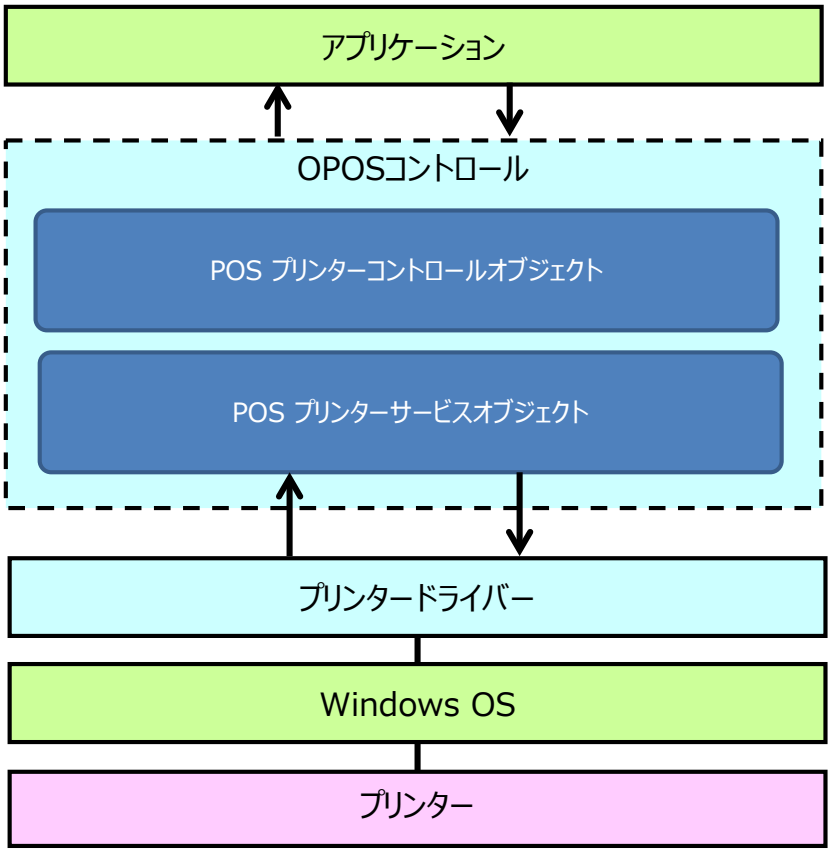
本ソフトウェアはActiveXコントロール仕様に準拠します。プロパティ、メソッド、イベントをアプリケーションに提供します。本ソフトウェアはアプリケーションの実行時にはUI上には見えず、それらを使用するアプリケーションだけが、メソッド及びプロパティを通じて処理要求を行います。アプリケーションは、メソッドの戻り値とパラメータ、プロパティ、イベントを通じて、処理結果を受け取ります。本ソフトウェアはインプロセスサーバとして実装されています。

本コントロールが使用するヘッダファイルの内容は、OPOS APG V1.14.1の「付録B OPOSで定義するヘッダファイル」を参照してください。また、追加として本ソフトウェアの固有値を定義しています。この値については本書の「7章 ヘッダファイルについて」を参照してください。

1.1　構成

1.1.1　構造図

本ソフトウェアの構成を示し、本書の対象範囲を破線で示します。



1.2 プリンターの設定

本ソフトウェア利用時には、プリンターのメモリスイッチが下記の[値]に設定されます。
メモリスイッチの詳細については、「取扱説明書」を参照してください。

- **MP-B21L、MP-B30L**

MS	機能	値	備考
1-2	マーク・ギャップモード選択 (Mark/Gap Mode)	0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムの[MarkMode]により左記のどちらかの[値]に設定できます。
1-3 ～ 1-5	コマンド体系選択 (Command System)	000B : ESC/POS	**ClaimDevice**の実行で強制的に左記の[値]に設定されます。
1-6	エラー時データ破棄選択 (Error Through)	MP-B21L 0 : 有効	**ClaimDevice**の実行で強制的に左記の[値]に設定されます。
		MP-B30L 0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムのデバイス追加時にPrinterDriverを指定した場合は「1：無効」、それ以外を指定した場合は「0：有効」に設定されます。
2-3 ～ 2-4	印字品質選択 (Print Quality)	01B : 品質2 10B : 品質1 11B : 標準	設定プログラムの[PrintSpeed]により左記のいずれかの[値]に設定できます。
3-1 ～ 3-8	印字幅 (Print Width)	MP-B21L 00010101B : 21mm/168dots 00010110B : 22mm/176dots 00011000B : 24mm/192dots 00011010B : 26mm/208dots 00011100B : 28mm/224dots 00011110B : 30mm/240dots 00100000B : 32mm/256dots 00100010B : 34mm/272dots 00100100B : 36mm/288dots 00100110B : 38mm/304dots 00101000B : 40mm/320dots 00101010B : 42mm/336dots 00101100B : 44mm/352dots 00101101B : 45mm/360dots 00101110B : 46mm/368dots 00110000B : 48mm/384dots	設定プログラムの[PrintWidth]により左記のいずれかの[値]に設定できます。

MS	機能	値	備考
3-1 ～ 3-8	印字幅 (Print Width)	MP-B30L 00101101B : 45mm/360dots 00101110B : 46mm/368dots 00110000B : 48mm/384dots 00110010B : 50mm/400dots 00110100B : 52mm/416dots 00110110B : 54mm/432dots 00111000B : 56mm/448dots 00111010B : 58mm/464dots 00111100B : 60mm/480dots 00111110B : 62mm/496dots 01000000B : 64mm/512dots 01000010B : 66mm/528dots 01000100B : 68mm/544dots 01000110B : 70mm/560dots 01001000B : 72mm/576dots	設定プログラムの[PrintWidth]により左記のいずれかの[値]に設定できます。
9-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 : 有効	**ClaimDevice**の実行で強制的に左記の[値]に設定されます。
9-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 : 有効	

参考

- MP-B21Lの場合は、使用する用紙に合わせてプリンターのメモリスイッチMS2-8(用紙幅)を正しく設定してください。メモリスイッチの詳細については、「MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書」を参照してください。

- **MP-B30**

MS	機能	値	備考
1-2	マークモード選択 (Mark Mode)	0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムの[MarkMode]により左記のどちらかの[値]に設定できます。
1-6	エラー時データ破棄選択 (Error Through)	0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムのデバイス追加時にPrinterDriverを指定した場合は「1：無効」、それ以外を指定した場合は「0：有効」に設定されます。
2-3 ～ 2-4	印字品質選択 (Print Quality)	01B : 品質2 10B : 品質1 11B : 標準	設定プログラムの[PrintSpeed]により左記のいずれかの[値]に設定できます。
9-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 : 有効	**ClaimDevice**の実行で強制的に左記の[値]に設定されます。
9-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 : 有効	

1.3 制限事項

本ソフトウェアの制限事項について説明します。

1.3.1 共通

TCP/IP接続で複数のコンピュータから1台のプリンターを同時に利用する場合は、**TransactionPrint**を使用して他のコンピュータからの印字データが割り込まないようにしてください。

1.3.2 POSプリンターコントロール

OPOS仕様で定義されたPOSプリンターデバイスクラスの全てのインターフェースが提供されますが、下記の制限があります。

① ジャーナル及びスリップ印刷に関するメソッド及びプロパティ設定はサポートしていません。

② 下記の機能はサポートしていません。

- 用紙カット
- フィードと用紙カット
- フィードとカットとスタンプ印刷
- スタンプ印刷
- 逆フィード
- フォントタイプ指定
- イタリック
- カスタムカラー
- 網掛け文字
- 色指定
- サブ スクリプト
- スーパー スクリプト
- 取り消し線

③ 下記のメソッドはイネーブル後にいずれも必ずOPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。

- **BeginInsertion**
- **EndInsertion**
- **BeginRemoval**
- **EndRemoval**
- **ChangePrintSide**
- **CutPaper**
- **PrintTwoNormal**

④ **DirectIOEvent**（デバイス固有イベント）はサポートしていません。

⑤ 設定プログラムにおいて、プリンターの設定項目[ProcessCompletionTiming]が「Printed」に設定されている場合、印字動作の制御用に、プリンターコマンド「実行応答リクエスト」が本ソフトウェアで使用されます。そのため、「埋め込みデータの送信」エスケープシーケンス（ESC|#E）でプリンターコマンド「実行応答リクエスト」を送信すると予期せぬ動作をする場合があります。

⑥ エラー状態となった場合、POSプリンターコントロールからプリンターコマンド「ハードウェアリセット」を送信してプリンターの印字を中止しますが、POSプリンターコントロールがプリンターの印字を中止する前に多少印字が行われる場合があります。

⑦ Bluetooth接続の場合、印字中にデバイスが復帰可能エラーになると、エラーの解除から正常状態に復帰するまでに時間がかかることがあります。エラー解除後の最初の処理はエラー解除から10秒程度おいてから実施してください。

2章　インストール

インストールについては、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

3章　設定プログラムの操作方法

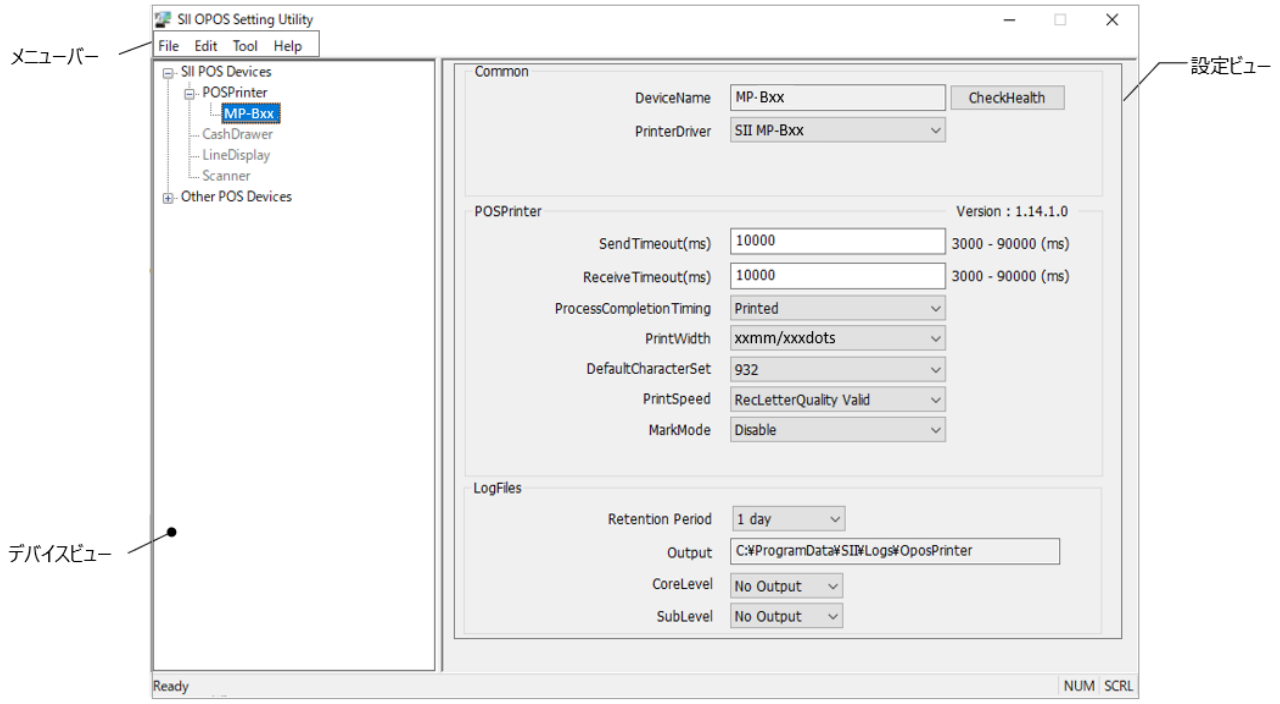
本章では本ソフトウェアで提供する設定プログラムについて説明します。

注意

◆ 本ソフトウェアの使用にはコンピューターの管理者権限が必要です。

3.1 画面構成

設定プログラムの画面構成について説明します。



項目	説明
メニューバー	設定プログラムのメニューバーです。 メニューバーの項目については、「3.1.1メニューバー」を参照してください。
デバイスビュー	システムに登録されたデバイスのデバイスタイプ、デバイス名及び論理デバイス名をツリーで表示します。
設定ビュー	「デバイスビュー」で選択されたデバイスの設定内容を表示します。 デバイスの項目については、「3.1.3(1) POSPrinter」を参照してください。

3.1.1 メニューバー

項目		説明
File	Exit	設定プログラムを終了します。
Edit	Add Device...	新しいデバイスを追加します。
	Add Logical Device Name...	新しい論理デバイス名を追加します。
	Delete	選択中のデバイスを削除します。
Tool	CheckHealth	選択中のデバイスに対して対話テストを実行します。
Help	About Utility...	設定プログラムのバージョン情報を表示します。

3.1.2　デバイスビュー

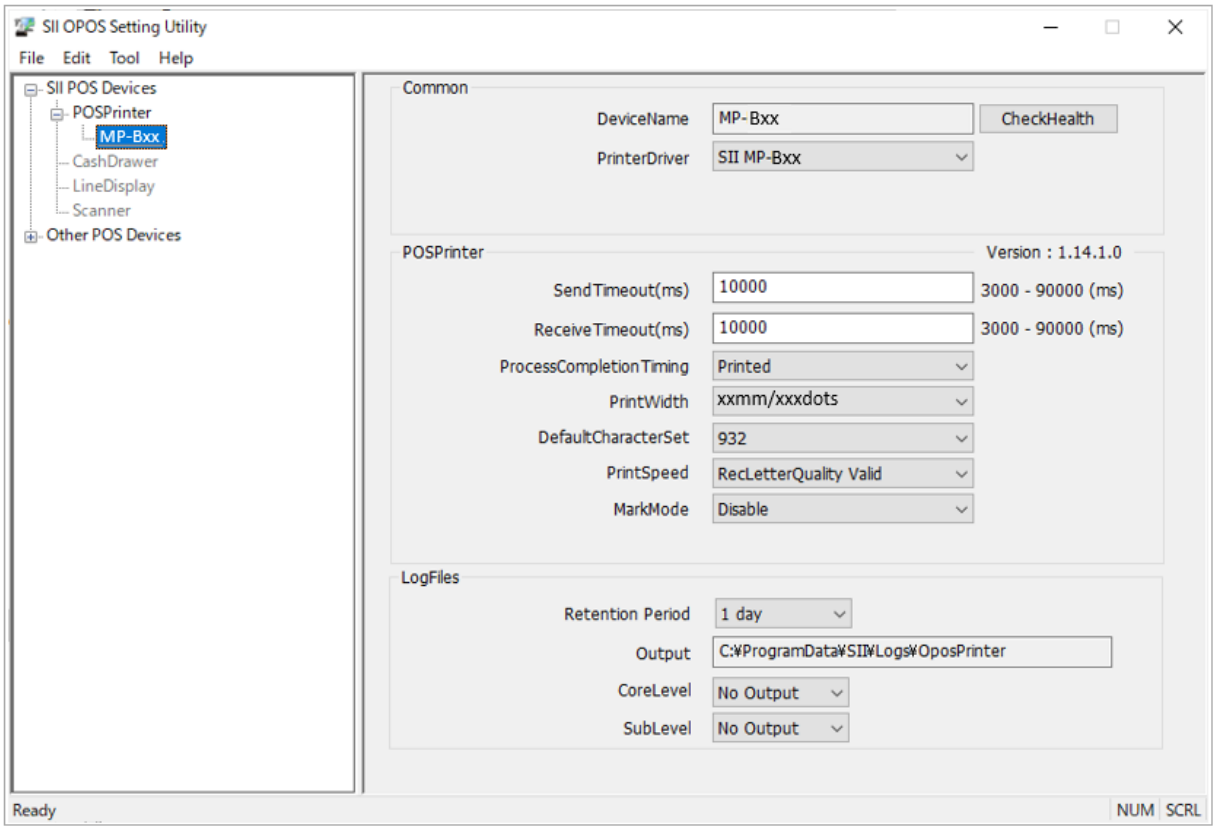
名称	説明
SII POS Devices	SII製のデバイスを表示します。 「デバイスビュー」でデバイス名が選択されている場合、デバイスの削除及び論理デバイス名の追加ができます。
Other POS Devices	SII製以外のデバイスを表示します。 デバイスの設定変更はできません。

3.1.3　設定ビュー

(1) POSPrinter

- プリンタードライバー選択時の設定項目

デバイスを追加した際に、プリンタードライバーを選択した場合に表示される「設定ビュー」の項目と設定内容について下記に説明します。



参考

- プリンターがサポートする項目が表示されます。

項目	説明	設定内容（" " : 初期値）
Common		
DeviceName	デバイス名	「デバイスビュー」で選択したプリンターのデバイス名
CheckHealth	選択中のデバイスに対する 対話テストの実行	-
PrinterDriver	プリンターとの通信に使用する プリンタードライバー	-
POSPrinter		
SendTimeout(ms)	プリンターとの通信における 送信タイムアウト値(ミリ秒)	3000 ～ 90000（10000）
ReceiveTimeout(ms)	プリンターとの通信における 受信タイムアウト値(ミリ秒)	3000 ～ 90000（10000）
ProcessCompletionTiming	メソッド完了のタイミング	Data Transmitted(データ送信の完了) Printed(印字の完了)
PrintWidth	印字幅/有効ドット数	MP-B21L 21mm/168dots 22mm/176dots 24mm/192dots 26mm/208dots 28mm/224dots 30mm/240dots 32mm/256dots 34mm/272dots 36mm/288dots 38mm/304dots 40mm/320dots 42mm/336dots 44mm/352dots 45mm/360dots 46mm/368dots 48mm/384dots MP-B30L 45mm/360dots 46mm/368dots 48mm/384dots 50mm/400dots 52mm/416dots 54mm/432dots 56mm/448dots 58mm/464dots 60mm/480dots 62mm/496dots 64mm/512dots 66mm/528dots 68mm/544dots 70mm/560dots 72mm/576dots
PaperSize	紙幅/有効ドット数	MP-B30 80mm/576dots

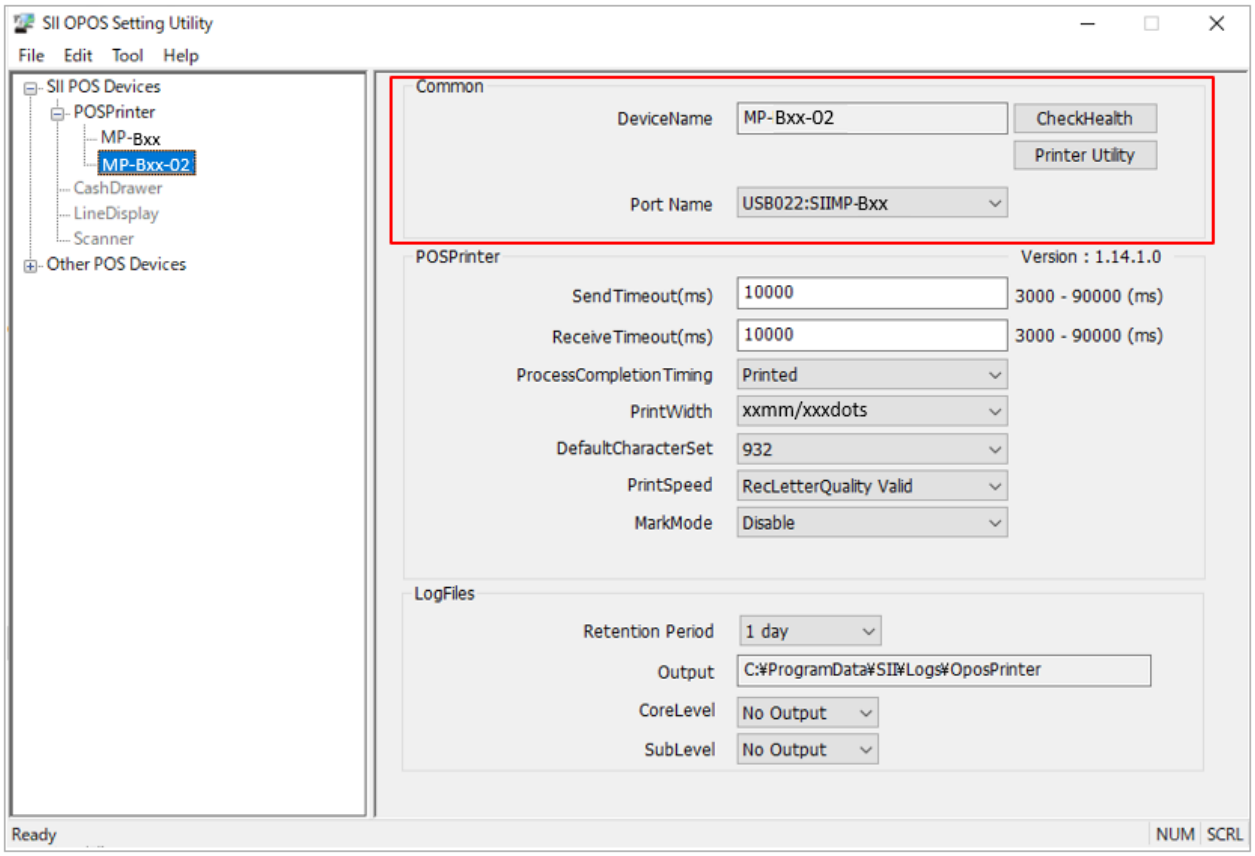
項目		説明	設定内容（" " : 初期値）
	DefaultCharacterSet	文字セットの種類 **CharacterSet**はこの値で初期化されます。 詳細は**CharacterSet**を参照してください。	437 737 850 852 855 857 858 860 863 865 866 932[*1] 999[*2] 1250 1251 1252 1253 1254
	PrintQuality	プリンターの印字品質設定 RecLetterQuality Validを選択すると、**RecLetterQuality**により決定されます。	RecLetterQuality Valid： **RecLetterQuality**の設定有効 Standard：標準[*3] Quality1：品質1[*3] Quality2：品質2[*3]
	MarkMode	マーク検出モード マーク検出を有効にするか、無効にするかを選択します。	Disable： マーク検出無効 Enable： マーク検出有効
LogFiles			
	Retention Period	ログファイルの保存期間 保存期間を過ぎたログファイルは、ログの出力時に消去されます。 実際の保存期間は、最大一日分長くなる可能性があります。	1 day : 1日分 3 days : 3日分 10 days : 10日分 30 days : 30日分 90 days : 90日分
	Output	ログの出力先（固定） ログの出力先、及びファイル名は下記の通りです。 出力先： <システムドライブ>:¥ProgramData¥SII¥Logs¥OposPrinter 出力先の変更はできません。 ファイル名： <yyyyMMdd>.log ログファイルの最大サイズは32MBです。ログファイルが最大サイズを超えた場合は、ファイル名を<yyyyMMdd_hhmmssfff)>.logに変更し、新たに<yyyyMMdd>.logを作成します。[*4]	
	CoreLevel	POSプリンターサービスオブジェクトのログ出力レベル	No Output：ログを出力しません Error： 実行時エラーのログを出力します Trace： 詳しい動作の履歴及びダンプログを出力します
	SubLevel	MP-Bxx専用POSプリンターサービスオブジェクトのログ出力レベル	No Output：ログを出力しません Error： 実行時エラーのログを出力します Trace： 詳しい動作の履歴及びダンプログを出力します

*1: 日本語の場合の初期値

*2:　英語の場合の初期値
*3:　設定内容についての詳細は、「取扱説明書」を参照してください。
*4:　ファイル名に使用される記号の意味を下記に説明します。各値は Windows のシステムクロックに由来します。
yyyy　:　年
MM　:　月
dd　:　日
hh　:　時
mm　:　分
ss　:　秒
fff　:　ミリ秒

- ポート選択時の設定項目

デバイスを追加した際に、ポートを選択した場合に表示される「設定ビュー」の項目と設定内容について下記に説明します。



ポートを選択した場合の「設定ビュー」における設定内容とプリンタードライバーを選択した際に表示される設定項目の違いは Common のみです。
Common の項目と設定内容について説明します。

項目	説明	設定内容（" " ： 初期値）
Common		
DeviceName	デバイス名	「デバイスビュー」で選択したプリンターのデバイス名
CheckHealth	選択中のデバイスに対する対話テストの実行	-
Printer Utility	プリンターのメモリスイッチの設定ができるPrinter Setting Utilityの起動	-
PortName	選択中のデバイスに対するポート名	-

3.2 機能

設定プログラムの機能について説明します。

3.2.1 デバイスの追加

デバイスの追加手順について説明します。

本ソフトウェアをインストールした直後に設定プログラムを起動した場合、デバイスが追加されていないためデバイスを追加する必要があります。

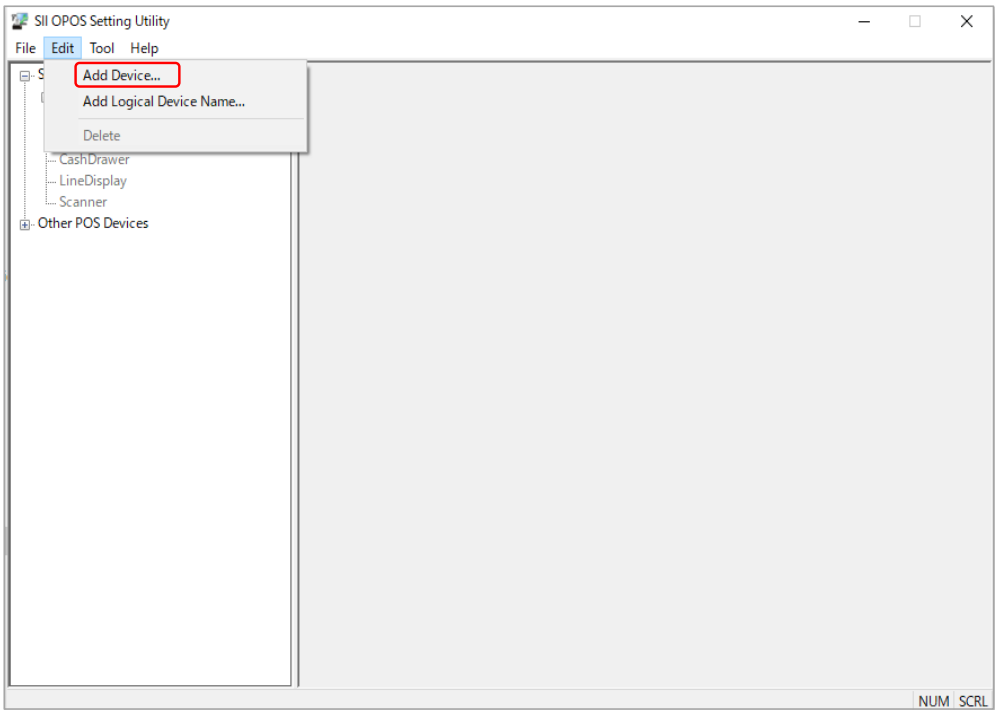
プリンターは最大8台まで追加できます。

注意

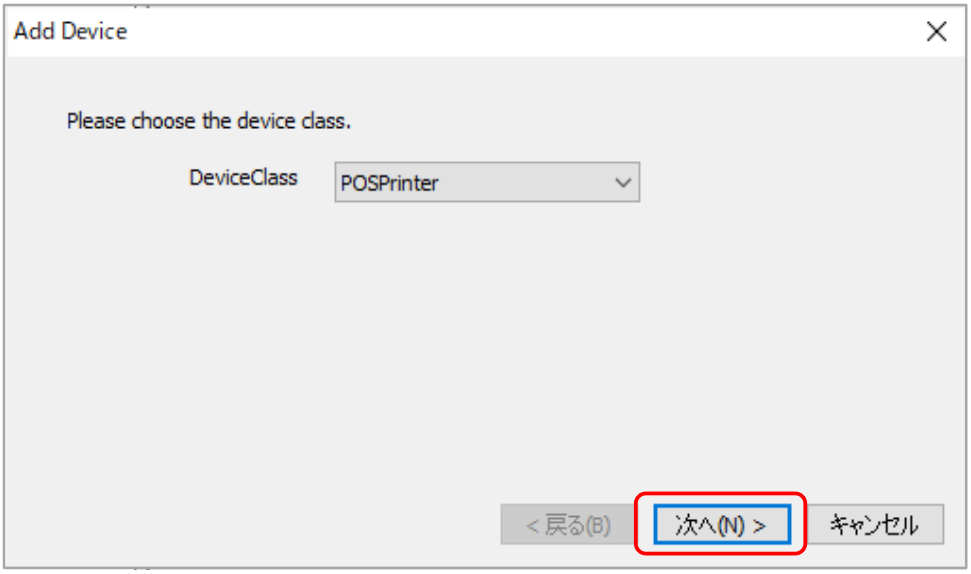
- ◆ インターフェイスでUSBを選択する場合は、あらかじめポートに接続してから設定プログラムを起動してください。
- ◆ インターフェイスでBluetoothを選択する場合は、あらかじめペアリングをしてから設定プログラムを起動してください。
- ◆ インターフェイスでLAN/WLANを選択する場合は、あらかじめLANポートを作成してから設定プログラムを起動してください。
- ◆ インターフェイスでCOMを選択する場合は、あらかじめポートに接続してから設定プログラムを起動してください。
- ◆ PrinterDriverを選択する場合は、プリンタードライバーのインストールが必要です。
  プリンタードライバーのインストールは、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

(1) プリンターの追加

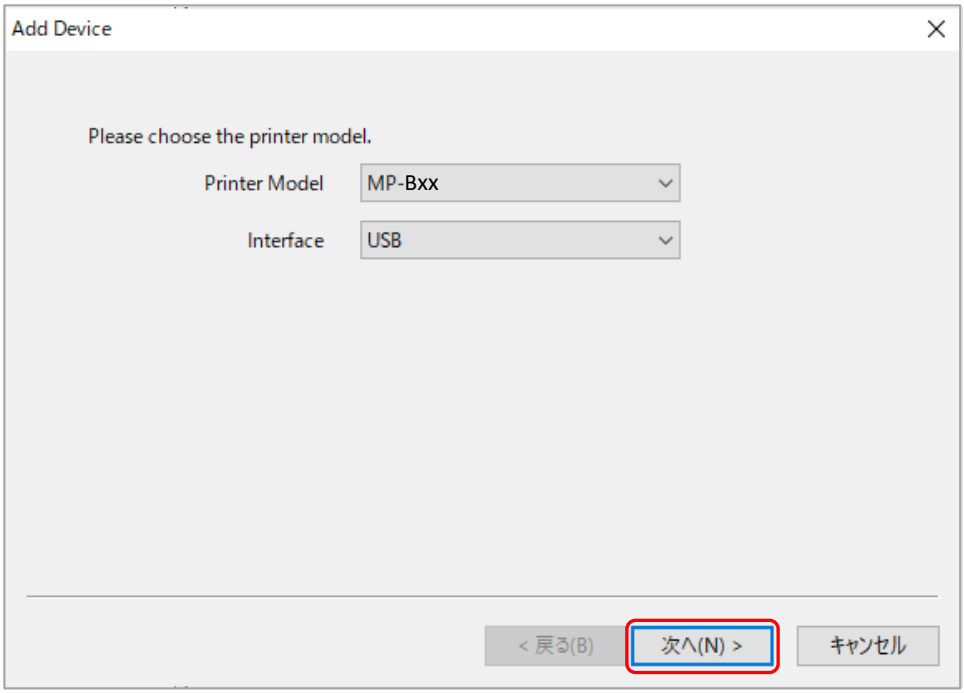
① 設定プログラムを起動すると、下記の画面が表示されます。「メニューバー」から[Edit] – [Add Device...]を選択してください。

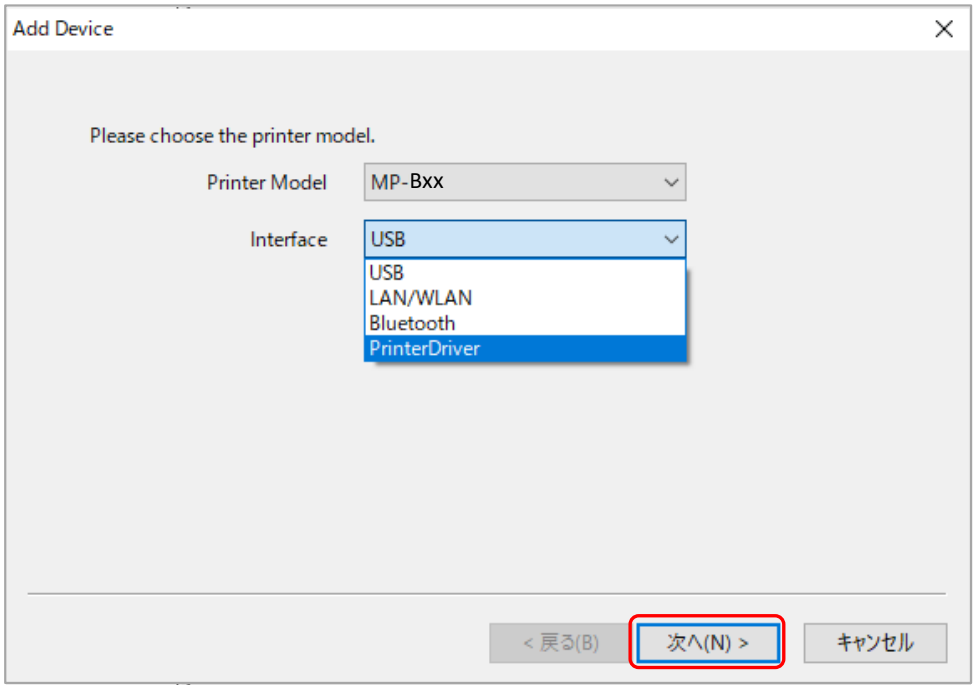


② [DeviceClass]で「POSPrinter」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



③　[PrinterModel]から追加するプリンターを選択してください。[Interface]からプリンタードライバーまたはインターフェイスを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



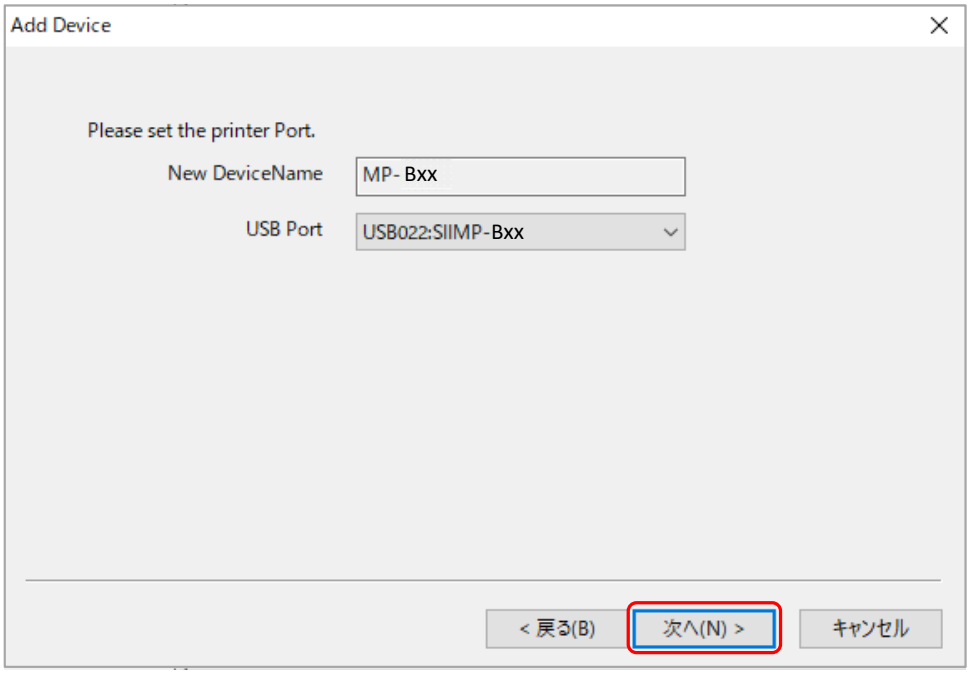


以降の手順については[Interface]の選択により異なります。

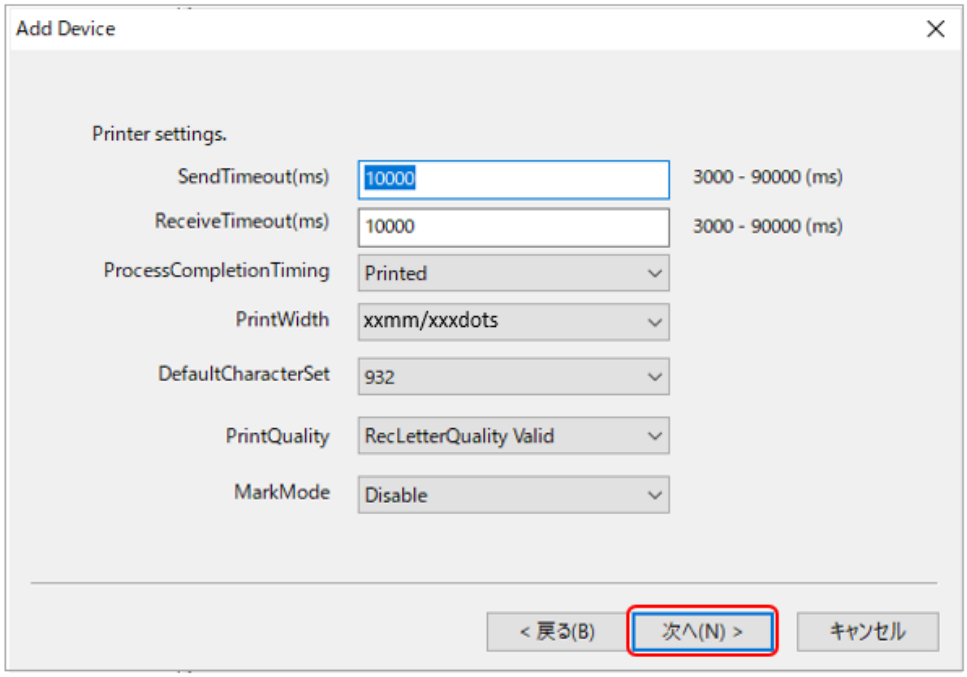
- USBを選択 ： 「**USBを選択する場合**」を参照してください。
- Bluetoothを選択 ： 「**Bluetoothを選択する場合**」を参照してください。
- LAN/WLANを選択 ： 「**LAN/WLANを選択する場合**」を参照してください。
- COMを選択： 「**COMを選択する場合**」を参照してください。
- プリンタードライバーを選択 ： 「**プリンタードライバーを選択する場合**」を参照してください。

USB を選択する場合

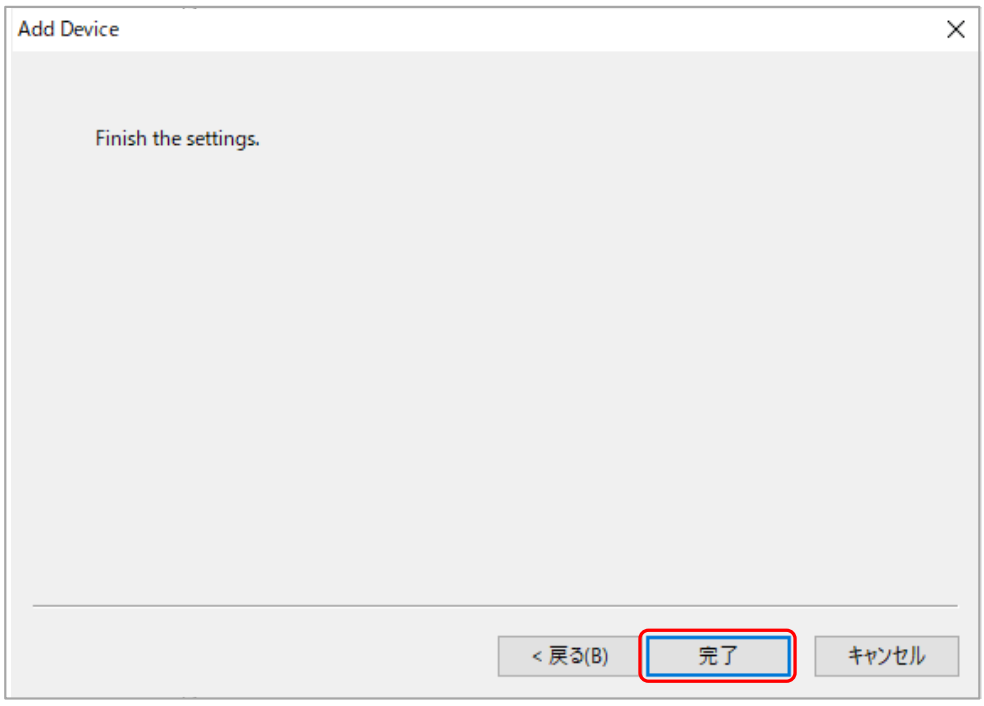
④ [USB Port]から利用するポートを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New DeviceName]は自動で設定されます。



⑤　プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

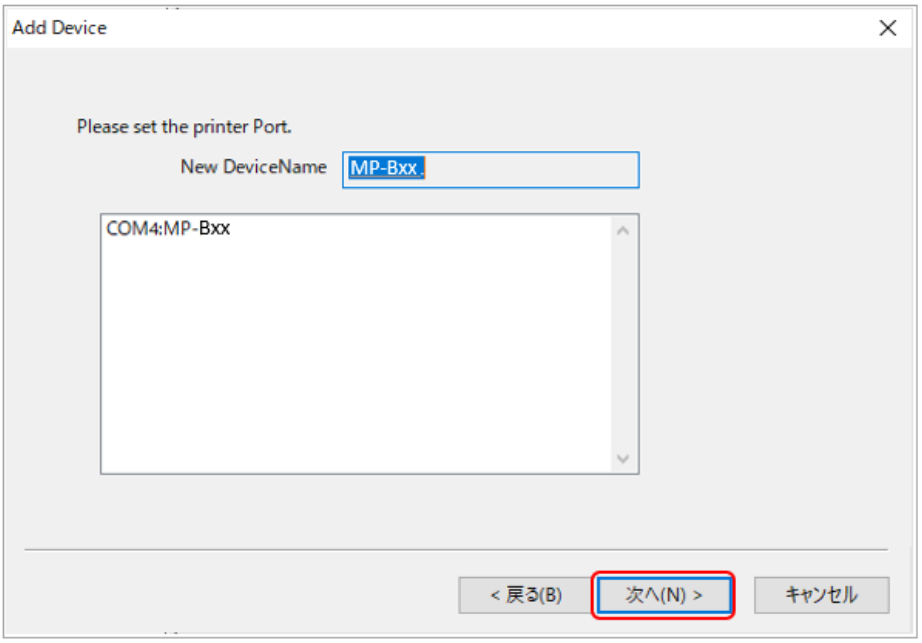


Bluetooth を選択する場合

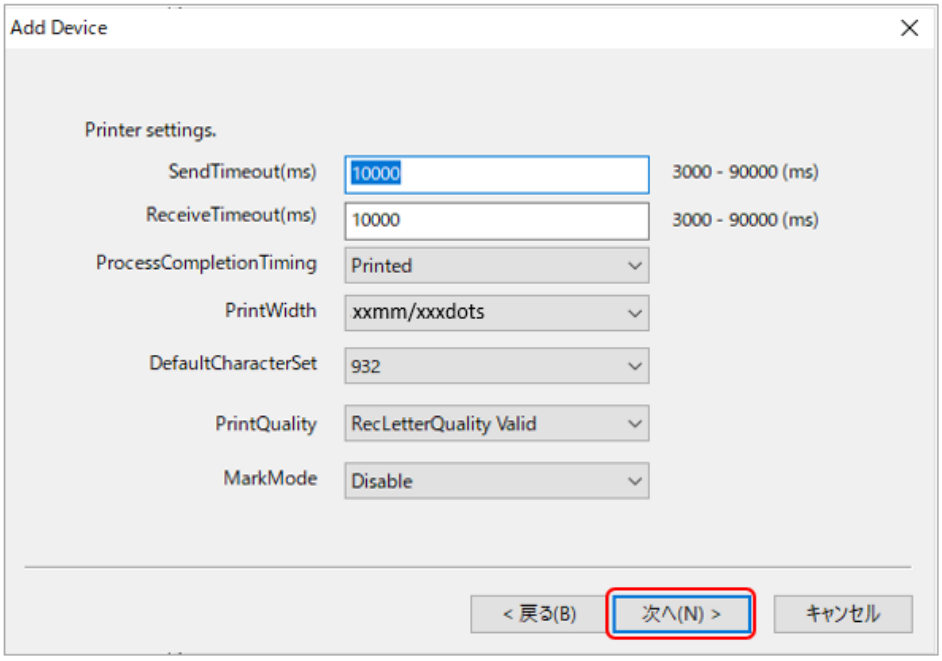
注意

◆ Bluetooth接続では、複数台のホストから同時に利用することは出来ません。

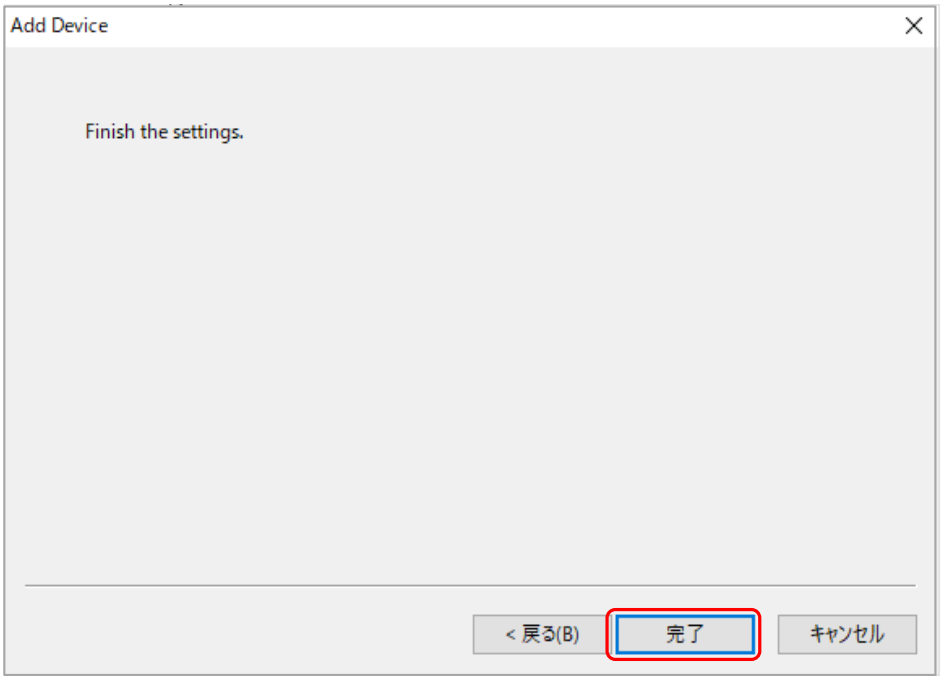
④ 一度でもペアリングしたことのあるプリンターが表示されるので、プリンターを選択後、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New DeviceName]は自動で設定されます。



⑤ プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

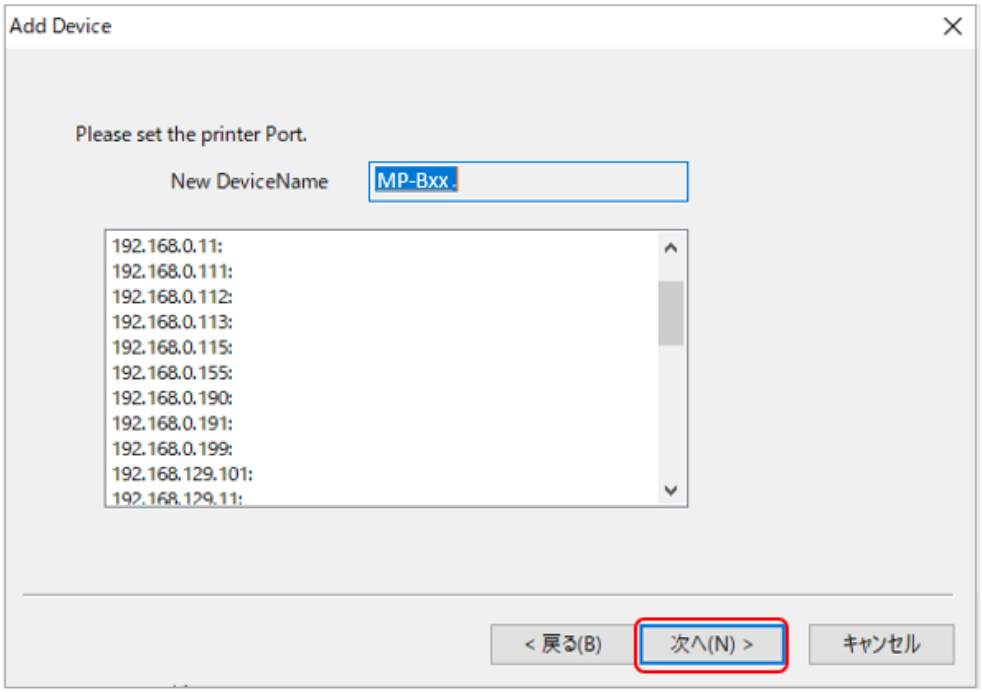


⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

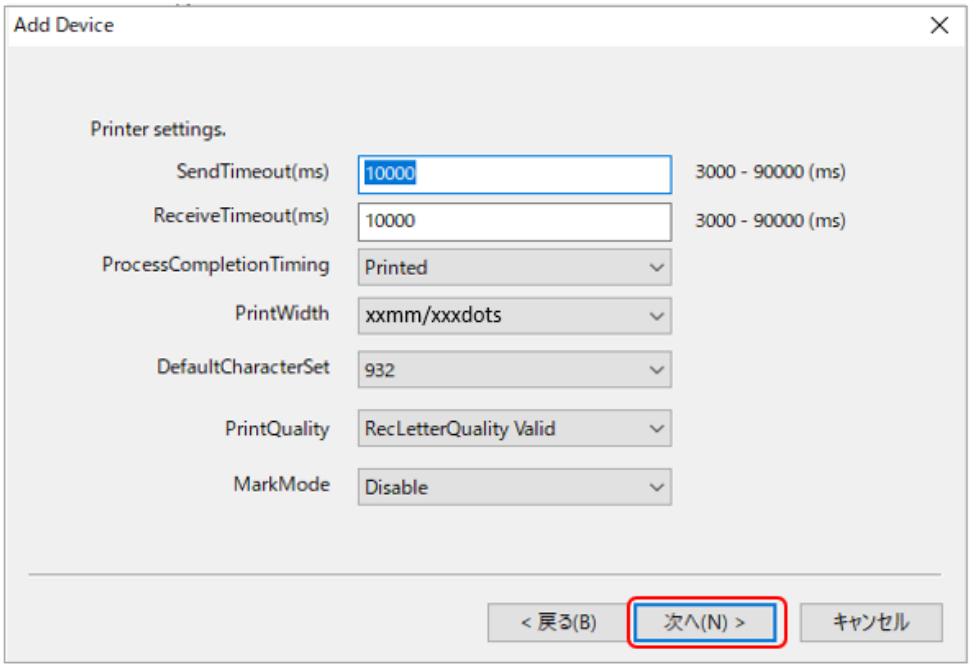


LAN/WLAN を選択する場合

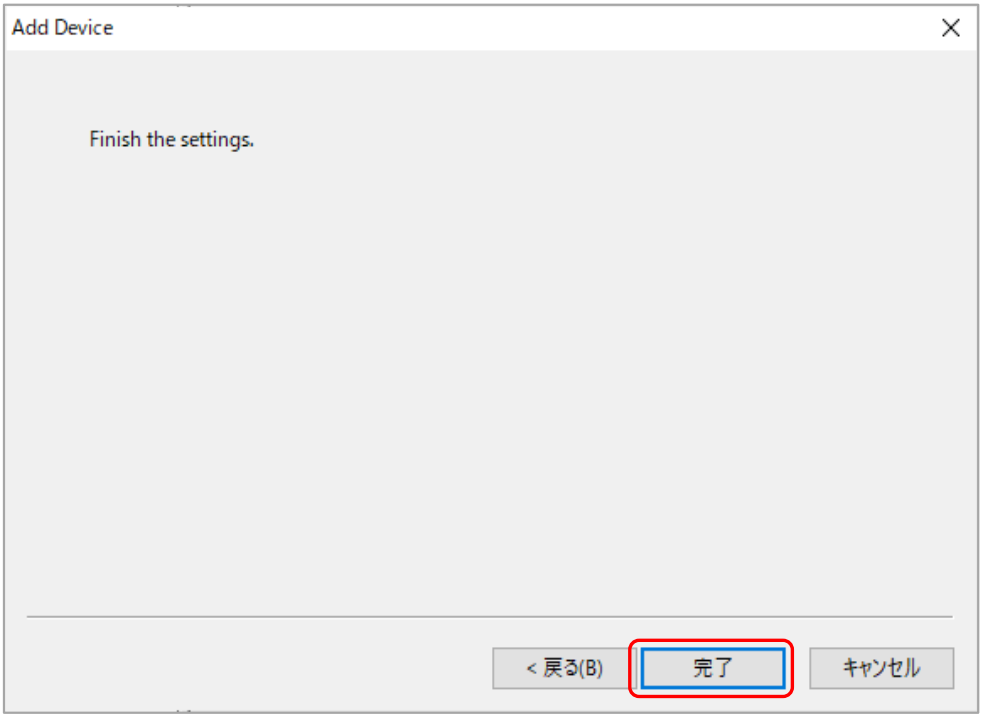
④　プリンターが表示されるので、プリンターを選択後、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New DeviceName]は自動で設定されます。



⑤　プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

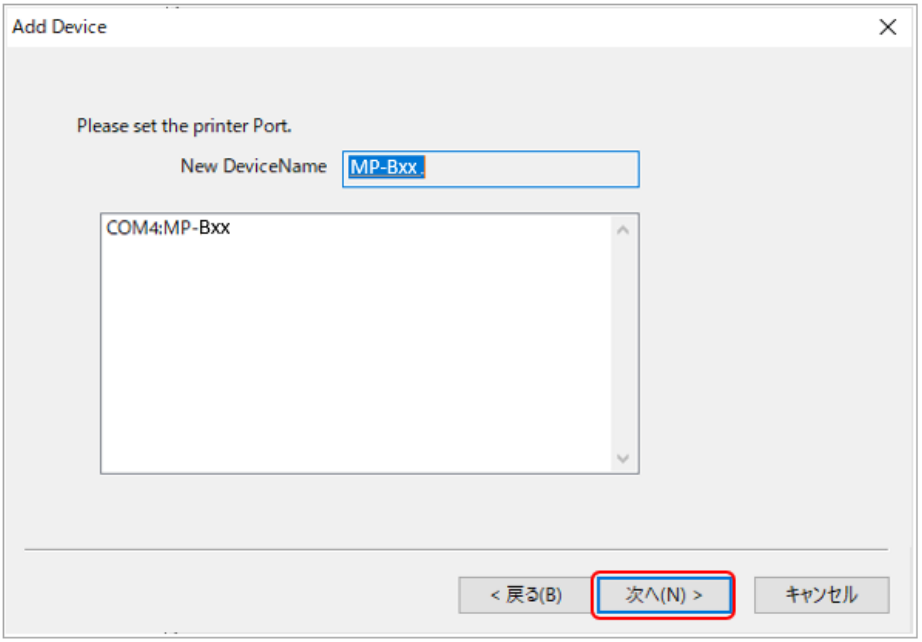


⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

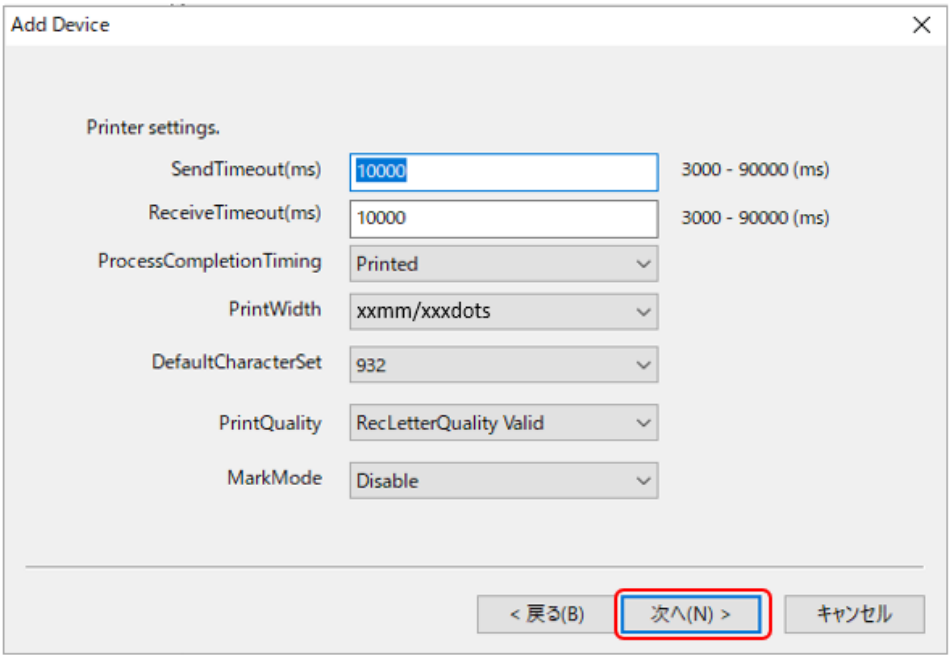


COM を選択する場合

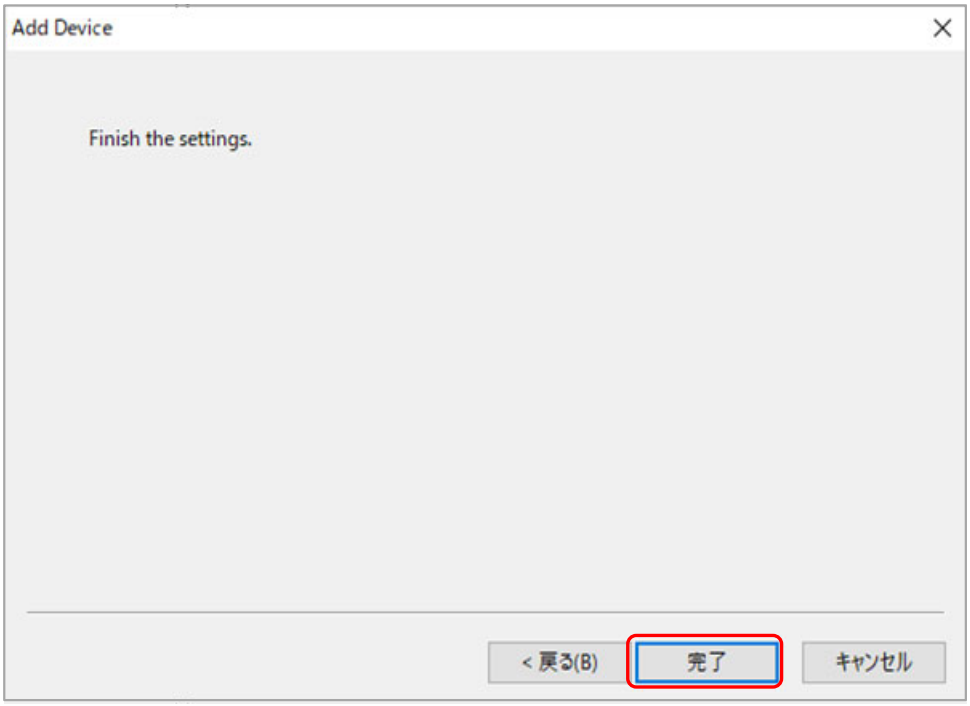
④　シリアルポートが表示されるので、利用するポートを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New DeviceName]は自動で設定されます。



⑤　プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

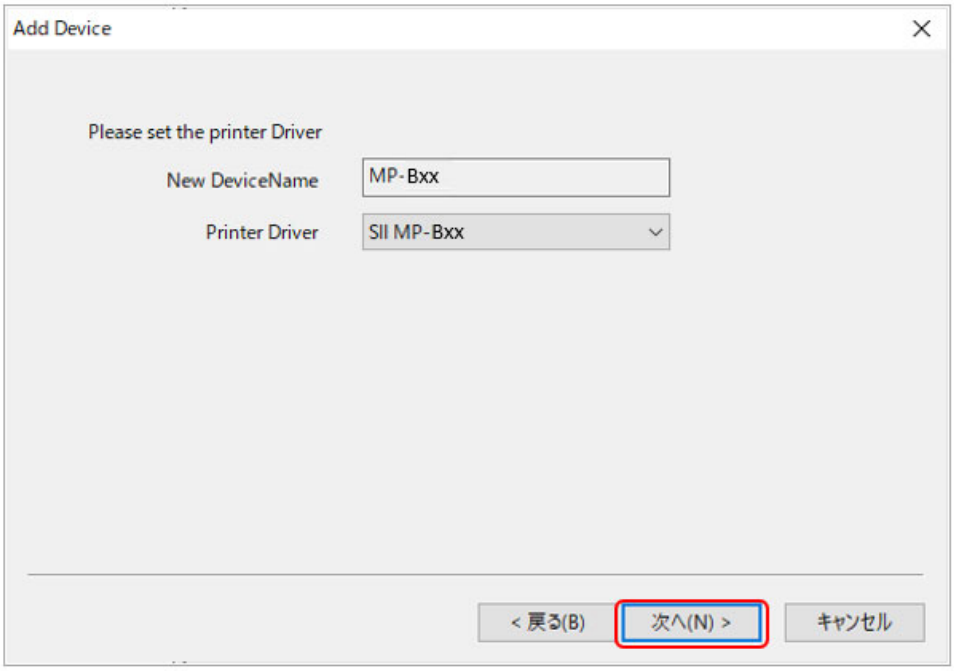


⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

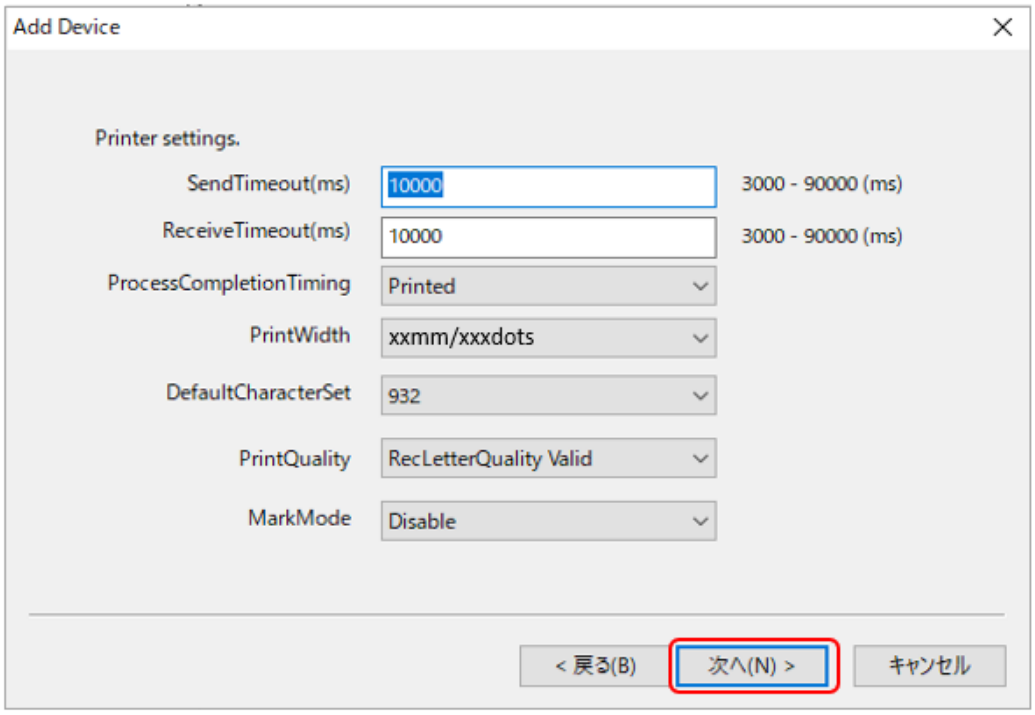


プリンタードライバーを選択する場合

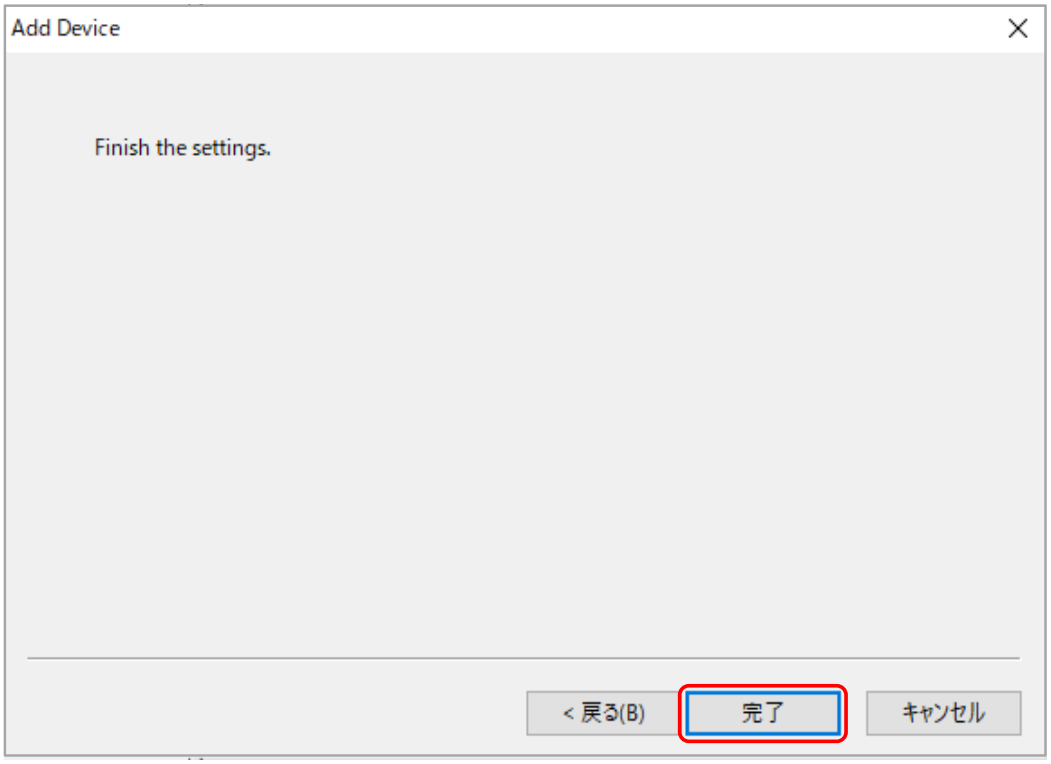
④　[Printer Driver]からプリンタードライバーを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New DeviceName]は自動で設定されます。



⑤　プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



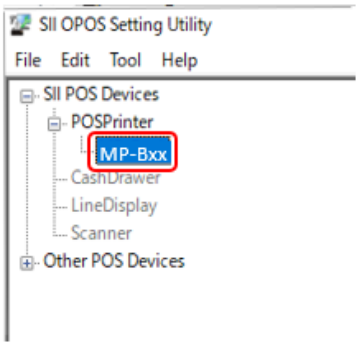
⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。



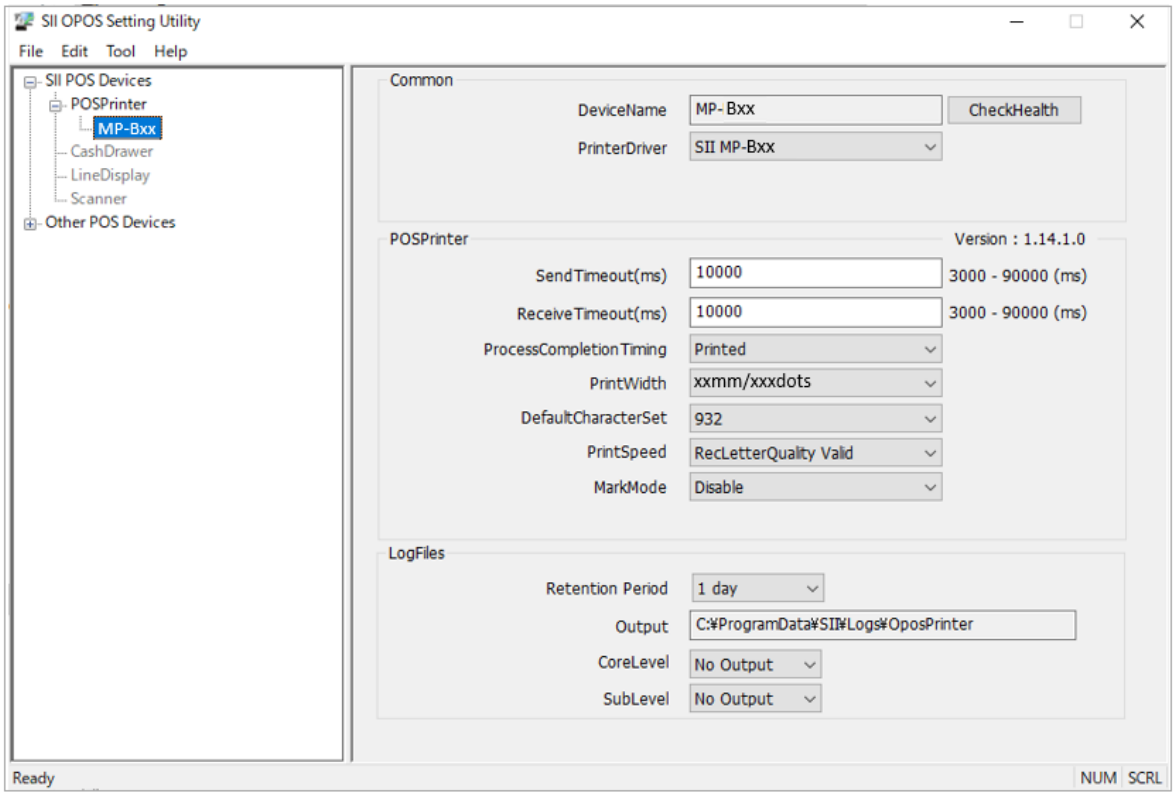
3.2.2　デバイスの設定変更

追加したデバイスの設定変更手順について説明します。

①　「デバイスビュー」から変更を行うデバイスのデバイス名を選択してください。



②　「設定ビュー」が編集可能状態で表示されます。内容を変更してください。



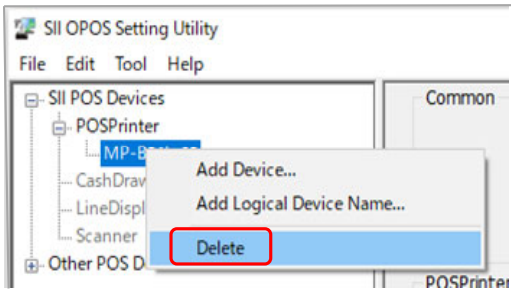
参考

- 設定した内容は他デバイスの選択または設定プログラムを終了した時点でレジストリに保存されます。

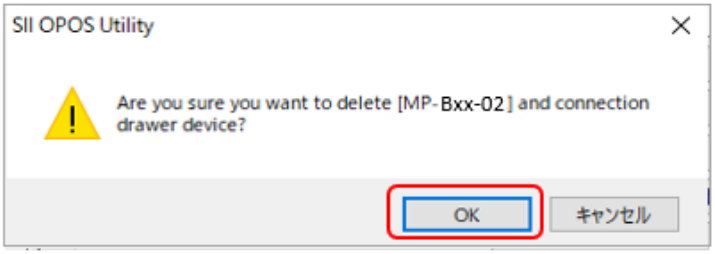
3.2.3　デバイスの削除

追加したデバイスの削除手順について下記に説明します。

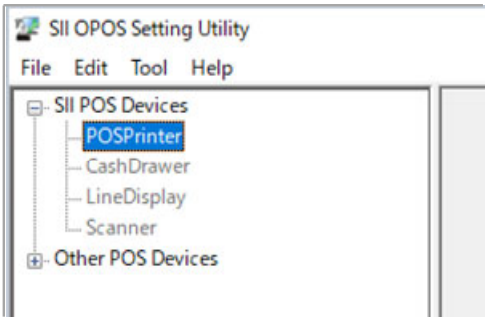
①　「デバイスビュー」から削除するデバイスを選択し、右クリックメニューから[Delete]を選択します。



②　デバイス名を確認して、[OK]ボタンをクリックします。



③　選択したデバイスが「デバイスビュー」から削除されたことを確認してください。



注意

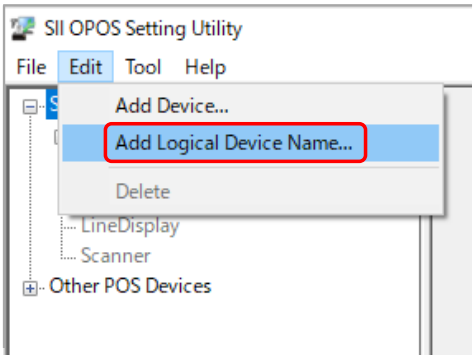
◆ POSPrinterのデバイスを選択した場合は、選択したPOSPrinterのデバイス及び各論理デバイス名の全てが削除されます。

3.2.4　論理デバイス名の追加と削除

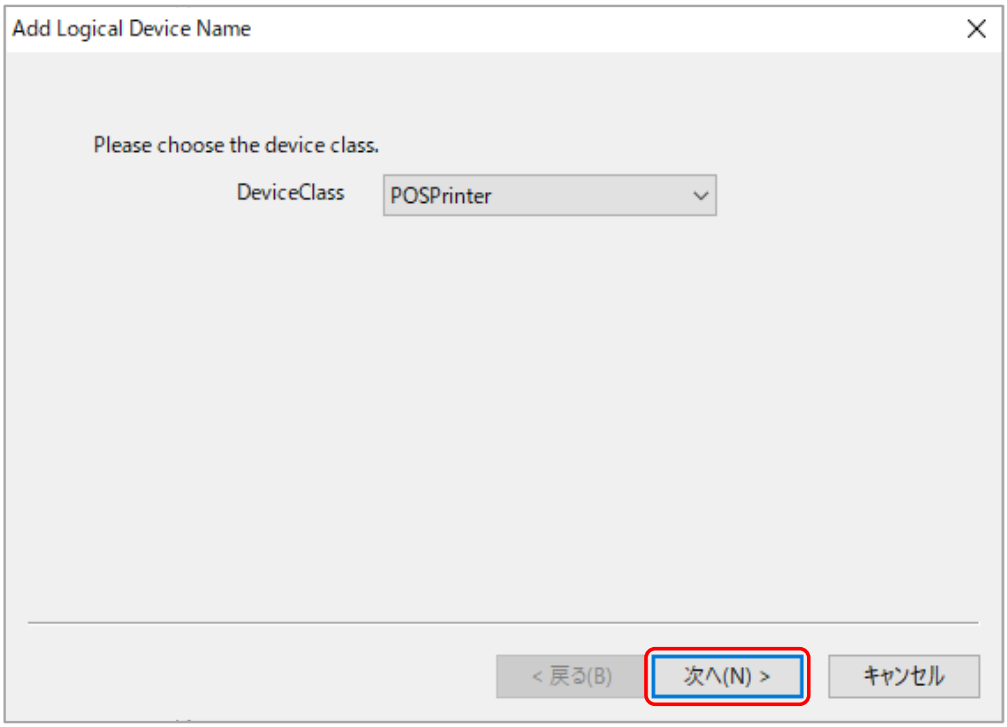
論理デバイス名の追加と削除手順について説明します。

(1)　論理デバイス名の追加

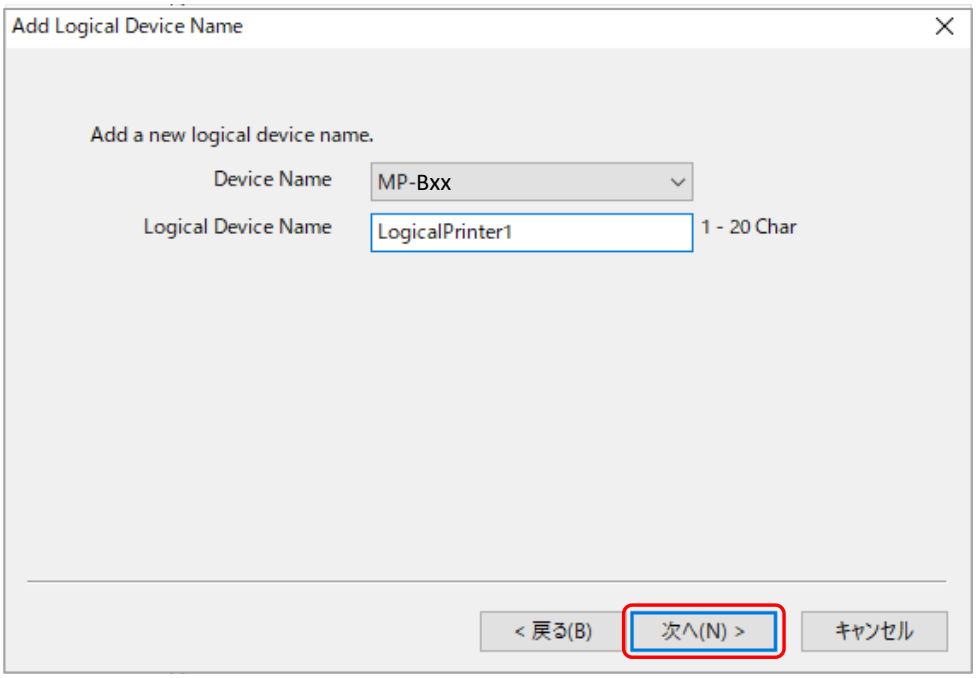
①　設定プログラムを起動し、「メニューバー」から[Edit] – [Add Logical Device Name...]を選択してください。



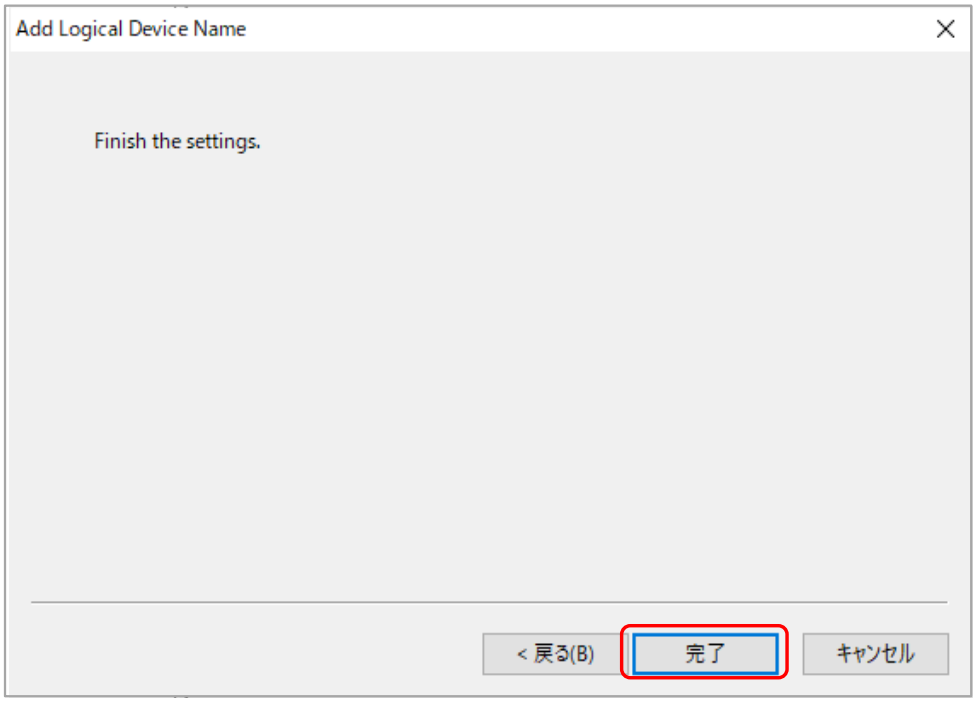
②　[DeviceClass]で対象のデバイスを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



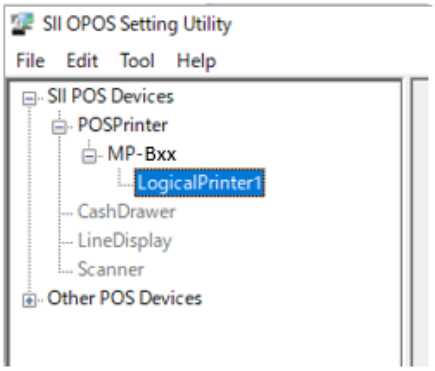
③ [Device Name]から対象のデバイス名を選択し、[Logical Device Name]（論理デバイス名）を入力してください。[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



④ [完了]ボタンをクリックしてください。

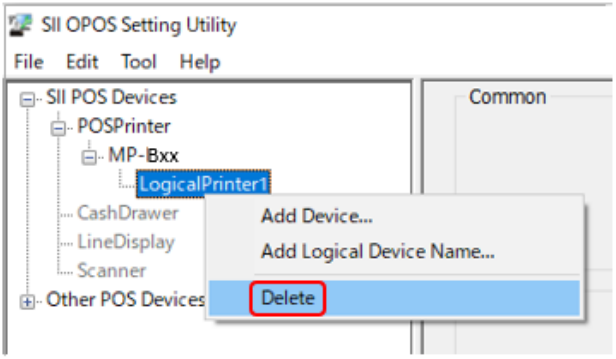


⑤　「デバイスビュー」の内容を確認してください。

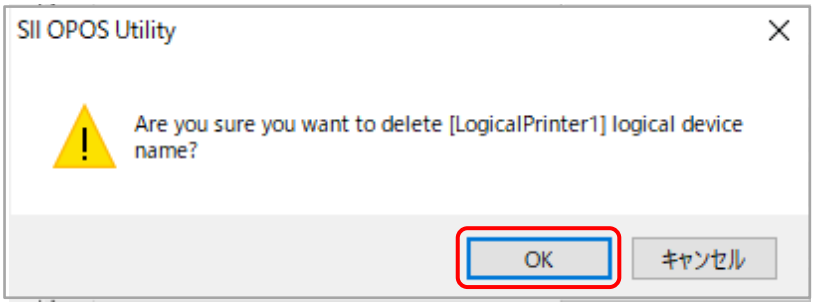


(2)　論理デバイス名の削除

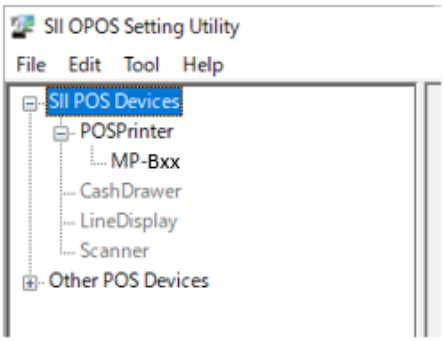
①　「デバイスビュー」から削除対象とする論理デバイス名を選択し、右クリックメニューから、[Delete]を選択してください。



②　論理デバイス名を確認して、[OK]ボタンをクリックしてください。



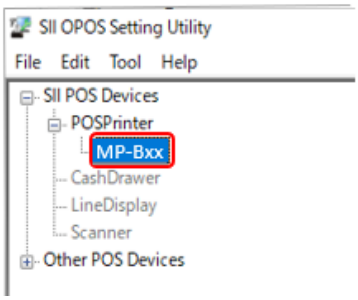
③　選択した論理デバイス名が「デバイスビュー」から削除されたことを確認してください。



3.2.5　デバイスの対話テスト

設定プログラムでは「デバイスビュー」で選択したデバイスに対して、対話テストが実行できます。
対話テストの手順を下記に説明します。

①　「デバイスビュー」から対話テストを行うデバイスのデバイス名または論理デバイス名を選択してください。



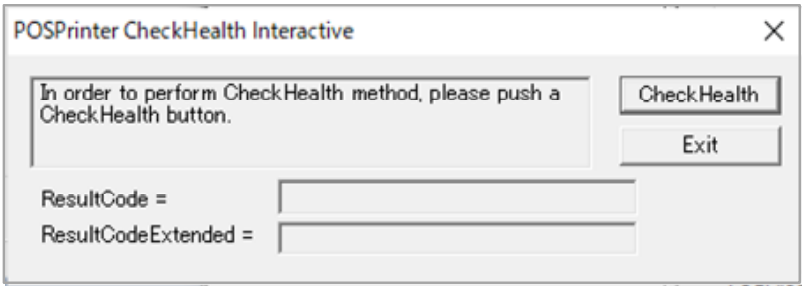
②　「メニューバー」から[Tool]メニュー －[CheckHealth]を選択するか、「設定ビュー」の[CheckHealth]ボタンをクリックしてください。



③　対話テストの準備を開始します。

【対話テストの準備に成功した場合】

④　対話テストを行うためのダイアログが表示されます。



対話テストを実行する場合は、[CheckHealth]ボタンをクリックしてください。
対話テストを終了する場合は、[Exit]ボタンをクリックしてください。

【対話テストの準備に失敗した場合】

④　エラーメッセージが表示されます。



ResultCode については、**ResultCode** を参照してください。
ResultCode の確認後は、[OK]ボタンをクリックしてください。

3.2.6　プリンターのメモリ設定（PrinterUtility）

設定プログラムでは、接続しているプリンターのメモリスイッチの設定を確認・変更ができます。

(1)　設定プログラムでポートを選択している場合

①　「設定ビュー」の[Printer Utility]ボタンをクリックしてください。



②　SII Printer Setting Utilityが起動します。

(2)　設定プログラムでプリンタードライバーを選択している場合

プリンタードライバーを選択している場合は、プリンタードライバーのインストールが必要です。
プリンタードライバーのインストール手順については、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。
プリンタードライバーのインストール後に、SII Printer Setting Utility を下記の方法で起動してください。

- Windows 11の場合

  スタートメニューから、[すべてのアプリ]－[SII Printer Software]－[Printer Setting Utility]を選択してください。

- Windows 10の場合

  スタートメニューから、[SII Printer Software]－[Printer Setting Utility]を選択してください。

4章　OPOS コントロール

本章ではOPOSコントロールの利用手順を説明します。

アプリケーションは下記の手順で本ソフトウェアを使用してください。

① **Open**：　　コントロールオブジェクトをサービスオブジェクトにリンクします。

② **ClaimDevice**：　デバイスに排他アクセスできるようにするために呼び出します。

③ **DeviceEnabled**：デバイスを動作させる場合TRUEに設定します。

④ デバイスを使用します。(各プロパティ・メソッド・イベント)

⑤ **DeviceEnabled**：FALSEに設定してデバイスをディセーブルにします。

⑥ **ReleaseDevice**：　デバイスの排他アクセスを解除します。

⑦ **Close**：　　サービスオブジェクトをコントロールオブジェクトから解放します。

4.1 POSプリンターコントロール

POSプリンターコントロールはレシートのみサポートします。
ジャーナルとスリップに関連するメソッドやプロパティのインターフェイスは提供されますが動作はサポートしていません。

POSプリンターコントロールは一般的な出力モデルに従い、同期/非同期の出力が可能です。また、POSプリンターコントロールで制御するプリンタは排他的に使用するデバイスです。

5章　POS プリンターコントロールのインターフェイス仕様

本章では本ソフトウェアに実装されているPOSプリンターコントロールのプロパティ・メソッド・イベントについて説明します。

5.1　一覧

5.1.1　共通プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
BinaryConversion	Long	R/W	Open	OPOS_BC_NONE(0)
CapCompareFirmwareVersion	Boolean	R	Open	FALSE
CapPowerReporting	Long	R	Open	OPOS_PR_STANDARD(1)
CapStatisticsReporting	Boolean	R	Open	TRUE
CapUpdateFirmware	Boolean	R	Open	FALSE
CapUpdateStatistics	Boolean	R	Open	TRUE
CheckHealthText	String	R	Open	""
Claimed	Boolean	R	Open	FALSE
ControlObjectDescription	String	R	-	"OPOS POSPrinter Control 1.14.xxx [Public, by CRM/RCS-Dayton]"
ControlObjectVersion	Long	R	-	1014xxx
DeviceDescription	String	R	Open	"SII MP-Bxx POS Printer"
DeviceEnabled	Boolean	R/W	Open & Claim	FALSE
DeviceName	String	R	Open	"MP-Bxx POS Printer"
FreezeEvents	Boolean	R/W	Open	FALSE
OpenResult	Long	R	-	OPOS_SUCCESS(0)
OutputID	Long	R	Open	0
PowerNotify	Long	R/W	Open	OPOS_PN_DISABLED(0)
PowerState	Long	R	Open	OPOS_PS_UNKNOWN(2000)
ResultCode	Long	R	-	OPOS_SUCCESS(0)
ResultCodeExtended	Long	R	Open	0

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
ServiceObjectDescription	String	R	Open	"SII MP-Bxx POS Printer Service Object, Copyright(C) 20xx Seiko Instruments Inc."
ServiceObjectVersion	Long	R	Open	1014xxx
State	Long	R	-	OPOS_S_CLOSED(1)

5.1.2 専用プロパティ

（MP-B21L：**RecLineWidth**=384、**RecLineChars**=32、**RecLineSpacing**=30、**CharacterSet**=932の場合）
（MP-B30L、MP-B30：**RecLineWidth**=576、**RecLineChars**=48、**RecLineSpacing**=30、**CharacterSet**=932の場合）

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
AsyncMode	Boolean	R/W	Open	FALSE
CapCharacterSet	Long	R	Open	PTR_CCS_KANJI(11)
CapCoverSensor	Boolean	R	Open	TRUE
CapMapCharacterSet	Boolean	R	Open	FALSE
CapRec2Color	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecBarCode	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecBitmap	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecBold	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecCartridgeSensor	Long	R	Open	0
CapRecColor	Long	R	Open	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
CapRecDhigh	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecDwide	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecDwideDhigh	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecEmptySensor	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecItalic	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecLeft90	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecMarkFeed	Long	R	Open	0[*1]
CapRecNearEndSensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecPageMode	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecPapercut	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecPresent	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecRight90	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecRotate180	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecRuledLine	Long	R	Open	PTR_RL_HORIZONTAL(1) + PTR_RL_VERTICAL(2)
CapRecStamp	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecUnderline	Boolean	R	Open	TRUE
CapTransaction	Boolean	R	Open	TRUE

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CartridgeNotify	Long	R/W	Open	PTR_CN_DISABLED(0)
CharacterSet	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	932[*1]
CharacterSetList	String	R	Open	″437,737,850,852,855,857,858,860,863,865,866,932,999,1250,1251,1252,1253,1254″
CoverOpen	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	プリンターの状態に依存
ErrorLevel	Long	R	Open	PTR_EL_NONE(1)
ErrorStation	Long	R	Open	0
ErrorString	String	R	Open	″″
FlagWhenIdle	Boolean	R/W	Open	FALSE
FontTypefaceList	String	R	Open	″″
MapCharacterSet	Boolean	R/W	Open	FALSE
MapMode	Long	R/W	Open	PTR_MM_DOTS(1)
PageModeArea	String	R	Open	″″
PageModeDescriptor	Long	R	Open	0
PageModeHorizontalPosition	Long	R/W	Open	0
PageModePrintArea	String	R/W	Open	″″
PageModePrintDirection	Long	R/W	Open	0
PageModeStation	Long	R/W	Open	0
PageModeVerticalPosition	Long	R/W	Open	0
RecBarCodeRotationList	String	R	Open	″0,R90,L90,180″
RecBitmapRotationList	String	R	Open	″0,R90,L90,180″
RecCartridgeState	Long	R	Open, Claim, & Enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
RecCurrentCartridge	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
RecEmpty	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	プリンターの状態に依存
RecLetterQuality	Boolean	R/W	Open, Claim, & Enable	FALSE
RecLineChars	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	MP-B21L 32 MP-B30L、MP-B30 48
RecLineCharsList	String	R	Open	MP-B21L ″24,27,29,32,38,42,48″ MP-B30L、MP-B30 ″36,41,44,48,57,64,72″
RecLineHeight	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	24
RecLineSpacing	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	30
RecLinesToPaperCut	Long	R	Open, Claim, & Enable	2

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
RecLineWidth	Long	R	Open, Claim, & Enable	MP-B21L 384*1 MP-B30L 576*1 MP-B30 576
RecNearEnd	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	FALSE
RecSidewaysMaxChars	Long	R	Open, Claim, & Enable	200
RecSidewaysMaxLines	Long	R	Open, Claim, & Enable	MP-B21L 13 MP-B30L、MP-B30 19
RotateSpecial	Long	R/W	Open	PTR_RP_NORMAL(1)

*1：設定プログラムにより変更可能

下記の専用プロパティは、提供されますが動作はサポートしていません。

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapConcurrentJrnRec	Boolean	R	Open	FALSE
CapConcurrentJrnSlp	Boolean	R	Open	FALSE
CapConcurrentPageMode	Boolean	R	Open	FALSE
CapConcurrentRecSlp	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrn2Color	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnBold	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnCartridgeSensor	Long	R	Open	0
CapJrnColor	Long	R	Open	0
CapJrnDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnDwide	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnDwideDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnEmptySensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnItalic	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnNearEndSensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnPresent	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnUnderline	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlp2Color	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpBarCode	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpBitmap	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpBold	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpBothSidesPrint	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpCartridgeSensor	Long	R	Open	0
CapSlpColor	Long	R	Open	0
CapSlpDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpDwide	Boolean	R	Open	FALSE

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapSlpDwideDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpEmptySensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpFullslip	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpItalic	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpLeft90	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpNearEndSensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpPageMode	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpPresent	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpRight90	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpRotate180	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpRuledLine	Long	R	Open	0
CapSlpUnderline	Boolean	R	Open	FALSE
JrnCartridgeState	Long	R	Open, Claim, & Enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
JrnCurrentCartridge	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
JrnEmpty	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	FALSE
JrnLetterQuality	Boolean	R/W	Open, Claim, & Enable	FALSE
JrnLineChars	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	0
JrnLineCharsList	String	R	Open	""
JrnLineHeight	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	0
JrnLineSpacing	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	0
JrnLineWidth	Long	R	Open, Claim, & Enable	0
JrnNearEnd	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	FALSE
SlpBarCodeRotationList	String	R	Open	""
SlpBitmapRotationList	String	R	Open	""
SlpCartridgeState	Long	R	Open, Claim, & Enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
SlpCurrentCartridge	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
SlpEmpty	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	FALSE
SlpLetterQuality	Boolean	R/W	Open, Claim, & Enable	FALSE
SlpLineChars	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	0
SlpLineCharsList	String	R	Open	""
SlpLineHeight	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	0
SlpLinesNearEndToEnd	Long	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpLineSpacing	Long	R/W	Open, Claim, & Enable	0
SlpLineWidth	Long	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpMaxLines	Long	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpNearEnd	Boolean	R	Open, Claim, & Enable	FALSE
SlpPrintSide	Long	R	Open, Claim, & Enable	0

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
SlpSidewaysMaxChars	Long	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpSidewaysMaxLines	Long	R	Open, Claim, & Enable	0

5.1.3 共通メソッド

メソッド名	使用可能条件
CheckHealth	Open, Claim, & Enable
ClaimDevice	Open
ClearOutput	Open, Claim, & Enable*1
Close	Open
CompareFirmwareVersion	Open, Claim, & Enable
DirectIO	Open, Claim, & Enable*1
Open	-
ReleaseDevice	Open & Claim
ResetStatistics	Open, Claim, & Enable
RetrieveStatistics	Open, Claim, & Enable
UpdateFirmware	Open, Claim, & Enable
UpdateStatistics	Open, Claim, & Enable

*1：OPOS APG V1.14.1とは使用可能条件が異なる個所です。

5.1.4 専用メソッド

メソッド名	使用可能条件
BeginInsertion	Open, Claim, & Enable
BeginRemoval	Open, Claim, & Enable
ChangePrintSide	Open, Claim, & Enable
ClearPrintArea	Open, Claim, & Enable
CutPaper	Open, Claim, & Enable
DrawRuledLine	Open, Claim, & Enable
EndInsertion	Open, Claim, & Enable
EndRemoval	Open, Claim, & Enable
MarkFeed	Open, Claim, & Enable
PageModePrint	Open, Claim, & Enable
PrintBarCode	Open, Claim, & Enable
PrintBitmap	Open, Claim, & Enable
PrintImmediate	Open, Claim, & Enable
PrintMemoryBitmap	Open, Claim, & Enable
PrintNormal	Open, Claim, & Enable
PrintTwoNormal	Open, Claim, & Enable
RotatePrint	Open, Claim, & Enable
SetBitmap	Open, Claim, & Enable
SetLogo	Open, Claim, & Enable
TransactionPrint	Open, Claim, & Enable
ValidateData	Open, Claim, & Enable

5.1.5 イベント

イベント名	発生条件
DirectIOEvent	Open, Claim, & Enable*1
ErrorEvent	Open, Claim, & Enable
OutputCompleteEvent	Open, Claim, & Enable
StatusUpdateEvent	Open, Claim, & Enable

*1：OPOS APG V1.14.1とは使用可能条件が異なる個所です。

5.2 印字データとエスケープシーケンス

5.2.1 指定時のみ動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC|[#]P	サポートしていません。
フィードと用紙カット	ESC|[#]fP	サポートしていません。
フィードとカットとスタンプ印刷	ESC|[#]sP	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ESC|#B	• 前もって保存されていたビットマップを印刷します。 代替文字'#'はビットマップ番号です。 '#'は1～20までの指定が可能です。 '#'に1～20以外の値が指定された場合は、無視されます。 文字'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされますが、 **ValidateData**ではOPOS_SUCCESS(0)が返ります。
トップロゴ印刷	ESC|tL	• 前もって保存されていたトップロゴを印刷します。
ボトムロゴ印刷	ESC|bL	• 前もって保存されていたボトムロゴを印刷します。
スタンプ印刷	ESC|sL	サポートしていません。
複数行フィード	ESC|[#]lF	• 複数行のフィードをします。 代替文字'#'は、フィードする行数を示すASCII 10進数の文字列です。 '#'は0～255までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、サポートする最大値の255行フィードを実行します。 '#'が省略された場合は、1行分のフィードをします。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
単位フィード	ESC|[#]uF	• **MapMode**で指定された単位でフィードをします。 代替文字'#'は、フィード量を示すASCII 10進数の文字列です。 '#'が省略された場合は、1単位分のフィードをします。 • **MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、'#'は0～255の範囲で指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、サポートする最大値の255単位分のフィードを実行します。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
逆フィード	ESC|[#]rF	サポートしていません。

名称	データ	内容
埋め込みデータの送信	ESC|[*]#E	• ″#E″に続く文字列は、一切変更されずにプリンターへ渡されます。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、このエスケープシーケンスに続く、そのままプリンターへ渡されるべき文字列のバイト数を指定します。 '#'は0～65535までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、埋め込みデータの送信は実行されません。 **ValidateData**ではOPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。また、'#'が省略された場合は、指定値0とみなされ、OPOS_SUCCESS(0)が返ります。 '#'で指定されたバイト数の印字データがエスケープシーケンスの指定後に設定されていない場合は、送信可能な印字データのみを送信します。（例：ESC|2E″a″が指定された場合、1バイトしか文字列が設定されてないため、″a″のみを送信します。） • **RotatePrint**による90度回転中は、埋め込みデータの送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
バーコード印刷 （欄外の「バーコード印刷」を参照してください）	ESC|[*]#R	• バーコードを印刷します。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。 • '#'の指定範囲とRの後に続くデータのバイト数が一致していない場合は、'#'の指定範囲内のすべてのデータを廃棄し、**ValidateData**ではOPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。 • **RotatePrint**による90度回転中は、バーコード印刷の送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
罫線印刷 （欄外の「罫線印刷」を参照してください）	ESC|*#dL	• 罫線を印刷します。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、dLに続く文字列（罫線の特性を定義）の文字数を指定します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。 '#'の指定範囲とdLの後に続くデータのバイト数が一致していない場合、また、dLに続く文字列の指定が不正な場合、'#'の指定範囲内のすべてデータを廃棄します。 **ValidateData**ではOPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。

- **バーコード印刷**

アプリケーションは「バーコード印刷」エスケープシーケンス (ESC|[*]#R）を利用することにより、他の印刷データとともに、バーコードの印刷ができます。代替文字’#’は、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。
Rに続く文字列では、小文字のアルファベットと数値を使用して、バーコードの特性を指定します。数値には**PrintBarCode**のために定義された定数値が利用できます。

属性を示す文字は下記の通りです。

s： symbology（バーコードタイプ）
h： height（バーコードの高さ）
w： width（バーコードの幅）
a： alignment（バーコードの位置）
t： text position（HRI文字列の位置）
d： start of data（バーコードデータの開始位置）
e： end of data（バーコードデータの終了位置）

属性は上記のリストで示された順番で必ず記述する必要があります。すべての属性は省略不可です。パラメータ領域違反、あるいはサポート外のパラメータ値といった、2つの条件のうちどちらか一方があっても、バーコードを印刷せず、’#’で指定したRに続く文字数分のデータを廃棄します。サポートするパラメータ値の範囲は**PrintBarCode**を参照してください。

UPC-Aを、センタリング、バーコードの下にHRI文字列を印字、200dot高さ、300dot幅、の条件で印刷する場合の例を下記に示します。

ESC|[*]33Rs101h200w300a-2t-13d123456789012e

バーコードのクワイエットゾーンについては、**PrintBarCode**の記載を参照してください。

- **罫線印刷**

アプリケーションは「罫線印刷」エスケープシーケンス（ESC|*#dL）を利用することにより、他の印刷データとともに、罫線を印刷することができます。代替文字’#’は、dLに続く文字列（罫線の特性を定義）の文字数を指定します。

dLに続く文字列では、小文字のアルファベットと数値を使用して、罫線の特性を指定します。数値には**DrawRuledLine**のために定義された定数値が利用できます。

属性を示す文字は下記の通りです。

p： position（位置）
d： direction（方向）
w： width（太さ）
s： style（線種）
c： color（色）

属性は上記のリストで示された順番で必ず記述する必要があります。すべての属性は省略不可です。パラメータ領域違反、あるいはサポート外のパラメータ値といった、2つの条件のうちどちらか一方があっても、罫線を印刷せず、’#’で指定したdLに続く文字数分のデータを廃棄します。サポートするパラメータ値の範囲は**DrawRuledLine**を参照してください。

横罫線を実線、0ドット目から300ドット、太さ1ドット、黒色（Primaryの色）の条件で罫線を印刷する場合の例を下記に示します。

ESC|*14dLp0,300d1w1s1c1

5.2.2 変更されるまで有効となるエスケープシーケンス

名称	データ	内容
フォントタイプ指定	ESC|#fT	サポートしていません。

5.2.3 印刷メソッドの終了または「ノーマル」エスケープシーケンスによってリセットされるエスケープシーケンス

名称	データ	内容
ボールド	ESC|[!]bC	● ボールド体で印刷します。 ● '!' が指定された場合は、ボールドを無効にします。
アンダーライン	ESC|[!]|[#]uC	● アンダーラインと共に印刷します。 代替文字'#'は、アンダーラインの太さ（ドット）を示すASCII 10進数の文字列です。 有効な太さは0～2です。 '#'が省略されている場合、太さ1のアンダーラインが使用されます。 '#'が3以上の場合は太さ2が使用されます。 ● '!' が指定された場合は、アンダーラインモードは解除されます。
イタリック	ESC|[!]iC	サポートしていません。
カスタムカラー	ESC|[#]rC	サポートしていません。
赤色	ESC|rC	サポートしていません。
反転文字	ESC|[!]rvC	● 明暗を反対にして印刷します。 ● '!' が指定された場合は、反転文字を無効にします。
網掛け文字	ESC|[#]sC	サポートしていません。
縦横1倍角	ESC|1C	● 通常の大きさで印刷します。
横倍角	ESC|2C	● 横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC|3C	● 縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC|4C	● 縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC|#hC	● 代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。 '#'が8以上の場合は8倍率が使用されます。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされ、**ValidateData**ではOPOS_E_FAILURE(111)が返ります。

名称	データ	内容
縦倍率	ESC|#vC	• 代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。 '#'が8以上の場合は8倍率が使用されます。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされ、**ValidateData**ではOPOS_E_FAILURE(111)が返ります。
色指定	ESC|[#]fC	サポートしていません。
中央揃え	ESC|cA	• ESC|cA以降のテキストを中央揃えにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も中央揃えが継続します。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
右寄せ	ESC|rA	• ESC|rA以降のテキストを右寄せにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も右寄せが継続します。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
左寄せ	ESC|lA	• ESC|lA以降のテキストを左寄せにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も左寄せが継続します。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
ノーマル	ESC|N	• ノーマルが指定された以降の印字データは、すべての書式設定を解除し、デフォルトの状態に復元します。
サブ スクリプト	ESC|[!]tbC	サポートしていません。
スーパー スクリプト	ESC|[!]tpC	サポートしていません。
取り消し線	ESC|[!][#]stC	サポートしていません。

5.3 共通プロパティ

BinaryConversion プロパティ R/W

形式　**LONG BinaryConversion;**

説明　OPOSはBStringを使用してマルチキャラクタ入力／出力を受け渡します。BStringは安全にテキストデータに使用できます。BStringはアプリケーションとOPOSコントロールの間の受け渡し時に、OLEはUnicodeコードから、またはUnicodeコードへと、言語固有の変換を行います。BStringがバイナリデータの受け渡しに使用される場合、アプリケーションでのBString文字内のデータバイトがコントロールでの対応データと適合しない時は、これらの変換は元のデータを変更してしまう場合があります。UnicodeコードキャラクタがアプリケーションやOPOSコントロールに渡される時、各コンポーネントの言語固有の違いが誤解釈を引き起こすため、この不適合はBStringポインタが使用されている場合にも起こり得ます。

0x00から0x7Fまでの文字は問題ありません。0x80から0xFFまでの文字のみが不正な変換を引き起こす場合があります。

BinaryConversionの値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_BC_NONE(0)	データは変換されずにBString一文字は1バイトで格納されます。
OPOS_BC_NIBBLE(1)	各バイトは2つの文字に変換されます。(このオプションでバイナリとASCII文字間の最速変換ができます。) 各データバイトは下記のように変換されます。 　第一文字=0x30+データバイトの7～4ビット 　第二文字=0x30+データバイトの3～0ビット 例：バイト値154＝0×9Aは文字0x39 0x3A（文字列"9:"）の文字に変換されます。この変換方法は、バイト値154=0x9Aをコード0x39 0x41（文字列の"9A"）の文字に変換する、一般的な16進値のASCII文字変換とは異なります。
OPOS_BC_DECIMAL(2)	各バイトは3つの文字に変換されます。VAL（string）はASCIIからバイナリへ変換するために各3文字で使用されます。各バイトから3つのASCII文字を作成するために RIGHT("^^"+STR(byte),3)が使用され、'^'はスペース文字を表します。 例1：バイト値154=0x9Aは、文字0x31 0x35 0x34になります。(=文字列"154")。 例2：バイト値8は、文字0x30 0x30 0x38になります。(=文字列"008")。

BinaryConversion設定時（OPOS_BC_NONE(0)でない場合）で、プロパティやメソッドパラメータが**BinaryConversion**の指定が適用される場合は、アプリケーションは、プロパティの設定とメソッドパラメータの受け渡し前に、文字列データを**BinaryConversion**の値に指定されたフォーマットに変換する必要があります。

本プロパティは**Open**によりOPOS_BC_NONE(0)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値のいずれかが**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

形式　**BOOL CapCompareFirmwareVersion;**

説明　ファームウェアバージョンを比較する機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	ファームウェアバージョンを比較する機能はサポートしていません。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

形式　**LONG CapPowerReporting;**

説明　デバイスの通知能力を識別します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_PR_STANDARD(1)	下記の2種類の電源状態の判断及び通知が可能です。 ・OFF_OFFLINE（電源オフまたはオフライン） ・ONLINE

本プロパティは**Open**によりOPOS_PR_STANDARD(1)に初期化されます。

CapStatisticsReporting プロパティ

形式　**BOOL CapStatisticsReporting;**

説明　デバイスのスタティスティクス収集機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	デバイスは使用状態に関する様々なスタティスティクスを収集提供可能です。 収集され通知される情報はデバイスに固有であり、**RetrieveStatistics**を使用して取得されます。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

形式　**BOOL CapUpdateFirmware;**

説明　ファームウェアのアップデート機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	ファームウェアのアップデートはサポートしていません。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapUpdateStatistics プロパティ

形式　**BOOL CapUpdateStatistics;**

説明　デバイスのスタティスティクスリセット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	デバイスのスタティスティクスのいくつかは、**ResetStatistics**を使用して0にリセットできます。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

形式　**BSTR CheckHealthText;**

説明　直前に呼び出した**CheckHealth**の結果を保持します。
下記に診断結果の例を示します。

値	意味
"Internal HCheck: Successful"	プリンターが印字可能な状態であることを確認しました。
"Internal HCheck: Failure"	プリンターが印字可能な状態であることを確認できません。
"External HCheck: Successful"	プリンターとの通信確認と印字のテストに成功しました。
"External HCheck: Failure"	デバイスを使用したプリンターとの通信確認、または印字のテストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Successful"	デバイスとの対話テストに成功しました。
"Interactive HCheck: Failure"	デバイスとの対話テストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Canceled"	デバイスとの対話テストの場合、一度もテストをせずにダイアログを閉じました。

最初の**CheckHealth**の呼び出し以前は空文字列に初期化されています。

Claimed プロパティ

形式　**BOOL Claimed;**

説明　デバイスの排他アクセス権の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	デバイスの排他アクセス権が獲得されています。
FALSE	デバイスはほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

ControlObjectDescription プロパティ

形式　**BSTR ControlObjectDescription;**

説明　本プロパティでコントロールオブジェクトを識別します。
"OPOS POSPrinter Control 1.14.xxx [Public, by CRM/RCS-Dayton]" が設定されています。

本プロパティはいつでも読取り可能です。

ControlObjectVersion プロパティ

形式　**LONG ControlObjectVersion;**

説明　コントロールオブジェクトバージョン番号を示します。

本プロパティはいつでも読取り可能です。

DeviceDescription プロパティ

形式　**BSTR DeviceDescription;**

説明　本プロパティはデバイスとそれに関連する情報を示します。
プリンターによって、初期値が異なります。

プリンター	初期値
MP-B21L	"SII MP-B21L POS Printer"
MP-B30L	"SII MP-B30L POS Printer"
MP-B30	"SII MP-B30 POS Printer"

本プロパティは**Open**により初期化されます。

DeviceEnabled プロパティ R/W

形式　**BOOL DeviceEnabled;**

説明　デバイスの有効/無効を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	デバイスはイネーブルにされています（動作状態です)。 TRUEに変更するとイネーブルにされます。
FALSE	デバイスはディセーブルにされています。 FALSEに変更すると、ディセーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションは本プロパティをTRUEに設定する必要があります。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値のいずれかが**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他使用デバイスをイネーブルにするには、その前に排他アクセス権を獲得する必要があります。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_FAILURE(111)	デバイスをイネーブル状態にできませんでした。設定情報と機器から取得した情報が異なっている可能性があります。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	デバイスからの応答を待ち合わせていたサービスオブジェクトがタイムアウトしたか、デバイスへのデータの送信が送信タイムアウト時間を越えても送信できませんでした。
OPOS_E_BUSY(113)	処理中の為、プロパティの設定に失敗しました。処理終了後にプロパティを設定してください。

DeviceName プロパティ

形式　**BSTR DeviceName;**

説明　本プロパティはデバイスとそれに関連する情報を示します。
プリンターによって初期値が異なります。

プリンター	初期値
MP-B21L	"MP-B21L POS Printer"
MP-B30L	"MP-B30L POS Printer"
MP-B30	"MP-B30 POS Printer"

本プロパティは**Open**により初期化されます。

FreezeEvents プロパティ R/W

形式　**BOOL FreezeEvents;**

説明　イベントの通知/非通知を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	コントロールからイベントが通知されません。凍結が解除されるまで、イベントはコントロールが保持しています。
FALSE	コントロールからイベントが通知されます。凍結されていた間に保持されたイベントがあれば、**FreezeEvents**をFALSEに変更すると、そのイベントが通知されます。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

AsyncModeをTRUEに設定した状態で、**PrintNormal**等の印字メソッドを実行中にエラーが発生した場合、**ErrorEvent**イベントが凍結され、**State**がOPOS_S_BUSY(3)となります。この場合、コントロールをクローズすることができなくなりますので、この場合は、**ClearOutput**で凍結中のイベントを破棄するか、FALSEに設定して、**ErrorEvent**を発生させた後、**Close**を実行してください。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。

OpenResult プロパティ

形式　**LONG OpenResult;**

説明　最新の**Open**での結果を保持します。**OpenResult**の値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	オープンが成功しました。
OPOS_OR_ALREADYOPEN(301)	すでにオープンされています。
OPOS_OR_REGBADNAME(302)	レジストリに指定したデバイス名のキーが存在しません。あるいはデバイス名が指定されていません。
OPOS_OR_REGPROGID(303)	デバイス名のキーのデフォルト値が読めないか、そこに保持されたプログラマティクIDを有効なクラスIDに変換できませんでした。
OPOS_OR_CREATE(304)	サービスオブジェクトインスタンスを生成できなかったか、IDispatchインターフェイスを取得できませんでした。

値	意味
OPOS_OR_BADIF(305)	サービスオブジェクトは指定版数で要求される1つ、またはそれ以上のメソッドをサポートしていません。デバイス名の設定が、サービスオブジェクトと異なっている可能性があります。

本プロパティは**Open**によりOPOS_SUCCESS(0)に初期化されます。

OutputID プロパティ

形式　**LONG OutputID;**

説明　非同期要求（**AsyncMode**がTRUEに設定されている時の、非同期対応メソッドの呼び出し）を一意に識別するための識別子を保持しています。

メソッドが非同期出力の開始に成功すると、コントロールはリクエストに識別子を割り当てます。出力が完了すると、**OutputCompleteEvent**を通知して、その出力IDをパラメータとして渡します。

出力ID番号は、1～2147483646の間でサイクリックに採番されます。

本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

PowerNotify プロパティ R/W

形式　**LONG PowerNotify;**

説明　アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_PN_DISABLED(0)	コントロールはアプリケーションに対していかなる電源通知も提供しません。 電源通知に関する**StatusUpdateEvent**は通知されず、また、**PowerState**にも何も設定されません。
OPOS_PN_ENABLED(1)	**DeviceEnabled**がTRUEに設定されると、コントロールは電源通知に関する**StatusUpdateEvent**の通知、**PowerState**の更新が行われます。機能レベルは、**CapPowerReporting**の値に依存します。

PowerNotifyはデバイスがディセーブルの間、すなわち**DeviceEnabled**がFALSEの間のみ設定が可能です。

本プロパティは**Open**によりOPOS_PN_DISABLED(0)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値のいずれかが**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	下記の理由のどちらかです。 ・**DeviceEnabled**=TRUE ・プロパティの設定範囲が不正です。

PowerState プロパティ

形式　**LONG PowerState;**

説明　現在のデバイスの電源状態が設定されます。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_PS_ONLINE(2001)	デバイスは電源オン、かつレディ状態です。
OPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。
OPOS_PS_UNKNOWN(2000)	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 ・**PowerNotify**=OPOS_PN_DISABLED(0) ・**DeviceEnabled**=FALSE

本プロパティは**Open**によりOPOS_PS_UNKNOWN(2000)に初期化されます。

ResultCode プロパティ

形式　**LONG ResultCode;**

説明　本プロパティは各メソッドが設定します。書込み可能プロパティを設定した時も設定されます。

本プロパティはいつでも読取り可能です。**Open**を呼び出すまでは、OPOS_E_CLOSED(101)を戻します。

ResultCodeの値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	正常動作です。
OPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。このエラーについては、プロパティ、メソッドの説明では記載しません。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)*1	メソッドまたはプロパティ設定処理を使用する前に、排他アクセス権の獲得をしなければならない排他使用デバイスにアクセスしようとしました。

値	意味
OPOS_E_NOSERVICE(104)	コントロールがサービスオブジェクトと通信できません。本ソフトウェアを再インストールしてください。 インストール及びアンインストールの手順は「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。
OPOS_E_DISABLED(105)*1	デバイスをディセーブルしている時には動作を実行できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	デバイスに無効な動作か、サポートされていない動作を実行しようとしたか、無効なパラメータ値を使用しました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_NOEXIST(109)	ファイル名（または他の指定値）が存在していません。
OPOS_E_FAILURE(111)	デバイスがシステムに接続され、電源が入っていてオンラインですが、リクエストされた処理をデバイスが実行できません。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	デバイスからの応答を待ち合わせていたサービスオブジェクトがタイムアウトしたか、デバイスへのデータの送信が送信タイムアウト時間を越えても送信できませんでした。
OPOS_E_BUSY(113)	サービスオブジェクトは、現在この要求を受け付けられません。例えば、非同期出力が実行中の場合、いくつかのメソッドは受け付けられません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	クラス固有エラー状態が発生しました。 **ResultCodeExtended**でエラー状態コードを確認できます。

*1 : OPOS_E_NOTCLAIMED(103)及びOPOS_E_DISABLED(105)の両方で複数の値が有効となる場合は、OPOS_E_NOTCLAIMED(103)の値が優先されます。

ResultCodeExtended プロパティ

形式　**LONG ResultCodeExtended;**

説明　**ResultCode**がOPOS_E_EXTENDED(114)の場合、下記のPOSプリンターデバイスクラス固有のエラー情報値、及び本ソフトウェア固有のエラー情報値が設定されます。
ResultCodeが別の値の場合、0が設定されます。

本ソフトウェアでは下記の値をとります。

値	意味
OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201)	プリンターカバーが開いています。
OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203)	レシート用紙がありません。
OPOS_EPTR_TOOBIG(206)	ビットマップが、変換無しで印刷するにはその幅が広すぎるか、あるいは変換するには大きすぎます。最大印字幅は正立、倒立印字時は**RecLineWidth**の値まで、**RotatePrint**によるビットマップの左右90度回転中は、プリンターの最大値を超えない範囲となります。高さは正立、倒立印字時はプリンターの最大値を超えない範囲まで、左右90度回転中は、**RecLineWidth**ドットまでの印字をサポートします。
OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)	指定されたファイルが、ビットマップファイルでないか、あるいはサポートされていないフォーマットです。

値	意味
OPOS_ESTATS_ERROR(280)	指定されたスタティスティクスの１つ以上がリセットできませんでした。
OPOS_EPTR_VPPOWER(1001)	Vp電圧エラーが発生しました。(固有エラー)
OPOS_EPTR_HEAD_TEMP(1005)	ヘッド温度エラーが発生しました。(固有エラー)
OPOS_EPTR_IMAGEAREA_FULL(1009)	プリンターのユーザ領域にイメージを登録するための領域がありません。(固有エラー)
OPOS_EPTR_UNRECOVERABLE(1010)	復帰不可能エラー(ハードウェアエラー)が発生しました。(固有エラー)
OPOS_EPTR_BATTERY(1013)	バッテリーエラーが発生しました。(固有エラー)
OPOS_EPTR_MARK_JAM(1014)	マークまたはギャップ検出時に紙ジャムエラーが発生しました。(固有エラー)

ServiceObjectDescription プロパティ

形式　**BSTR ServiceObjectDescription;**

説明　本プロパティでサービスオブジェクトを識別するための文字列が設定されています。
プリンターによって、初期値が異なります。

プリンター	初期値
MP-B21L	"SII MP-B21L POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
MP-B30L	"SII MP-B30L POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
MP-B30	"SII MP-B30 POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."

本プロパティは**Open**により初期化されます。

ServiceObjectVersion プロパティ

形式　**LONG ServiceObjectVersion;**

説明　サービスオブジェクトバージョン番号を示します。

本プロパティは**Open**により初期化されます。

State プロパティ

形式　**LONG State;**

説明　コントロールの現在の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_S_CLOSED(1)	コントロールはクローズしています。
OPOS_S_IDLE(2)	コントロールは正常な状態にあり、ビジーではありません。
OPOS_S_BUSY(3)	コントロールは正常な状態にあり、出力を実行しているためビジーです。
OPOS_S_ERROR(4)	エラーが報告され、通常のI/Oを再開するには、その前にアプリケーションがコントロールを正常な状態に戻す必要があります。この状態を取りうるのは、**ErrorEvent**イベントハンドラ内部のみとなります。

本プロパティはいつでも読取り可能です。
本プロパティは**Open**が成功するまでは、OPOS_S_CLOSED(1)を返します。

5.4 専用プロパティ

AsyncMode プロパティ R/W

形式　**BOOL AsyncMode;**

説明　特定の印刷メソッドの実行の同期/非同期を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	**PrintNormal**、**PageModePrint**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、**PrintMemoryBitmap**、**DrawRuledLine**、**MarkFeed**、**RotatePrint**及び**TransactionPrint**の印刷メソッドが非同期で実行されます。
FALSE	上記の印刷メソッドが同期で実行されます。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。

CapCharacterSet プロパティ

形式　**LONG CapCharacterSet;**

説明　印刷可能な文字設定を示します。
本プロパティには下記に示す値が入ります。

値	意味
PTR_CCS_KANJI(11)	文字設定はCode Page 932をサポートします。 0xA1と0xDFの間の半角のカタカナ、0x20と0x7Fの間の全てのASCII文字をサポートします。また、JIS第一水準、JIS第二水準レベルで定義される文字のシフトJISコード文字をサポートします。

本プロパティは**Open**によりPTR_CCS_KANJI(11)に初期化されます。

CapCoverSensor プロパティ

形式　**BOOL CapCoverSensor;**

説明　カバーオープンセンサの有無を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	プリンターにはカバーオープンセンサがあります。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapMapCharacterSet プロパティ

形式　**BOOL CapMapCharacterSet;**

説明　印字の際にアプリケーションの文字を選択した文字セットにマップするサービスオブジェクトの機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	サービスオブジェクトは文字を**CharacterSetList**に定義された文字セットに対して正確にマッピングすることはできません。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapRec2Color プロパティ

形式　**BOOL CapRec2Color;**

説明　2色印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	レシートの2色印字はサポートしていません。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapRecBarCode プロパティ

形式　**BOOL CapRecBarCode;**

説明　バーコード印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートのバーコード印刷が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecBitmap プロパティ

形式　**BOOL CapRecBitmap;**

説明　ビットマップ印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートのビットマップ印刷が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecBold プロパティ

形式　**BOOL CapRecBold;**

説明　ボールド属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートのボールド属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecCartridgeSensor プロパティ

形式　**LONG CapRecCartridgeSensor;**

説明　カートリッジセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	レシートカートリッジセンサの機能はサポートしていません。

本プロパティは**Open**より0に初期化されます。

CapRecColor プロパティ

形式　**LONG CapRecColor;**

説明　カラー印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001)	レシートカラー印刷機能はサポートしていません。

本プロパティは**Open**によりPTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001)に初期化されます。

CapRecDhigh プロパティ

形式　**BOOL CapRecDhigh;**

説明　縦倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートの縦倍角属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecDwide プロパティ

形式　**BOOL CapRecDwide;**

説明　横倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートの横倍角属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecDwideDhigh プロパティ

形式　**BOOL CapRecDwideDhigh;**

説明　縦横倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートの縦横倍角属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecEmptySensor プロパティ

形式　**BOOL CapRecEmptySensor;**

説明　紙無しセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	プリンターには紙無しセンサがあります。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecItalic プロパティ

形式　**BOOL CapRecItalic;**

説明　イタリック属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	レシートのイタリック属性はサポートしていません。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapRecLeft90 プロパティ

形式　**BOOL CapRecLeft90;**

説明　左90度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートの左90度回転属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecMarkFeed プロパティ

形式　**LONG CapRecMarkFeed;**

説明　マーク付き用紙の制御機能を示します。
本プロパティには下記のいずれかの値の論理和が設定されます。
MarkFeedにいずれかの値を指定すると、その機能を実行できます。

値	意味
0	マーク検出機能は無効です。
PTR_MF_TO_TAKEUP(1)	マークまたはギャップ検出後、用紙を取り出せる位置までフィードします。
PTR_MF_TO_CUTTER(2)	マークまたはギャップ検出後、用紙をカット位置までフィードします。 (PTR_MF_TO_TAKEUP(1)と同じ位置までフィードします。)
PTR_MF_TO_CUTTERTOF(4)	MP-B21Lのみサポートします。 マーク紙を印字位置までバックフィードします。
PTR_MF_TO_NEXT_TOF(8)	MP-B21L及びMP-B30Lのみサポートします。 次のマークまたはギャップ検出後、用紙の印字位置までフィードします。

本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。
本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

CapRecNearEndSensor プロパティ

形式　**BOOL CapRecNearEndSensor;**

説明　レシートのニアエンドセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	ニアエンドセンサ機能はサポートしていません。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapRecPageMode プロパティ

形式　**BOOL CapRecPageMode;**

説明　レシートステーションのページモード印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	ページモード印刷が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecPapercut プロパティ

形式　**BOOL CapRecPapercut;**

説明　レシートの用紙カット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	レシートの用紙カットが不可能です。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

CapRecPresent プロパティ

形式　**BOOL CapRecPresent;**

説明　レシートステーションの存在を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートステーションが存在します。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecRight90 プロパティ

形式　**BOOL CapRecRight90;**

説明　レシートの右90度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートの右90度回転属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecRotate180 プロパティ

形式　**BOOL CapRecRotate180;**

説明　レシートの180度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートの180度回転属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapRecRuledLine プロパティ

形式　**Long CapRecRuledLine;**

説明　レシートの印刷可能な罫線を示します。
下記に示す値の論理和が設定されます。

値	意味
PTR_RL_HORIZONTAL(1)	横罫線を印刷する機能があります。
PTR_RL_VERTICAL(2)	縦罫線を印刷する機能があります。

本プロパティは**Open**により、上記値の論理和(3)に初期化されます。

CapRecStamp プロパティ

形式　**BOOL CapRecStamp;**

説明　レシートのスタンプ印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	レシートのスタンプ印字はサポートしていません。

本プロパティは**Open**よりFALSEに初期化されます。

CapRecUnderline プロパティ

形式　**BOOL CapRecUnderline;**

説明　レシートのアンダーライン属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートのアンダーライン属性が可能です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CapTransaction プロパティ

形式　**BOOL CapTransaction;**

説明　プリンターの一括処理機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	プリンターの一括処理が有効です。

本プロパティは**Open**によりTRUEに初期化されます。

CartridgeNotify プロパティ R/W

形式　**LONG CartridgeNotify;**

説明　プリンターのカートリッジの状態通知機能を設定します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CN_DISABLED(0)	カートリッジ状態通知を提供しません。

本プロパティは**Open**によりPTR_CN_DISABLED(0)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。(初期値を設定時のみ)
OPOS_E_ILLEGAL(106)	プロパティの設定をサポートしていません。

CharacterSet プロパティ R/W

形式　**LONG CharacterSet;**

説明　文字の印字に用いるキャラクタを設定します。
本プロパティには下記に示す値の内の1つが設定されます。

値	意味
437	Code Page 437文字セットを選択します。
737	Code Page 737文字セットを選択します。
850	Code Page 850文字セットを選択します。
852	Code Page 852文字セットを選択します。
855	Code Page 855文字セットを選択します。
857	Code Page 857文字セットを選択します。
858	Code Page 858文字セットを選択します。
860	Code Page 860文字セットを選択します。

値	意味
863	Code Page 863文字セットを選択します。
865	Code Page 865文字セットを選択します。
866	Code Page 866文字セットを選択します。
932	Code Page 932文字セット（シフトJISコード）として、Katakanaを選択します。
PTR_CS_ANSI(999)/ PTR_CS_WINDOWS(999)	Windows ANSIキャラクタを設定します。*1
1250	Code Page 1250文字セットを選択します。
1251	Code Page 1251文字セットを選択します。
1252	Code Page 1252文字セットを選択します。*1
1253	Code Page 1253文字セットを選択します。
1254	Code Page 1254文字セットを選択します。

*1: Windows ANSI文字セットとCode Page 1252は等しい文字セットです。

本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。
本プロパティは**Open**により、設定プログラムの[DefaultCharacterSet]で設定されている文字セットの値に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値のいずれかが**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

CharacterSetList プロパティ

形式　**BSTR CharacterSetList;**

説明　プリンターがサポートするキャラクタ設定を数値配列で示します。

″437,737,850,852,855,857,858,860,863,865,866,932,999,1250,1251,1252,1253,1254″が設定されます。

本プロパティは**Open**により上記の値に初期化されます。

CoverOpen プロパティ

形式　**BOOL CoverOpen;**

説明　プリンターカバーの状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	プリンターカバーが開いています。
FALSE	プリンターカバーが閉じています。

本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に初期化され、現状を保持します。

ErrorLevel プロパティ

形式　**LONG ErrorLevel;**

説明　エラー状態からの復帰可能/不可能を示します。
本プロパティには下記に示す値の内の1つが設定されます。

値	意味
PTR_EL_NONE(1)	エラー状態ではありません。
PTR_EL_RECOVERABLE(2)	復帰可能エラーが発生しました。
PTR_EL_FATAL(3)	復帰不可能エラーが発生しました。 本エラーは**ResultCode**がOPOS_E_EXTENDED(114) で、**ResultCodeExteded**がOPOS_EPTR_UNRECOVERABLE(1010)の場合に設定されます。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される前に、コントロールにより設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティはPTR_EL_NONE(1)に変わります。

ErrorStation プロパティ

形式　**LONG ErrorStation;**

説明　エラーが発生しているステーションを示します。
本プロパティには下記の値が設定されます。

値	意味
PTR_S_RECEIPT(2)	レシートステーションでエラーを検知しました。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される前に設定されます。

本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

ErrorString プロパティ

形式　**BSTR ErrorString;**

説明　現在のエラー情報を保持します。

値	意味
"Off/Offline error"	OPOS_E_NOHARDWARE(107)
"Unrecoverable error"	OPOS_EPTR_UNRECOVERABLE(1010)
"Battery error"	OPOS_EPTR_BATTERY(1013)
"Head temperature error"	OPOS_EPTR_HEAD_TEMP(1005)
"Vp voltage error"	OPOS_EPTR_VPPOWER(1001)
"Cover open error"	OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201)
"Out-of-paper error"	OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203)
"Mark paper jam error"	OPOS_EPTR_MARK_JAM(1014)
"Failure"	OPOS_E_FAILURE(111)
"Time out"	OPOS_E_TIMEOUT(112)

上記表の値は、同時に複数のエラーが発生している時に**ErrorString**に設定される優先順位の高い方から順に並んでいます。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される前に、コントロールにより設定されます。上記の[値]を利用しないならば、プロパティには空文字列が設定されます。エラーが解除されれば、本プロパティは空文字列に変わります。

FlagWhenIdle プロパティ R/W

形式　**BOOL FlagWhenIdle;**

説明　**StatusUpdateEvent**の通知機能を示します。
本プロパティには下記の値が設定されます。

値	意味
TRUE	POSプリンターコントロールがアイドル状態であれば、**StatusUpdateEvent**を通知します。
FALSE	本イベントは通知されません。

このステータスイベントが通知されると、**FlagWhenIdle**は自動的にFALSEにリセットされます。
本プロパティを使用してステータスイベントを利用することにより、アプリケーションは全ての非同期出力が終了した時を知ることができます。出力が正常終了した時、または**ErrorEvent**を受け取ったイベントハンドラにより出力が削除された時に、イベントが通知されます。
FlagWhenIdleをTRUEに設定する時に、**State**がOPOS_S_IDLE(2)の場合、**StatusUpdateEvent**は直ちに通知されます。したがって、非同期出力の終了と、このフラグの設定のすれ違いを気にせずに、アプリケーションは本イベントを使用できます。

本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。

FontTypefaceList プロパティ

形式　**BSTR FontTypefaceList;**

説明　プリンターがサポートするフォントやフォントタイプを指定する文字列です。

本プロパティは**Open**により空文字列に初期化されます。

MapCharacterSet プロパティ R/W

形式　**BOOL MapCharacterSet;**

説明　本プロパティは**Open**によりFALSEに初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。(初期値の設定時のみ)
OPOS_E_ILLEGAL(106)	プロパティの設定をサポートしていません。

MapMode プロパティ R/W

形式　**LONG MapMode;**

説明　POSプリンターコントロールのマッピングモードを示します。マッピングモードは他のプロパティで使用されるラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。

下記のマップモードをサポートしています。( ) 内の値は、単位あたりをdot換算した値です。

値	意味
PTR_MM_DOTS(1)	プリンターのドット幅0.125mm (1 dot)
PTR_MM_TWIPS(2)	1インチの1/1440 (0.1411 dots)
PTR_MM_ENGLISH(3)	0.001インチ (0.203 dots)
PTR_MM_METRIC(4)	0.01ミリメータ (0.08 dots)

マッピングモード毎に、下記の計算式によって単位の変換を行います。

MapMode	変換
PTR_MM_DOTS(1) プリンタードット幅（ドット値）	変換しない
PTR_MM_TWIPS(2) 1/1440インチ	k=1/1440 ■DOT -> TWIPS 変換 twips=dot/(dpi×k) ■TWIPS -> DOT 変換 dot=twips×dpi×k
PTR_MM_ENGLISH(3) 0.001インチ	k=1/1000 ■DOT -> ENGLISH 変換 english=dot/(dpi×k) ■ENGLISH -> DOT 変換 dot=english×dpi×k
PTR_MM_METRIC(4) 0.01ミリメータ	k=1/100、mmpi=25.4 ■DOT -> METRIC 変換 metric=(mmpi×dot)/(dpi×k) ■METRIC -> DOT 変換 dot=(metric×dpi×k)/mmpi

(1inch=25.4mm)

MapModeは各プロパティの表示上の単位だけを変更するので、内部処理は**MapMode**にかかわらず、すべてドット単位で行われます。このため、値の丸め誤差が累積することはありません。
ドット値からマップモード値に変換する場合は、小数点以下を切り上げます。また、マップモード値からドット値に変換する場合は、小数点以下を切り捨てます。

MapModeを設定すると、**RecLineSpacing**、**RecLineWidth**、**RecLineHeight**、**PageModeArea**、**PageModePrintArea**、**PageModeHorizontalPosition**、**PageModeVerticalPosition**も変化します。

本プロパティは**Open**によりPTR_MM_DOTS(1)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なマッピングモードが指定されました。

PageModeArea プロパティ

形式　**BSTR PageModeArea;**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションのページモード領域を、**MapMode**で指定した単位で保持します。

ページモード領域は、ページモード印刷領域とは異なり、プリンターのハードウェア的な能力で決定されます。本プロパティはページモード領域の幅と高さを表すカンマ区切りの2つのASCII数字で構成されます。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。指定しない場合は、PTR_S_RECEIPT(2)を指定するまで空文字列を返します。

本プロパティには下記の値が設定されます。(**MapMode**=PTR_MM_DOTS(1)の場合)

MP-B21L

値	意味
″168,2400″	**RecLineWidth**が168の場合の**PageModeArea**値
″176,2400″	**RecLineWidth**が176の場合の**PageModeArea**値
″192,2400″	**RecLineWidth**が192の場合の**PageModeArea**値
″208,2400″	**RecLineWidth**が208の場合の**PageModeArea**値
″224,2400″	**RecLineWidth**が224の場合の**PageModeArea**値
″240,2400″	**RecLineWidth**が240の場合の**PageModeArea**値
″256,2400″	**RecLineWidth**が256の場合の**PageModeArea**値
″272,2400″	**RecLineWidth**が272の場合の**PageModeArea**値
″288,2400″	**RecLineWidth**が288の場合の**PageModeArea**値
″304,2400″	**RecLineWidth**が304の場合の**PageModeArea**値
″320,2400″	**RecLineWidth**が320の場合の**PageModeArea**値
″336,2400″	**RecLineWidth**が336の場合の**PageModeArea**値
″352,2400″	**RecLineWidth**が352の場合の**PageModeArea**値
″360,2400″	**RecLineWidth**が360の場合の**PageModeArea**値
″368,2400″	**RecLineWidth**が368の場合の**PageModeArea**値
″384,2400″	**RecLineWidth**が384の場合の**PageModeArea**値

MP-B30L

値	意味
″360,2400″	**RecLineWidth**が360の場合の**PageModeArea**値
″368,2400″	**RecLineWidth**が368の場合の**PageModeArea**値
″384,2400″	**RecLineWidth**が384の場合の**PageModeArea**値
″400,2400″	**RecLineWidth**が400の場合の**PageModeArea**値
″416,2400″	**RecLineWidth**が416の場合の**PageModeArea**値
″432,2400″	**RecLineWidth**が432の場合の**PageModeArea**値
″448,2400″	**RecLineWidth**が448の場合の**PageModeArea**値

値	意味
″464,2400″	**RecLineWidth**が464の場合の**PageModeArea**値
″480,2400″	**RecLineWidth**が480の場合の**PageModeArea**値
″496,2400″	**RecLineWidth**が496の場合の**PageModeArea**値
″512,2400″	**RecLineWidth**が512の場合の**PageModeArea**値
″528,2400″	**RecLineWidth**が528の場合の**PageModeArea**値
″544,2400″	**RecLineWidth**が544の場合の**PageModeArea**値
″560,2400″	**RecLineWidth**が560の場合の**PageModeArea**値
″576,2400″	**RecLineWidth**が576の場合の**PageModeArea**値

MP-B30

値	意味
″576,2400″	**RecLineWidth**が576の場合の**PageModeArea**値

PageModeDescriptor プロパティ

形式　**LONG PageModeDescriptor;**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションで利用可能なページモード機能を、下記の値の論理和で示します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。指定しない場合は、PTR_S_RECEIPT(2)を指定するまで0を返します。

値	意味
PTR_PM_BITMAP(1)	**PageModeStation**に指定したステーションで、ビットマップ印刷ができます。
PTR_PM_BARCODE(2)	**PageModeStation**に指定したステーションで、バーコード印刷ができます。
PTR_PM_BM_ROTATE(4)	**PageModeStation**に指定したステーションで、ビットマップの回転印刷ができます。
PTR_PM_BC_ROTATE(8)	**PageModeStation**に指定したステーションで、バーコードの回転印刷ができます。

本プロパティはPTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、上記値の論理和に初期化されます。

PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W

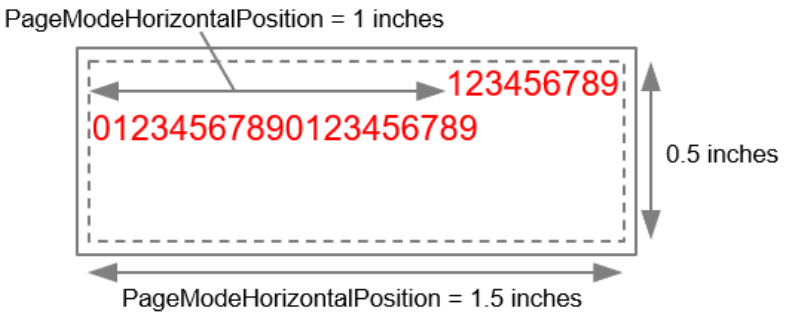
形式　**LONG PageModeHorizontalPosition;**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションで、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を水平方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeに指定した単位で表記します。
水平方向とは**PageModePrintDirection**で設定した印刷方向と同じ方向を指します。
本プロパティは現在位置ではなく、最後に指定した水平方向のオフセット値を返します。本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。指定しない場合、PTR_S_RECEIPT(2)を指定するまで0を返します。

PageModeHorizontalPositionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to 1.5 inches by 0.5 inches
myptr.setPageModePrintArea("0,0,1500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.setPageModeHorizontalPosition(1000);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234567890¥n");
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

PageModePrintArea プロパティ R/W

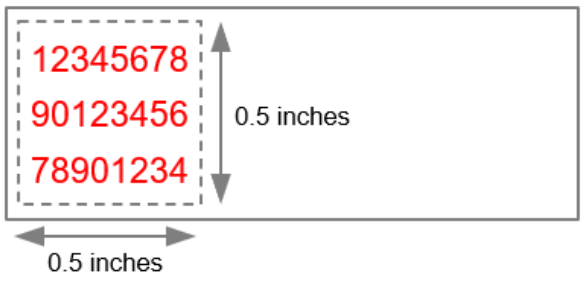
形式　**BSTR PageModePrintArea;**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションのページモード印刷領域を、**MapMode**で指定した単位で保持します。
PageModePrintAreaのサイズは、**PageModeArea**より大きく取ることはできません。

本プロパティはカンマ区切りの4つのASCII数字で構成されます。始点の水平方向座標、始点の垂直方向座標、水平方向の幅、垂直方向の高さ、の順に列挙します。例えば文字列が、"50,100,200,400"の場合、そのステーションのページモード印刷領域は、左上隅(50,100)と右下隅(249,499)で囲まれる長方形で示されます。
ページモード印刷領域の右端を超える文字は、次の行に印刷されます。ページモード印刷領域の下端を超える文字と画像は、印刷されません。具体例を示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to half inch square block
myptr.setPageModePrintArea("0,0,500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789O¥n");
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティにアクセスする前に**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。指定しない場合は、PTR_S_RECEIPT(2)を指定するまで空文字列を返します。
PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、"0,0,0,0"に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

PageModePrintDirection プロパティ R/W

形式　**LONG PageModePrintDirection;**

説明　ページモード印刷領域の印刷方向を保持します。印刷方向は下記の通りです。

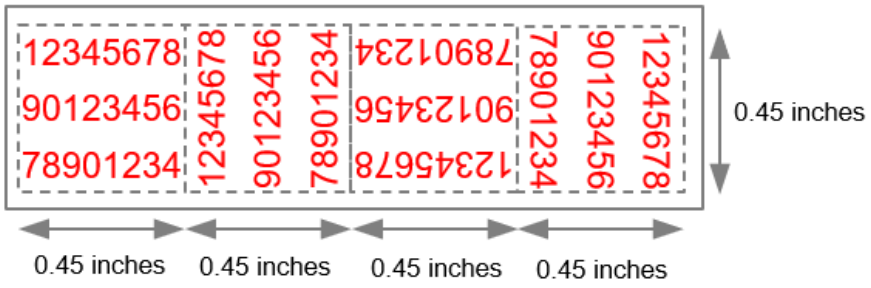
値	意味
PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT(1)	ページモード印刷領域の左上隅を始点に、左から右方向へ印刷します。通常の印刷方向です。
PTR_PD_BOTTOM_TO_TOP(2)	ページモード印刷領域の左下隅を始点に、下から上方向へ印刷します。左90度の回転印刷です。
PTR_PD_RIGHT_TO_LEFT(3)	ページモード印刷領域の右下隅を始点に、右から左方向へ印刷します。180度の回転印刷です。
PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM(4)	ページモード印刷領域の右上隅を始点に、上から下方向へ印刷します。右90度の回転印刷です。

本プロパティを変更すると、**PageModeHorizontalPosition**と**PageModeVerticalPosition**で示される印刷開始点の補正方向も変化します。本プロパティの変更は、現在編集中のページモード印刷領域に対してのみ効果があります。ページモード印刷領域を切り替えることで、文字の回転方向を組み合わせたレシートを印刷することができます。

具体例を示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to half inch square block
myptr.setPageModePrintArea("0,0,450,450");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789O¥n");
myptr.setPageModePrintArea("450,0,450,450");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_BOTTOM_TO_TOP);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789O¥n");
myptr.setPageModePrintArea("900,0,450,450");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_RIGHT_TO_LEFT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789O¥n");
myptr.setPageModePrintArea("1350,0,450,450");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789O¥n");
```

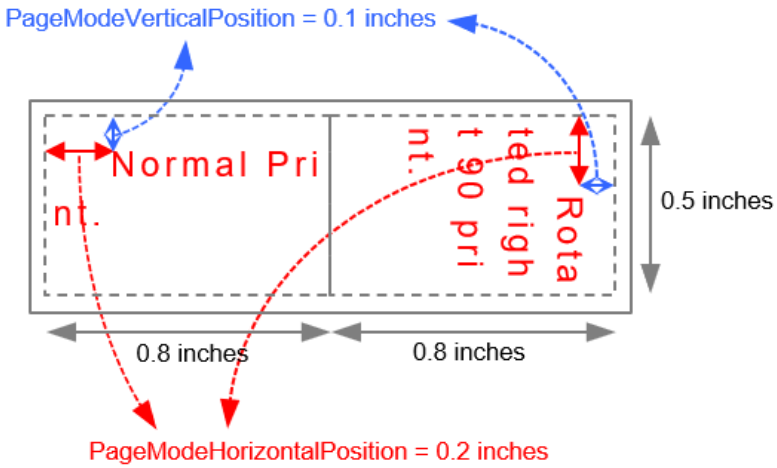
上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



同様に文字を回転させることもできます。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
myptr.setPageModePrintArea("0,0,800,500");
myptr.pageModeVerticalPosition(100);
myptr.pageModeHorizontalPosition(200);
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "Normal print.¥n");
myptr.setPageModePrintArea("800,0,800,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "Rotated right 90 print.¥n");
myptr.setPageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティにアクセスする前に**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。指定しない場合、PTR_S_RECEIPT(2)を指定するまで0を返します。PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT(1)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

PageModeStation プロパティ R/W

形式　**LONG PageModeStation;**

説明　ページモード機能の対象とするステーションを指定します。
ページモード機能のプロパティやメソッドにアクセスする前に、必ず本プロパティに PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

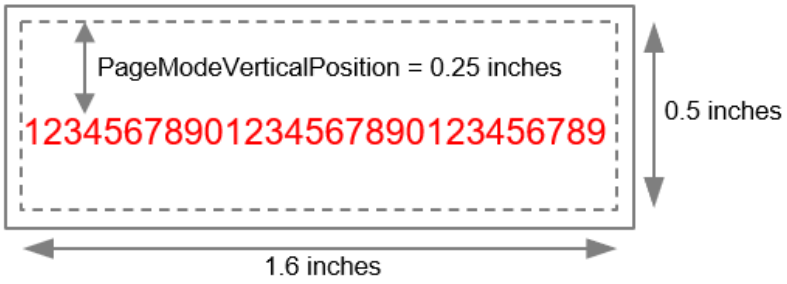
PageModeVerticalPosition プロパティ R/W

形式　**LONG PageModeVerticalPosition;**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションで、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を垂直方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeに指定した単位で表記します。
垂直方向とは**PageModePrintDirection**で設定した印刷方向に対して垂直な方向です。本プロパティは現在位置ではなく、最後に指定した垂直方向のオフセット値を返します。
PageModeVerticalPositionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to 1.6 inches by 0.5 inches
myptr.setPageModePrintArea("0,0,1600,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.setPageModeVerticalPosition(250);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789¥n");
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティにアクセスする前に**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。指定しない場合は、PTR_S_RECEIPT(2)を指定するまで0を返します。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

RecBarCodeRotationList プロパティ

形式　**BSTR RecBarCodeRotationList;**

説明　レシートのバーコードが回転できる方向を示します。
本プロパティは**Open**により"0,R90,L90,180"に初期化されます。文字列はカンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は下記の内容になります。

値	意味
0	バーコードは通常の方向に印刷できます。
R90	バーコードは右90度に回転印刷できます。
L90	バーコードは左90度に回転印刷できます。
180	バーコードは180度（倒立）に回転印刷できます。

RecBitmapRotationList プロパティ

形式　**BSTR RecBitmapRotationList;**

説明　この文字列はレシートのビットマップが回転できる方向を示します。
本プロパティは**Open**により"0,R90,L90,180"に初期化されます。文字列はカンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は下記の内容になります。

値	意味
0	ビットマップは通常の方向に印刷できます。
R90	ビットマップは右90度に回転印刷できます。
L90	ビットマップは左90度に回転印刷できます。

値	意味
180	ビットマップは180度（倒立）に回転印刷できます。

RecCartridgeState プロパティ

形式　**LONG RecCartridgeState;**

説明　現在選択されているレシートのカートリッジ（インク、リボン、トナー）の状態を示します。
値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CART_UNKNOWN(0x10000000)	デバイスはカートリッジ状態通知機能をサポートしていません。

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした時に、
PTR_CART_UNKNOWN(0x10000000)に初期化されます。

RecCurrentCartridge プロパティ R/W

形式　**LONG RecCurrentCartridge;**

説明　レシートカートリッジの選択はサポートしていません。

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした時に、
PTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。(初期値の設定時のみ)
OPOS_E_ILLEGAL(106)	カートリッジの指定は無効です。

RecEmpty プロパティ

形式　**BOOL RecEmpty;**

説明　レシートの紙有り/無しを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	レシートは紙無しです。
FALSE	レシートは紙有りです。

本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に初期化され、現状を保持します。

RecLetterQuality プロパティ R/W

形式　**BOOL RecLetterQuality;**

説明　プリンターの印字モードを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
TRUE	高品位モードによる印刷になります。
FALSE	高速モードによる印刷になります。

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、FALSEに初期化されます。

設定プログラムにおいて[PrintQuality]が「RecLetterQuality Valid」以外の値に設定されている場合、本プロパティの設定は無効となり、[PrintQuality]の設定通り、固定速度の印字モードによる印刷になります。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。

RecLineChars プロパティ R/W

形式　**LONG RecLineChars;**

説明　一行に印字される半角文字の文字数を指定します。
指定された文字数により、下記のフォントで印字されます。

MP-B21L

<table>
<tr><th>RecLineWidth</th><th>RecLineChars</th><th>印字フォント
（高さ×幅）</th><th>文字間
スペース</th><th>RecLineHeight</th></tr>
<tr><td rowspan="8">168</td><td>10</td><td rowspan="4">フォントA
(24ドット×12ドット)</td><td>4ドット</td><td rowspan="4">24</td></tr>
<tr><td>12</td><td>2ドット</td></tr>
<tr><td>12</td><td>1ドット</td></tr>
<tr><td>14（初期値）</td><td>0ドット</td></tr>
<tr><td>16</td><td rowspan="3">フォントB
(16ドット×8ドット)</td><td>2ドット</td><td rowspan="3">16</td></tr>
<tr><td>18</td><td>1ドット</td></tr>
<tr><td>21</td><td>0ドット</td></tr>
</table>

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
176	11	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	12		2ドット	
	13		1ドット	
	14（初期値）		0ドット	
	17	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	19		1ドット	
	22		0ドット	
192	12	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	13		2ドット	
	14		1ドット	
	16（初期値）		0ドット	
	19	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	21		1ドット	
	24		0ドット	
208	13	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	14		2ドット	
	16		1ドット	
	17（初期値）		0ドット	
	20	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	23		1ドット	
	26		0ドット	
224	14	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	16		2ドット	
	17		1ドット	
	18（初期値）		0ドット	
	22	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	24		1ドット	
	28		0ドット	
240	15	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	17		2ドット	
	18		1ドット	
	20（初期値）		0ドット	
	24	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	26		1ドット	
	30		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
256	16	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	18		2ドット	
	19		1ドット	
	21（初期値）		0ドット	
	25	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	28		1ドット	
	32		0ドット	
272	17	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	19		2ドット	
	20		1ドット	
	22（初期値）		0ドット	
	27	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	30		1ドット	
	34		0ドット	
288	18	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	20		2ドット	
	22		1ドット	
	24（初期値）		0ドット	
	28	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	32		1ドット	
	36		0ドット	
304	19	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	21		2ドット	
	23		1ドット	
	25（初期値）		0ドット	
	30	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	33		1ドット	
	38		0ドット	
320	20	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	22		2ドット	
	24		1ドット	
	26（初期値）		0ドット	
	32	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	35		1ドット	
	40		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
336	21	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	24		2ドット	
	25		1ドット	
	28（初期値）		0ドット	
	33	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	37		1ドット	
	42		0ドット	
352	22	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	25		2ドット	
	27		1ドット	
	29（初期値）		0ドット	
	35	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	39		1ドット	
	44		0ドット	
360	22	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	25		2ドット	
	27		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	40		1ドット	
	45		0ドット	
368	23	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	26		2ドット	
	28		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	40		1ドット	
	45		0ドット	
384	24	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	27		2ドット	
	29		1ドット	
	32（初期値）		0ドット	
	38	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	42		1ドット	
	48		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント（高さ×幅）	文字間スペース	RecLineHeight
360	22	フォントA（24ドット×12ドット）	4ドット	24
	25		2ドット	
	27		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB（16ドット×8ドット）	2ドット	16
	40		1ドット	
	45		0ドット	
368	23	フォントA（24ドット×12ドット）	4ドット	24
	26		2ドット	
	28		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB（16ドット×8ドット）	2ドット	16
	40		1ドット	
	46		0ドット	
384	24	フォントA（24ドット×12ドット）	4ドット	24
	27		2ドット	
	29		1ドット	
	32（初期値）		0ドット	
	38	フォントB（16ドット×8ドット）	2ドット	16
	42		1ドット	
	48		0ドット	
400	25	フォントA（24ドット×12ドット）	4ドット	24
	28		2ドット	
	30		1ドット	
	33（初期値）		0ドット	
	40	フォントB（16ドット×8ドット）	2ドット	16
	44		1ドット	
	50		0ドット	
416	26	フォントA（24ドット×12ドット）	4ドット	24
	29		2ドット	
	32		1ドット	
	34（初期値）		0ドット	
	41	フォントB（16ドット×8ドット）	2ドット	16
	46		1ドット	
	52		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
432	27	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	30		2ドット	
	33		1ドット	
	36（初期値）		0ドット	
	43	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	48		1ドット	
	54		0ドット	
448	28	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	32		2ドット	
	34		1ドット	
	37（初期値）		0ドット	
	44	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	49		1ドット	
	56		0ドット	
464	29	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	33		2ドット	
	35		1ドット	
	38（初期値）		0ドット	
	46	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	51		1ドット	
	58		0ドット	
480	30	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	34		2ドット	
	36		1ドット	
	40（初期値）		0ドット	
	48	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	53		1ドット	
	60		0ドット	
496	31	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	35		2ドット	
	38		1ドット	
	41（初期値）		0ドット	
	49	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	55		1ドット	
	62		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
512	32	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	36		2ドット	
	39		1ドット	
	42（初期値）		0ドット	
	51	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	56		1ドット	
	64		0ドット	
528	33	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	37		2ドット	
	40		1ドット	
	44（初期値）		0ドット	
	52	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	58		1ドット	
	66		0ドット	
544	34	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	38		2ドット	
	41		1ドット	
	45（初期値）		0ドット	
	54	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	60		1ドット	
	68		0ドット	
560	35	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	40		2ドット	
	43		1ドット	
	46（初期値）		0ドット	
	56	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	62		1ドット	
	70		0ドット	
576	36	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	41		2ドット	
	44		1ドット	
	48（初期値）		0ドット	
	57	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	64		1ドット	
	72		0ドット	

MP-B30

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
576	36	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	41		2ドット	
	44		1ドット	
	48（初期値）		0ドット	
	57	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	64		1ドット	
	72		0ドット	

この値がサポートされている行文字幅に変われば、文字幅はその指定された値に設定されます。正確な幅がサポートできない場合、サポートされている行文字幅の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。（例えば、紙幅：48mm/384dotsで40をセットした場合、サービスオブジェクトは**RecLineChars**=42を選択します）

文字幅がサポートできない場合は、エラーが通知されます。（例えば、紙幅：48mm/384dotsで60をセットするとエラーとなります。）
RecLineCharsを設定することにより、**RecLineHeight**、**RecLineSpacing**も更新されます。
RecLineCharsの値は、**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、デフォルトの値に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値のいずれかが**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な行文字幅が指定されました。

RecLineCharsList プロパティ

形式　**BSTR RecLineCharsList;**

説明　サポートされる行文字幅を含む文字列です。
本プロパティは**Open**により、下記の値に設定されます。

MP-B21L

値	意味
″10,12,14,16,18,21″	**RecLineWidth**が168の場合の**RecLineCharsList**値
″11,12,13,14,17,19,22″	**RecLineWidth**が176の場合の**RecLineCharsList**値
″12,13,14,16,19,21,24″	**RecLineWidth**が192の場合の**RecLineCharsList**値
″13,14,16,17,20,23,26″	**RecLineWidth**が208の場合の**RecLineCharsList**値

値	意味
"14,16,17,18,22,24,28"	**RecLineWidth**が224の場合の**RecLineCharsList**値
"15,17,18,20,24,26,30"	**RecLineWidth**が240の場合の**RecLineCharsList**値
"16,18,19,21,25,28,32"	**RecLineWidth**が256の場合の**RecLineCharsList**値
"17,19,20,22,27,30,34"	**RecLineWidth**が272の場合の**RecLineCharsList**値
"18,20,22,24,28,32,36"	**RecLineWidth**が288の場合の**RecLineCharsList**値
"19,21,23,25,30,33,38"	**RecLineWidth**が304の場合の**RecLineCharsList**値
"20,22,24,26,32,35,40"	**RecLineWidth**が320の場合の**RecLineCharsList**値
"21,24,25,28,33,37,42"	**RecLineWidth**が336の場合の**RecLineCharsList**値
"22,25,27,29,35,39,44"	**RecLineWidth**が352の場合の**RecLineCharsList**値
"22,25,27,30,36,40,45"	**RecLineWidth**が360の場合の**RecLineCharsList**値
"23,26,28,30,36,40,46"	**RecLineWidth**が368の場合の**RecLineCharsList**値
"24,27,29,32,38,42,48"	**RecLineWidth**が384の場合の**RecLineCharsList**値

MP-B30L

値	意味
"22,25,27,30,36,40,45"	**RecLineWidth**が360の場合の**RecLineCharsList**値
"23,26,28,30,36,40,46"	**RecLineWidth**が368の場合の**RecLineCharsList**値
"24,27,29,32,38,42,48"	**RecLineWidth**が384の場合の**RecLineCharsList**値
"25,28,30,33,40,44,50"	**RecLineWidth**が400の場合の**RecLineCharsList**値
"26,29,32,34,41,46,52"	**RecLineWidth**が416の場合の**RecLineCharsList**値
"27,30,33,36,43,48,54"	**RecLineWidth**が432の場合の**RecLineCharsList**値
"28,32,34,37,44,49,56"	**RecLineWidth**が448の場合の**RecLineCharsList**値
"29,33,35,38,46,51,58"	**RecLineWidth**が464の場合の**RecLineCharsList**値
"30,34,36,40,48,53,60"	**RecLineWidth**が480の場合の**RecLineCharsList**値
"31,35,38,41,49,55,62"	**RecLineWidth**が496の場合の**RecLineCharsList**値
"32,36,39,42,51,56,64"	**RecLineWidth**が512の場合の**RecLineCharsList**値
"33,37,40,44,52,58,66"	**RecLineWidth**が528の場合の**RecLineCharsList**値
"34,38,41,45,54,60,68"	**RecLineWidth**が544の場合の**RecLineCharsList**値
"35,40,43,46,56,62,70"	**RecLineWidth**が560の場合の**RecLineCharsList**値
"36,41,44,48,57,64,72"	**RecLineWidth**が576の場合の**RecLineCharsList**値

MP-B30

値	意味
"36,41,44,48,57,64,72"	**RecLineWidth**が576の場合の**RecLineCharsList**値

RecLineHeight プロパティ R/W

形式　**LONG RecLineHeight;**

説明　印字行の高さです。
MapModeで定義された単位で表記します。
本プロパティは**RecLineChars**の変更により自動的に更新されるため、値を設定すると OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。

RecLineCharsが変わると**RecLineHeight**は、設定された**RecLineChars**に対応する印字フォントの高さに更新されます。**RecLineChars**と印字フォントの関係は**RecLineChars**を参照してください。

RecLineHeightと印字フォントの関係は下記の通りです。
（**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合）

印字フォント（高さ×幅）	RecLineHeight
フォントA（24ドット×12ドット）	24
フォントB（16ドット× 8ドット）	16

RecLineHeightの値は**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、24に初期化されます。

RecLineSpacing プロパティ R/W

形式　**LONG RecLineSpacing;**

説明　通常文字の改行量（印刷行の高さ）を示します。
改行量とは印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。本プロパティは**MapMode**で定義された単位で表記します。
RecLineHeightより小さい値を指定することはできません。小さい値を指定した場合は、OPOS_E_ILLEGAL(106)が通知され、プロパティは変更されません。

RecLineHeightと**RecLineSpacing**との関係は下記の通りです。（**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合）

RecLineHeight	RecLineSpacing	初期値
24	24 ～ 255	30
16	16 ～ 255	

設定可能範囲外の値を指定した場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が通知され、プロパティは設定されません。
RecLineCharsが変わった時、もしくは新しい**RecLineHeight**が**RecLineSpacing**に指定された値より大きい場合は、**RecLineHeight**と同じ値が設定されます。同様に、**RecLineSpacing**の値が、設定可能範囲を超えている場合、設定可能範囲の最大値に自動的に設定されます。

RecLineSpacingの値は**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、30（**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合）に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値が**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	プロパティの設定範囲が不正です。

RecLinesToPaperCut プロパティ

形式　**LONG RecLinesToPaperCut;**

説明　レシートをカットする前に、用紙を印刷方向に送る行数を示します。
プリンターの印字ヘッドとティアバーの距離を**RecLineSpacing**が示す改行量で割った値が設定されていますので、**RecLineSpacing**を変更すると本プロパティが変わります。

プリンター	初期値
MP-B21L	2
MP-B30L	
MP-B30	

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、プリンターに依存した初期値に初期化されます。

RecLineWidth プロパティ

形式　**LONG RecLineWidth;**

説明　**RecLineChars**の一行の幅です。
MapModeで定義された単位で表記します。
本プロパティには下記のいずれかの値が設定されます。

MP-B21L

PrintWidth	**RecLineWidth**
21mm/168dots	168
22mm/176dots	176
24mm/192dots	192
26mm/208dots	208
28mm/224dots	224
30mm/240dots	240
32mm/256dots	256
34mm/272dots	272
36mm/288dots	288

PrintWidth	**RecLineWidth**
38mm/304dots	304
40mm/320dots	320
42mm/336dots	336
44mm/352dots	352
45mm/360dots	360
46mm/368dots	368
48mm/384dots	384

MP-B30L

PrintWidth	**RecLineWidth**
45mm/360dots	360
46mm/368dots	368
48mm/384dots	384
50mm/400dots	400
52mm/416dots	416
54mm/432dots	432
56mm/448dots	448
58mm/464dots	464
60mm/480dots	480
62mm/496dots	496
64mm/512dots	512
66mm/528dots	528
68mm/544dots	544
70mm/560dots	560
72mm/576dots	576

MP-B30

PaperSize	**RecLineWidth**
80mm/576dots	576

MP-B21L及びMP-B30Lは、本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。
本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に、設定プログラムの[PrintWidth]で設定されている値によって、上記に示す値の内の1つに初期化されます。(**MapMode**が PTR_MM_DOTS(1)の場合)

RecNearEnd プロパティ

形式　**BOOL RecNearEnd;**

説明　レシートのニアエンド状態を通知します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
FALSE	ニアエンドセンサ機能はサポートしていません。

本プロパティは常にFALSEを示します。

RecSidewaysMaxChars プロパティ

形式　**LONG RecSidewaysMaxChars;**

説明　サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。
本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、**PageModeArea**と印字フォントにより、下記の計算によって決定されます。

［計算式］
RecSidewaysMaxChars
= **PageModeArea**の縦最大高さ / (印字フォント / 2 + 文字間スペース)

例：**PageModeArea**が"384,2400"、**RecLineChars**が32の場合

RecSidewaysMaxChars=2400/(24/2)+0=200（小数点以下切捨て）

RecSidewaysMaxLines プロパティ

形式　**LONG RecSidewaysMaxLines;**

説明　サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、印刷される最大行数です。

［計算式］
RecSidewaysMaxLines
=（**RecLineWidth** － **RecLineHeight**）/ **RecLineSpacing** + 1

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に初期化されます。

RotateSpecial プロパティ R/W

形式　**LONG RotateSpecial;**

説明　バーコードの回転方向を示します。
本プロパティには下記に示す値の内の1つが設定されます。

値	意味
PTR_RP_NORMAL(1)	通常の方向で印刷します。
PTR_RP_RIGHT90(257)	右90度に回転印刷します。
PTR_RP_LEFT90(258)	左90度に回転印刷します。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180度（倒立）に回転印刷します。

本プロパティは**Open**によりPTR_RP_NORMAL(1)に初期化されます。

戻り値　本プロパティ設定時、下記の値のいずれかが**ResultCode**に格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なプロパティ値が指定されました。

5.5 共通メソッド

CheckHealth メソッド

形式　**LONG CheckHealth (LONG** *Level***);**

*Level*はデバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。下記の値を指定できます。

値	意味
OPOS_CH_INTERNAL(1)	デバイスの物理状態を変化させない内部テストを実行します。プリンターが印字可能な状態であるかどうかを確認します。
OPOS_CH_EXTERNAL(2)	プリンターとの通信を確認後、印字のテストを実行します。プリンターのROMバージョンIDとPOSプリンターコントロールの**ServiceObjectVersion**、**DeviceName**を印字します。
OPOS_CH_INTERACTIVE(3)	デバイスとの対話テストを実行します。 本サービスオブジェクトは、モーダルダイアログを表示して、プリンターのROMバージョンIDとPOSプリンターコントロールの**ServiceObjectVersion**、**DeviceName**を印字します。

説明　デバイスの状態をテストする時に呼び出します。本メソッドの結果は**CheckHealthText**に格納されます。**CheckHealth**は常に同期します。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	ヘルスチェックプロシージャが適切に開始されたことを示し、確認できた場合、デバイスが正常であることを示します。しかし、正常かどうかはテスト結果を見ないと決定できません。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない*Level*が指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウト、またはデータ受信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

ClaimDevice メソッド

形式　**LONG ClaimDevice (LONG** *Timeout***);**

*Timeout*は排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒）を示します。
0の場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに戻します。
OPOS_FOREVER(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで待ちます。

説明　デバイスに対して排他アクセスを要求する時に、本メソッドを呼び出します。
POSプリンターデバイスは排他アクセス権を獲得しなければ、使用することはできません。
成功すると、**Claimed**はTRUEに設定されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	排他アクセス権が認められました。**Claimed**はTRUEになっています。このアプリケーションがすでにデバイスを排他アクセスしていた場合も戻されます。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	無効な*Timeout*が指定されています。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが*Timeout*時間（ミリ秒）が過ぎました。または、*Timeout*時間（ミリ秒）経過しても、デバイスが処理可能な状態になりませんでした。

ClearOutput メソッド

形式　**LONG ClearOutput ();**

説明　バッファリングされているデバイス出力をすべてクリアする時に呼び出します。保留になっていた出力エラーイベント（**FreezeEvents**がFALSEに設定されるのを待ち合わせている。）もクリアされます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	出力がクリアされました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウト、またはデータ受信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

Close メソッド

形式　**LONG Close ();**

説明　デバイスとそのリソースを解放します。
DeviceEnabledがTRUEの場合、まずデバイスがディセーブルにされます。
ClaimedがTRUEの場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	デバイスがディセーブルにされ、クローズしました。
OPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。

CompareFirmwareVersion メソッド

形式　**LONG CompareFirmwareVersion (BSTR** *FirmwareFileName*, **Long** *result*);

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

DirectIO メソッド

形式　**LONG DirectIO (LONG** *Command*, **LONG*** *pData*, **BSTR*** *pString*);

パラメータ	説明
Command	コマンド番号。サービスオブジェクトが割り当てた特定値です。
pData	数値データのポインタ。値はコマンド番号とサービスオブジェクトによって変化します。
pString	文字列データのポインタ。値はコマンド番号とサービスオブジェクトによって変化します。このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversion**を参照してください。

説明　下記の機能をサポートします。
・残りメモリ容量応答取得
・国際文字の変更
・ステータス応答

- **残りメモリ容量応答取得**

プリンターコマンド「NVグラフィックスのメモリ残り容量の送信」を発行し、そのレスポンスを文字（数字）列で返します。非同期処理は不可です。
AsyncMode=TRUEの場合、**State**がOPOS_S_IDLE(2)であれば同期実行されます。

パラメータ	説明
Command	PTR_DI_GET_REMAINING_MEMORY(3)
pData	未使用
pString	OUT　残りメモリ

- **国際文字の変更**

国際文字を選択します。
国際文字を変更する場合は、**CharacterSet**を設定後に本メソッドで国際文字を選択してください。
国際文字を変更後に**CharacterSet**を932に変更すると、国際文字は日本に設定されます。
国際文字を変更後に**CharacterSet**を932以外に変更すると、国際文字はアメリカに設定されます。
AsyncMode=TRUEの場合、**State**がOPOS_S_IDLE(2)であれば同期実行されます。

パラメータ	説明
Command	PTR_DI_SET_INTERNATIONAL_CHARACTER(201)
pData	IN　国際文字番号n 0≦n≦12 nに対応する国名は下記の通りです。 0:アメリカ（USA） 1:フランス（France） 2:ドイツ（Germany） 3:イギリス（United Kingdom） 4:デンマークⅠ（Denmark I） 5:スウェーデン（Sweden） 6:イタリア（Italy） 7:スペインI（Spain I） 8:日本（Japan） 9:ノルウェー（Norway） 10:デンマークⅡ（Denmark II） 11:スペインⅡ（Spain II） 12:ラテンアメリカ（Latin America）
pString	未使用

- **ステータス応答**

紙無しセンサのステータスを応答します。
AsyncMode=TRUEの場合、**State**がOPOS_S_IDLE(2)であれば同期実行されます。

パラメータ	説明
Command	PTR_DI_GET_STATUS_DATA(501)
pData	IN　ステータスの種類 1：紙無しセンサステータス応答
pString	OUT　ステータス '0'　紙有り '1'　紙無し

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	**DirectIO**が成功しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	パラメータに誤りがあります。または、無効なコマンド番号が指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウト、またはデータ受信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、 OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

Open メソッド

形式　**LONG Open (BSTR** *DeviceName***);**

*DeviceName*はオープンするデバイス名を指定します。登録されているデバイス名（"MP-B21L"など）またはプリンターの論理デバイス名を指定して実行してください。

説明　デバイスをオープンする時に呼び出します。
Openが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	オープンが成功しました。
OPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
OPOS_E_NOEXIST(109)	指定された*DeviceName*が見つかりません。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOSドライバの初期化に失敗しました。

備考　**Open**実行後の**ResultCode**の値は、下記の2つのケースでは、**Open**の戻り値と異なります。

OPOSコントロールがクローズしており**Open**が失敗した時：

・**ResultCode**は、OPOS_E_CLOSED(101)のままです。

OPOSコントロールが既にオープンされている時：

・**Open**の戻り値は、OPOS_E_ILLEGAL(106)となりますが、**ResultCode**は、**Open**実行前の値を保持しています。

ReleaseDevice メソッド

形式　**LONG ReleaseDevice ();**

説明　デバイスの排他アクセスを解除する時に、本メソッドを呼び出します。
DeviceEnabledがTRUEで排他デバイスならば、デバイスはディセーブルにされます。イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	排他アクセスが解除されました。**Claimed**はFALSEになります。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
OPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。

ResetStatistics メソッド

形式　**LONG ResetStatistics (BSTR *StatisticsBuffer*);**

パラメータ	説明
StatisticsBuffer	リセットするスタティスティクスを定義したデータバッファです。

これは名前のカンマ区切りリストです。空文字列の時はすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。"U_"はUnifiedPOSで定義されたすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。"M_"はSIIのすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。そして"名前1,名前2"(XMLファイルに定義されているもの)の時は、指定されたリセット可能なスタティスティクスをリセットします。

説明　　デバイスの中で定義されたリセット可能なスタティスティクスをリセットします。

リセット可能なスタティスティクスは下記の通りです。

XML定義名	説明
ReceiptLineFeedCount	レシート紙送り行数（単位：100ドットライン）
HoursPoweredCount	製品の駆動時間（単位：時間）

戻り値　　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	すべての指定されたスタティスティクスのリセットに成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	パラメータにCSV形式で指定されたスタティスティクスの数が、リセット可能なスタティスティクスの数より多く設定されています。
OPOS_E_EXTENDED(114)	**ResultCodeExtended**=OPOS_ESTATS_ERROR(280) 指定されたスタティスティクスの１つ以上がリセットできませんでした。

RetrieveStatistics メソッド

形式　　**LONG RetrieveStatistics (BSTR*** *pStatisticsBuffer***);**

パラメータ	説明
pStatisticsBuffer	取得するスタティスティクスを定義したデータバッファであり、かつ通知されるスタティスティクスを格納する場所でもあります。

これは名前のカンマ区切りリストです。空文字列の時はすべてのスタティスティクスを取得します。"U_"はUnifiedPOSで定義されたすべてのスタティスティクスを取得します。"M_"はSIIのすべてのスタティスティクスを取得します。そして"名前1,名前2"(XMLファイルに定義されているもの)の時は、指定されたスタティスティクスを取得します。

説明　　デバイスから指定されたスタティスティクスを取得します。本メソッドを使うには**CapStatisticsReporting**がTRUEである必要があります。本メソッドは常に同期で実行されます。

すべての**RetrieveStatistics**呼び出しは少なくとも下記のXMLを戻します。

```
<?xml version='1.0' ?>
<UPOSStat version="1.14.0" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns="http://www.nrf-arts.org/IXRetail/namespace/"
xsi:schemaLocation="http://www.nrf-arts.org/IXRetail/namespace/UPOSStat.xsd">
  <Event>
    <Parameter>
      <Name>RequestedStatistic</Name>
      <Value>StatisticValue</Value>
    </Parameter>
  </Event>
  <Equipment>
    <UnifiedPOSVersion>Version</UnifiedPOSVersion>
    <DeviceCategory UPOS="DeviceCategoryName"/>
    <ManufacturerName>Device Manufacturer</ManufacturerName>
    <ModelName>Device Model Name</ModelName>
  </Equipment>
</UPOSStat>
```

デバイスがサポートしていないスタティスティクス名をアプリケーションが指定したら、<Parameter>エントリは<Value>を空で戻します。例えば、

```
    <Parameter>
      <Name>RequestedStatistic</Name>
      <Value></Value>
    </Parameter>
```

デバイスが収集しているSIIの（スキーマに定義されていない）すべてのスタティスティクスは、<Parameter>タグではなく<ManufacturerSpecific>タグの中に戻されます。

```
    <ManufacturerSpecific>
      <Name>TheAnswer</Name>
      <Value>42</Value>
    </ManufacturerSpecific>
```

アプリケーションがデバイスのすべてのスタティスティクスを指定した場合、<UPOSStat>タグのバージョン属性で指定された版数のXMLスキーマに定義されたデバイスカテゴリに定義されたすべてのスタティスティクスを<Parameter>エントリに戻します。デバイスがスタティスティクスのどれかを記録していない場合、対応する<Value>タグは空になります。

取得可能なスタティスティクスは下記の通りです。

XML定義名	説明
UnifiedPOSVersion	サポートしているUnifiedPOS仕様書の版数
DeviceCategory	デバイスクラスカテゴリ
ManufacturerName	製造者名
ModelName	モデル名
SerialNumber	シリアル番号
ManufactureDate	製造日付
MechanicalRevision	ハードウェア版数

XML定義名	説明
FirmwareRevision	ファームウェア版数
Interface	接続方法
InstallationDate	設置日付
HoursPoweredCount	製品の駆動時間（単位：時間）
CommunicationErrorCount	通信エラー回数
BarcodePrintedCount	バーコード印字回数
FormInsertionCount	スリップ用紙挿入回数
HomeErrorCount	メカニカルエラー回数
JournalCharacterPrintedCount	ジャーナル印字文字数
JournalLinePrintedCount	ジャーナル印字行数（単位：行）
MaximumTempReachedCount	ヘッド高温エラー回数
NVRAMWriteCount	NVRAM書き込み回数
PrinterFaultCount	プリンターエラー回数
PrintSideChangeCount	スリップ用紙の印字面切り替え回数
FailedPrintSideChangeCount	スリップ用紙の印字面切り替え失敗回数
ReceiptCharacterPrintedCount	レシート印字文字数
ReceiptLinePrintedCount	レシート印字行数（単位：行）
ReceiptLineFeedCount	レシート紙送り行数（単位：100ドットライン）
ReceiptCoverOpenCount	レシートカバーオープン回数
SlipCharacterPrintedCount	スリップ印字文字数
SlipLinePrintedCount	スリップ印字行数（単位：行）
SlipLineFeedCount	スリップ紙送り行数（単位：行）
SlipCoverOpenCount	スリップカバーオープン回数
StampFiredCount	スタンプ印字回数
HoursPoweredCount_Accumulated	製品の駆動時間（単位：時間）（積算）
ReceiptLineFeedCount_Accumulated	レシート紙送り行数（単位：100ドットライン）（積算）

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	指定されたスタティスティクスの取得に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定された名前のスタティスティクスのすべてが未定義です。
OPOS_E_EXTENDED(114)	**ResultCodeExtended** = OPOS_ESTATS_ERROR(280) 指定されたスタティスティクスの１つ以上が取得できませんでした。
その他	**ResultCode**の項目を参照してください。

UpdateFirmware メソッド

形式　　**LONG UpdateFirmware (BSTR** *FirmwareFileName***);**

説明　　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

UpdateStatistics メソッド

形式　　**LONG UpdateStatistics (BSTR** *StatisticsBuffer***);**

説明　　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

5.6 専用メソッド

BeginInsertion メソッド

形式　**LONG BeginInsertion (LONG** *Timeout***);**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

BeginRemoval メソッド

形式　**LONG BeginRemoval (LONG** *Timeout***);**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

ChangePrintSide メソッド

形式　**LONG ChangePrintSide (LONG** *Side***);**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

ClearPrintArea メソッド

形式　**LONG ClearPrintArea ();**

説明　**PageModePrintArea**で定義したページモード印刷領域上の印刷データを消去します。
ページモード領域全体を消去したい場合は、**PageModeArea**で示される領域と同等の領域を**PageModePrintArea**に指定し**ClearPrintArea**を呼び出します。
本メソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは成功しました。
その他	**ResultCode**の項目を参照してください。

CutPaper メソッド

形式　**LONG CutPaper (LONG** *Percentage***);**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

DrawRuledLine メソッド

形式　**LONG DrawRuledLine (LONG** *Station***, BSTR** *PositionList***, LONG** *LineDirection***, LONG** *LineWidth***, LONG** *LineStyle***, LONG** *LineColor***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
PositionList	罫線の位置を指定します。
LineDirection	罫線の方向を指定します。 PTR_RL_HORIZONTAL(1)横罫線、またはPTR_RL_VERTICAL(2)縦罫線です。
LineWidth	罫線の太さを指定します。有効な指定範囲は1～255で、DOT単位で指定してください。
LineStyle	罫線の種類を指定します。サポートする罫線の種類はPTR_LS_SINGLE_SOLID_LINE(1)実線のみです。
LineColor	罫線の色を指定します。サポートする罫線の色はPTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001) 黒のみです。

説明　罫線を描画します。

本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。
*PositionList*の文字列は、*LineDirection*の指定が横罫線と縦罫線の場合で異なります。
横罫線の場合：
横罫線の描画開始位置と長さを示すコンマで区切られたASCII数字で始まり、ASCIIセミコロン(";")の区切りによって複数の横罫線を指定できます。描画開始位置と長さは**MapMode**の単位で指定可能です。

下記は、*PositionList*の例です。

- ″0,300″
  左から0ドット目を描画開始位置とし300ドットの長さの横罫線を描画します。

- ″0,200;300,50″
  左から0ドット目を描画開始位置とし200ドットの長さの横罫線を描画します。
  また、左から300ドット目を描画開始位置とし50ドットの長さの横罫線を描画します。

縦罫線の場合：
縦罫線の描画位置を示すコンマで区切られたASCII数字で指定できます。描画位置は**MapMode**の単位で指定可能です。
下記は、*PositionList*の例です。

- ″0,100,200,300″
  左から0ドット目、100ドット目、200ドット目、300ドット目に縦罫線を描画します。
  縦罫線の描画位置の有効範囲は0～（**RecLineWidth**の値－*LineWidth*の値）です。
  有効範囲を超える値を指定された場合は、エラーを返します。
  縦罫線はその後の印字動作を行った場合に描画されます。
  縦罫線の描画を終了する場合は、*PositionList*に空文字列(″″)を指定してください。

描画位置の基点は、左上です。

DrawRuledLineは一括印字モードをサポートします。**RotatePrint**と**PageModePrint**はサポートしません。

ClearOutputを実行した場合、縦罫線の指定は終了します。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のエラーの内、1つが起こりました。 ・指定されたパラメータが不正です。 ・印刷モードが不正です。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。（**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。）
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

EndInsertion メソッド

形式　**LONG EndInsertion ();**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

EndRemoval メソッド

形式　**LONG EndRemoval ();**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

MarkFeed メソッド

形式　**LONG MarkFeed (LONG *Type*);**

*Type*の値は下記の通りです。

値	意味
PTR_MF_TO_TAKEUP(1)	マークまたはギャップ検出後、用紙を取り出せる位置までフィードします。 紙送り長さはプリンターのメモリスイッチMS21～22（マーク検出カット位置補正）の長さになります。 紙送り長さの初期値は下記の通りです。 MP-B21Lは、122ドット（15.2mm）です。 MP-B30Lは、125ドット（15.6 mm）です。 MP-B30は、160ドット（20 mm）です。
PTR_MF_TO_CUTTER(2)	マークまたはギャップ検出後、用紙をカット位置までフィードします。 （PTR_MF_TO_TAKEUP(1)と同じ位置までフィードします。）
PTR_MF_TO_CUTTERTOF(4)	MP-B21Lのみサポートします。 マーク紙を印字位置までバックフィードします。 PTR_MF_TO_CUTTER(2)でカット位置までマーク紙をフィードし、マーク紙をカットした後にPTR_MF_TO_CUTTERTOF(4)でバックフィードすると、次の印字の際にマーク紙の上余白を少なくできます。 紙送り長さは現在の位置から逆方向に23ドット（2.88mm）です。

値	意味
PTR_MF_TO_NEXT_TOF(8)	MP-B21L及びMP-B30Lのみサポートします。 次のマークまたはギャップ検出後、用紙の印字位置までフィードします。 紙送り長さはプリンターのメモリスイッチMS26～27（マーク検出印字位置補正）の長さになります。 紙送り長さの初期値は下記の通りです。 MP-B21Lは、122ドット（15.2mm）です。 MP-B30Lは、125ドット（15.6 mm）です。

説明　　マークまたはギャップ検出ができる用紙を利用するために使用します。

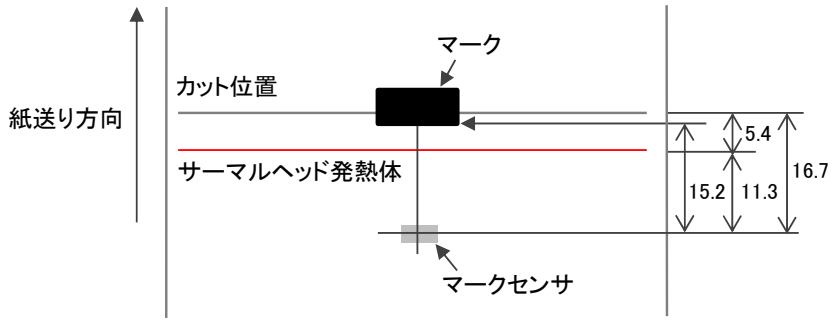
本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。

本メソッドは設定プログラムの設定[MarkMode]がEnableに設定された場合に利用できます。

プリンターのメモリスイッチの詳細については、「取扱説明書」を参照してください。
プリンターのメモリスイッチは、「SII Mobile Printer Software for Windows」のインストール時に展開される、「SII Printer Setting Utility for Windows」で変更できます。

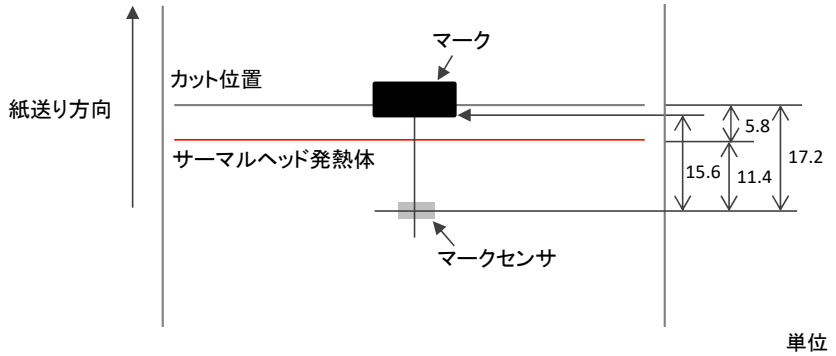
センサ位置とプリンターのメモリスイッチMS21～22（マーク検出カット位置補正）、及びMS26～27（マーク検出印字位置補正）の初期値の関係を下図に示します。
プリンターのメモリスイッチが初期値の場合は、PTR_MF_TO_TAKEUP(1)のフィード位置、PTR_MF_TO_CUTTER(2)のカット位置、及びPTR_MF_TO_NEXT_TOF(8)の次の印字位置が同じ紙送り長さになります。

MP-B21L



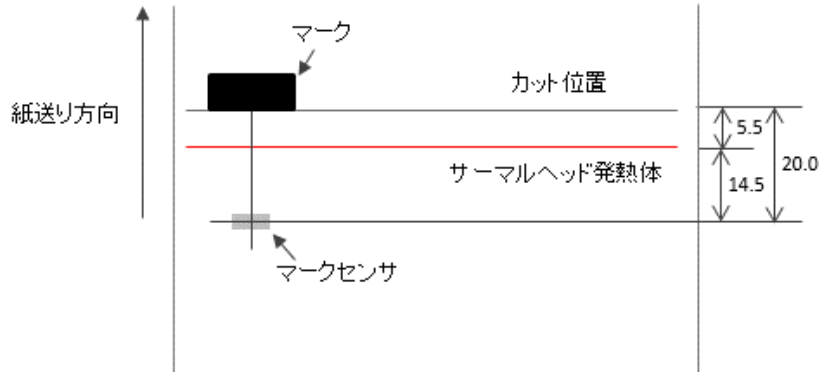
単位：mm

MP-B30L



単位：mm

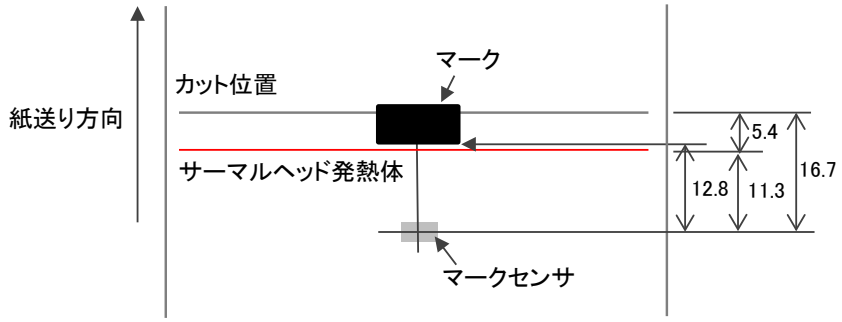
MP-B30



単位：mm

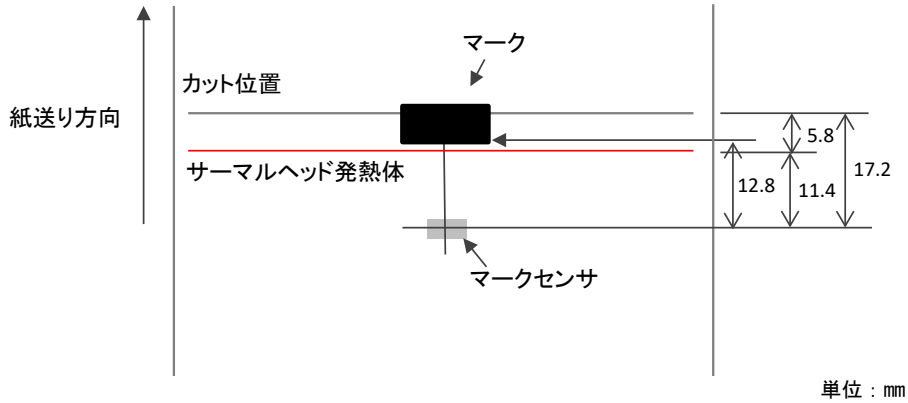
用紙の節約などで、次の印字位置をマークに対して短く設定したい場合は、プリンターのメモリスイッチMS26～27（マーク検出印字位置補正）の値を短く設定します。
例として、プリンターのメモリスイッチMS26～27の値を103ドット（12.8mm）に設定した場合のセンサ位置の関係を下図に示します。

MP-B21L



単位：mm

MP-B30L



単位：mm

注意　マーク付き用紙またはラベル紙の頭出し位置で本メソッドを実行しても、フィードは行いません。

ラベル紙を使用する場合は、印字位置がラベルの中になるようにプリンターのメモリスイッチMS26～27（マーク検出印字位置補正）の値を設定してください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	ステーションが存在しないか、**CapRecMarkFeed**が0です。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。（**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。）
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。
その他	**ResultCode**の項目を参照してください。

PageModePrint メソッド

形式　**LONG PageModePrint (LONG** *Control***);**

*Control*の値は下記の通りです。

値	意味
PTR_PM_PAGE_MODE(1)	ページモードを開始します。
PTR_PM_PRINT_SAVE(2)	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを保存します。繰り返し印刷する場合に用います。
PTR_PM_NORMAL(3)	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを消去し、ページモードを終了します。
PTR_PM_CANCEL(4)	ページモード印刷領域の印刷データを消去し、何も印刷せずにページモードを終了します。

説明　**PageModeStation**に指定したステーションを対象として、ページモードを開始/終了します。

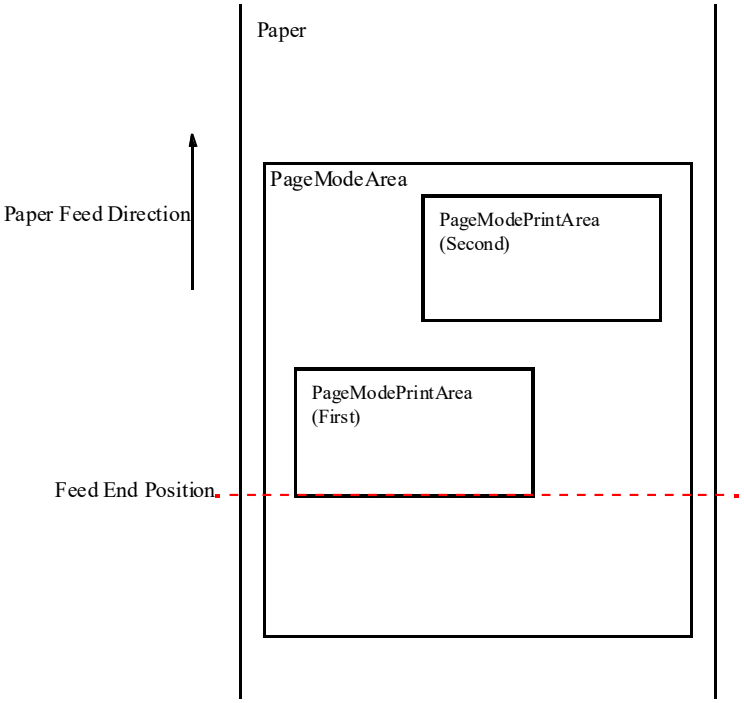
*Control*にPTR_PM_PAGE_MODE(1)を指定した場合、ページモードを開始します。その後、PTR_PM_PRINT_SAVE(2)、PTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_CANCEL(4)を指定して**PageModePrint**が呼び出されるまでの間、**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**または**PrintMemoryBitmap**で印刷データをプリンターにバッファリングすることができます。この間に呼び出されたメソッドは、印刷データをバッファリングするだけで、印刷を開始することはありません。また、**AsyncMode**の設定は、ページモード機能に影響を与えません。それぞれの操作に対して、**OutputID**が割り当てられることも、**OutputCompleteEvent**が通知されることもありません。

*Control*にPTR_PM_PRINT_SAVE(2)を指定した場合、ページモードが継続します。**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**または**PrintMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあれば、それを保存して、印刷します。ページモード領域内に印刷データを追加して、同じレイアウトで印刷したい場合に用います。

*Control*にPTR_PM_NORMAL(3)を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**または**PrintMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあれば、それを印刷します。バッファリングした印刷データは保存されません。

*Control*にPTR_PM_CANCEL(4)を指定した場合、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**または**PrintMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあっても、それらは印刷されず、保存もされません。

*Control*にPTR_PM_PRINT_SAVE(2)またはPTR_PM_NORMAL(3)を指定して**PageModePrint**が呼び出された時、**PageModePrintArea**で定義されたページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、ページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。複数のページモード印刷領域が定義されていた場合は、それぞれのページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、最も下方に配置されているページモード印刷領域の下端まで紙送りされます（下図を参照してください)。



ページモード領域全体が、1つのトランザクションとして一括処理されます。**AsyncMode**がTRUEであれば非同期的に、FALSEであれば同期的に処理されます。
ClearOutputが呼び出されると、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。この時、バッファリングした印刷データも消去されます。
ページモード機能はトランザクション印刷の中で利用することはできますが、回転印刷の中で利用することはできません。
本メソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	**PageModeStation**で指定されたステーションが存在しないか、**CapRecPageMode**がFALSEです。または、**PageModeStation**で指定されたステーションがページモードに遷移していない状態で、*Control*にPTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_PRINT_SAVE(2)、またはPTR_PM_CANCEL(4)が指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEで、*Control*にPTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_PRINT_SAVE(2)、またはPTR_PM_CANCEL(4)が指定された時のみ通知されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。
その他	**ResultCode**の項目を参照してください。

PrintBarCode メソッド

形式　**LONG PrintBarCode (LONG** *Station*, **BSTR** *Data*, **LONG** *Symbology*, **LONG** *Height*, **LONG** *Width*, **LONG** *Alignment*, **LONG** *TextPosition*);

パラメータ	説明
Station	使用するステーション。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Data	バーコードの文字列。このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversion**を参照してください。
Symbology	使用されるバーコードタイプ。*Symbology*の表を参照してください。
Height	バーコードの高さ。**MapMode**で定義された単位で表記します。 PTR_MM_DOTS(1)の場合、1～255の間で指定してください。 下記のバーコードの*Height*は無視され、*Width*により自動で設定されます。1～255の間で指定してください。 ・QRコード ・Aztec Code*1 ・GS1 Databar Omni-directional ・GS1 Databar Expanded ・GS1 Databar Expanded Stacked ・GS1 Databar Limited ・GS1 Databar Truncated 下記のバーコードのHeightは無視され、固定値で設定されます。同様に1～255の間で指定してください。 ・GS1 Databar Stacked Omni-directional ・GS1 Databar Stacked **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeVerticalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。

パラメータ	説明
Width	バーコードの幅。**MapMode**で定義された単位で表記します。 実際に印刷されるバーコードの幅は、*Width*で指定された幅に収まる最適なものとなります。 PTR_MM_DOTS(1)の場合、正立時は1～**RecLineWidth**の間で指定してください。 また**RotateSpecial**や、**RotatePrint**によるバーコードの左右90度回転を行う場合、プリンターの最大値を超えない範囲内で指定してください（プリンターの最大値は**PageModeArea**を参照してください)。 **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeHorizontalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
Alignment	バーコードの位置。*Alignment*の表を参照してください。
TextPosition	文字列の位置。*TextPosition*の表を参照してください。

*1: MP-B30はサポートしていません。

- *Symbology*の値

値	意味
PTR_BCS_UPCA(101)	UPC-A
PTR_BCS_UPCE(102)	UPC-E
PTR_BCS_EAN8(103)	EAN8 (JAN8)
PTR_BCS_JAN8(103)	JAN8 (EAN8)
PTR_BCS_EAN13(104)	EAN13 (JAN13)
PTR_BCS_JAN13(104)	JAN13 (EAN13)
PTR_BCS_EAN13_S(119)	EAN13 (JAN13)補足バーコード付き
PTR_BCS_ITF(106)	Interleaved 2 of 5
PTR_BCS_Codabar(107)	Codabar (NW-7)
PTR_BCS_Code39(108)	Code39
PTR_BCS_Code93(109)	Code93
PTR_BCS_Code128(110)	Code128
PTR_BCS_Code128_Parsed(123)	Code128 Parsed
PTR_BCS_GS1DATABAR(131)	GS1 Databar Omni-directional
PTR_BCS_GS1DATABAR_E(132)	GS1 Databar Expanded
PTR_BCS_GS1DATABAR_S(133)	GS1 Databar Stacked Omni-directional
PTR_BCS_GS1DATABAR_E_S(134)	GS1 Databar Expanded Stacked
PTR_BCS_PDF417(201)	PDF417
PTR_BCS_QRCODE(204)	QRコード（混在モード）
PTR_BCS_AZTEC(206)	Aztec
PTR_BCS_OTHER + 6(507)	GS1 Databar Limited
PTR_BCS_OTHER + 7(508)	GS1 Databar Stacked
PTR_BCS_OTHER + 10(511)	GS1 Databar Truncated

- *Alignment*の値

値	意味
PTR_BC_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BC_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BC_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	バーコード印刷を開始する左端からの距離。**MapMode**で定義された単位で表記します。

RotateSpecial、**RotatePrint**による左右90度回転中、**PageModePrint**によるページモード中は*Alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

- *TextPosition*の値

値	意味
PTR_BC_TEXT_NONE(-11)	テキストは印字しません。バーコードのみ印刷します。
PTR_BC_TEXT_ABOVE(-12)	バーコードの上にテキストを印字します。
PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)	バーコードの下にテキストを印字します。

説明　指定したプリンターにバーコードを印刷する時に本メソッドを呼び出します。
本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。
RotateSpecialがバーコードを回転することを示していれば、バーコードは回転印刷されます。*Height*と*Width*、*TextPosition*は回転前にバーコードに適用されます。

例えば、PTR_BC_TEXT_BELOWを指定して本メソッドを呼び出すと、テキストがバーコードの下に配置され、テキストとバーコードが一緒に左に90度回転して印字されます。

バーコードのクワイエットゾーンは確保されません。バーコードが読み取れることを、実機にて事前に確認してください。
ただし、下記のバーコードのクワイエットゾーンは不要、または確保されます。

- Aztec Code
- GS1 Databar Omni-directional
- GS1 Databar Expanded
- GS1 Databar Stacked Omni-directional
- GS1 Databar Expanded Stacked
- GS1 Databar Limited
- GS1 Databar Stacked
- GS1 Databar Truncated

下記、**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、各バーコードのパラメータに対する制限事項について示します。

【UPC-A】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
Width	*Width*=95×X 190≦*Width*≦570 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

【UPC-E】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
Width	*Width*=51×X 102≦*Width*≦306 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

許容キャラクタは更に下記の規則に沿う必要があります。

1. 先頭文字が'0'
2. UPC-Aレフトコードは、先頭2～6キャラクタ、UPC-Aライトコードは、先頭7～11キャラクタ目を示し、短縮されるコードが実際にUPC-Eとして印字されます。UPC-A先頭キャラクタが0以外か、下記の表に基づかないキャラクタが指定された場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。

メーカーコード UPC-Aのレフトコード					アイテムコード UPC-Aのライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

【EAN8 (JAN8)】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を7文字あるいは8文字で指定してください。 8文字目はバーコードの印字データに影響しません。
Width	*Width*=67×X 134≦*Width*≦402 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

【EAN13 (JAN13)】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を12文字あるいは13文字で指定してください。 13文字目はバーコードの印字データに影響しません。
Width	*Width*=95×X 190≦*Width*≦570 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

【EAN13 (JAN13)補足バーコード付】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を14文字、15文字、17文字、18文字のいずれかで指定してください。 15文字の入力、または18文字で入力した場合は、13番値の文字データは、印字データに影響しません。
Width	・14文字または15文字の場合 *Width*=122×X 244≦*Width*≦732 ・17文字または18文字の場合 *Width*=149×X 298≦*Width*≦894 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

【Interleaved 2 of 5】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を任意の値で指定してください。ただし、指定する文字数は0を除く偶数である必要があります。
Width	*Width*=(D×2+1)×X×N)+(D×3+6)×X) 14×D+16≦*Width*≦54×D+54 D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2、2.5、3のいずれかに設定) X、Nは*Width*に応じて自動で設定されます。

【Codabar (NW-7)】

パラメータ	制限事項
Data	先頭と後尾は'A'～'D'のいずれかを指定してください。 それ以外のデータは、'0'～'9'、'$'、'+'、':'、'-'、'.'、'/'のいずれかを1文字以上指定する必要があります。
Width	*Width*=(((6×X)+(2×X×N))×D)+((X×N-X)×D')+(-1×X) 20×D+2×D'-2≦*Width*≦72×D+12×D'-6 D：バーコードキャラクタ数 D'：データ文字数（バーコード文字に含まれる'A'～'D'、'+'、'.'、'/'、':'の数) X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2、2.5、3のいずれかに設定) X、Nは*Width*に応じて自動で設定されます。

【Code39】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'、'A'～'Z'、空白、'$'、'%'、'+'、'-'、'.'、'/'のいずれかを1文字以上指定する必要があります。
Width	*Width*=(((X×7)+(X×N×3))×(D+2))+(-1×X) (26×D+50)≦*Width*≦(96×D+186) D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2、2.5、3のいずれかに設定) X、Nは*Width*に応じて自動で設定されます。

【Code93】

パラメータ	制限事項
Data	10進数0～46の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。
Width	*Width*=X×((D+2+2)×9+1) 18×D+74≦*Width*≦54×D+222 D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

Code93の印字時、設定可能なすべての*Data*を指定する場合は、**BinaryConversion**の値をOPOS_BC_NIBBLE(1)、またはOPOS_BC_DECIMAL(2)で指定する必要があります。これは文字として扱えないデータが含まれているためです。*Data*に指定する数値は0が0x00、1が0x01に相当します。

数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ
0	0	12	C	24	O	36	-
1	1	13	D	25	P	37	.
2	2	14	E	26	Q	38	SPACE*1
3	3	15	F	27	R	39	$
4	4	16	G	28	S	40	/
5	5	17	H	29	T	41	+
6	6	18	I	30	U	42	%
7	7	19	J	31	V	43	($)
8	8	20	K	32	W	44	(%)
9	9	21	L	33	X	45	(/)
10	A	22	M	34	Y	46	(+)
11	B	23	N	35	Z		

*1: スペースを入力してください。

【Code128】

パラメータ	制限事項
Data	10進数0～105の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。 先頭の1文字は10進数103、104、105で、その後1文字以上のバーコードデータを指定する必要があります。
Width	*Width*=X×((D+2)×11+2) 22×D+48≦*Width*≦66×D+144 D：バーコードキャラクタ数(スタートコード含む) X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

Code128の印字時、設定可能なすべての*Data*を指定する場合は、**BinaryConversion**の値をOPOS_BC_NIBBLE(1)、またはOPOS_BC_DECIMAL(2)で指定する必要があります。これは文字として扱えないデータが含まれているためです。*Data*に指定する数値は0が0x00、1が0x01に相当します。

・Code128のキャラクタ構成

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
0	SPACE[*1]	SPACE[*1]	00	53	U	U	53
1	!	!	01	54	V	V	54
2	″	″	02	55	W	W	55
3	#	#	03	56	X	X	56
4	$	$	04	57	Y	Y	57
5	%	%	05	58	Z	Z	58
6	&	&	06	59	[	[	59
7	‘	‘	07	60	\	\	60
8	(	(	08	61	]	]	61
9	)	)	09	62	^	^	62
10	*	*	10	63	_	_	63
11	+	+	11	64	NULL	`	64
12	,	,	12	65	SOH	a	65
13	-	-	13	66	STX	b	66
14	.	.	14	67	ETX	c	67
15	/	/	15	68	EOT	d	68
16	0	0	16	69	ENG	e	69
17	1	1	17	70	ACK	f	70
18	2	2	18	71	BEL	g	71
19	3	3	19	72	BS	h	72
20	4	4	20	73	HT	i	73
21	5	5	21	74	LF	j	74
22	6	6	22	75	VT	k	75
23	7	7	23	76	FF	l	76
24	8	8	24	77	CR	m	77
25	9	9	25	78	SO	n	78
26	:	:	26	79	SI	o	79
27	;	;	27	80	DLE	p	80
28	<	<	28	81	DC1	q	81
29	=	=	29	82	DC2	r	82
30	>	>	30	83	DC3	s	83
31	?	?	31	84	DC4	t	84
32	@	@	32	85	NAK	u	85

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
33	A	A	33	86	SYN	v	86
34	B	B	34	87	ETB	w	87
35	C	C	35	88	CAN	x	88
36	D	D	36	89	EM	y	89
37	E	E	37	90	SUB	z	90
38	F	F	38	91	ESC	{	91
39	G	G	39	92	FS	|	92
40	H	H	40	93	GS	}	93
41	I	I	41	94	RS	~	94
42	J	J	42	95	US	DEL	95
43	K	K	43	96	FNC3	FNC3	96
44	L	L	44	97	FNC2	FNC2	97
45	M	M	45	98	SHIFT	SHIFT	98
46	N	N	46	99	CODE C	CODE C	99
47	O	O	47	100	CODE B	FNC4	CODE B
48	P	P	48	101	FNC4	CODE A	CODE A
49	Q	Q	49	102	FNC1	FNC1	FNC1
50	R	R	50	103	START(CODE A)		
51	S	S	51	104	START(CODE B)		
52	T	T	52	105	START(CODE C)		

*1：スペースを入力してください。

【Code128 Parsed】

パラメータ	制限事項
Data	先頭は使用するコードセットを特殊コード（CODE A、CODE BまたはCODE C）で指定し、その後1文字以上のバーコードデータを指定する必要があります。 特殊コードについては、「Code128特殊コード表」を参照してください。*Data*の入力については、「*Data*の入力例」を参照してください。 *Data*の有効範囲はコードセットにより異なります。 ・CODE A： 0x00 ～ 0x5f, FNC1, FNC2, FNC3, FNC4, SHIFT, CODE B, CODE C ・CODE B： 0x20 ～ 0x7f, FNC1, FNC2, FNC3, FNC4, SHIFT, CODE A, CODE C ・CODE C： 0x30 ～ 0x39, FNC1, CODE A, CODE B
Width	*Width*=X×((D+2)×11+2) 1[*1]≦*Width*≦66×D+144 D：バーコードキャラクタ数(スタートコード含む) X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～22×D+48を設定した場合、*Width*は22×D+48に設定されます。

・Code128特殊コード表

Data	特殊コード
″{S″	SHIFT
″{A″	CODE A
″{B″	CODE B
″{C″	CODE C
″{1″	FNC1
″{2″	FNC2
″{3″	FNC3
″{4″	FNC4
″{{″	’{’

*Data*は選択されたコードセットに対応する値をサービスがマップするASCII文字により構成されます。Code AとCode Bでは、1対1にマッピングされます。Code Cでは各一対の数字が0x00から0x63の範囲のひとつのCode Cの文字に変換されます。(Code Cのデータが奇数桁の数字の場合、変換の前にサービスによって先頭にゼロの数字が付加されます。) 識別子である中括弧″{″の制御文字が特殊文字を示すために使用されます。

*Data*の入力例

バーコードキャラクタ″0123″のバーコードを作成する場合、選択するコードセットにより*Data*の入力は下記のようになります。

CODE Aの場合　　:　　*Data*=″{A0123″
CODE Bの場合　　:　　*Data*=″{B0123″
CODE Cの場合　　:　　*Data*=″{C0123″ または*Data*=″{C123″

【GS1 Databar Omni-directional】

パラメータ	制限事項
Data	’0’～’9’を13文字入力してください。
Width	*Width*=96×X 1[*1]≦*Width*≦576 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～287を設定した場合、*Width*は192に設定されます。

【GS1 Databar Expanded】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z'、空白、'!'、'″'、'%'、'&'、''、'('、')'、'*'、'+'、','、'-'、'.'、'/'、':'、';'、'<'、'>'、'='、'?'、'_'を2文字以上で指定してください。 FNC1は″{1″を入力します。 チェックデジットはプリンターにより自動計算されませんので、必ず入力してください。
Width	0以外の値を入力してください。

【GS1 Databar Stacked Omni-directional】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
Height	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*Height*=138に設定されます。
Width	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*Width*=100に設定されます。

モジュール幅は2固定となります。

【GS1 Databar Expanded Stacked】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z'、空白、'!'、'″'、'%'、'&'、''、'('、')'、'*'、'+'、','、'-'、'.'、'/'、':'、';'、'<'、'>'、'='、'?'、'_'を2文字以上で指定してください。 FNC1は″{1″を入力します。 チェックデジットはプリンターにより自動計算されませんので、必ず入力してください。
Width	0以外の値を入力してください。

モジュール幅は2固定となります。

【PDF417】

パラメータ	制限事項
Data	0x00～0x7FまではASCIIコードに従い、0x80～0xFFまではPC437の英語表の拡張キャラクタセットに従う文字列である必要があります。
Height *Width*	*Width*=(17×C+69)×X *Height* =R×Y X：モジュール幅 Y：モジュール高さ R：行数 C：縦列数 行数・縦列数は、入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。モジュール幅・モジュール高さは、行数・縦列数が決まった後、*Width*、*Height*を越えない最大サイズが選択されます。

印字モードは通常モード、エラー訂正レベルは4固定となります。

【QRコード】

パラメータ	制限事項
Data	下記の範囲の文字で指定してください。 ASCII文字 JIS X 0201に基づく8ビットラテン/カナ文字 JIS X 0208に基づくシフトJISコード
Width	*Width*=(4V+17)×X 42≦*Width* V：QRコードのバージョン（1 ～ 40） X：モジュールサイズ（2 ～ 16） バージョンは入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。また、モジュールサイズは、バージョンが決まった後、*Width*を超えない最大サイズが選択されます。

QRコードのモデルは2固定、エラー訂正レベルはM固定とします。QRコードは正方形なので、印字サイズは*Width*に従うものとし、*Height*は無視します。
印字可能キャラクタ以外のデータが指定された場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)を通知します。

【Aztec Code】*1

パラメータ	制限事項
Data	下記の範囲の文字で指定してください。 ASCII文字 JIS X 0201に基づく8ビットラテン/カナ文字 JIS X 0208に基づくシフトJISコード 送信するデータが文字列で指定できない場合は、**BinaryConversion**の値をOPOS_BC_NIBBLE(1)、またはOPOS_BC_DECIMAL(2)で指定し、指定したフォーマットでデータを入力してください。 FNC1は1BH、30Hを入力します。 1BHは1BH、1BHを入力します。
Width	*Width*=V×X V：モジュール数（15 ～ 151） X：モジュールサイズ（2 ～ 16） V及びXは*Data*と*Width*に応じて自動で設定されます。

*1: MP-B30はサポートしていません。

Aztec Codeのモデルは自動設定されます。エラー訂正レベルは23%固定とします。Aztec Codeは正方形なので、印字サイズは*Width*に従うものとし、*Height*は無視します。

【GS1 Databar Limited】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
Width	*Width*=79×X 1*1≦*Width*≦474 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～236を設定した場合、*Width*は158に設定されます。

【GS1 Databar Stacked】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
Height	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*Height*=26に設定されます。
Width	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*Width*=100に設定されます。

モジュール幅は2固定となります。

【GS1 Databar Truncated】

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'を13文字で入力してください。
Width	*Width*=96×X 1[*1]≦*Width*≦576 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*Width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～287を設定した場合、*Width*は192に設定されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のエラーの内、1つが起こりました。 ・*Station*が存在しません。 ・*Station*はバーコード印刷をサポートしていません。 ・*Height*あるいは*Width*が0、あるいは大きすぎます。 ・サポートされていない*Symbology*です。 ・*Alignment*が不正な値です。 ・*TextPosition*が不正な値です。 ・設定されたデータは印字できないデータです。 ・指定された*Width*に収めた印字ができません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

PrintBitmap メソッド

形式　**LONG PrintBitmap (LONG** *Station***, BSTR** *FileName***, LONG** *Width***, LONG** *Alignment***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
FileName	ビットマップファイル名。対応イメージファイルは下記を参照してください。
Width	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照してください。
Alignment	ビットマップの印刷位置。下記の値を参照してください。

- 対応ビットマップファイル

項目	仕様
拡張子	bmp
型式	Windows Bitmap
カラー	1、4、8、24ビット
圧縮形式	非圧縮型のみ

- *Width*の値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンターのドット当たり1ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。**MapMod**eで定義された単位で表記します。**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、1～**RecLineWidth**の範囲で指定してください。また、**RotatePrint**によるビットマップの左右90度回転を行う場合、プリンターの最大値を超えない範囲内で指定してください（プリンターの最大値は**PageModeArea**を参照してください)。 **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeHorizontalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。

値は本ソフトウェアにより8の倍数に切り上げられます。変換後の値が印刷領域を超えない範囲でビットマップ幅を指定してください。

- *Alignment*の値

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BM_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	ビットマップ印刷を開始する左端からの距離。**MapMode**で定義された単位で表記します。

RotatePrintによる左右90度回転中、**PageModePrint**によるページモード中は*Alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

説明　指定されたプリンターにビットマップを印刷する時に本メソッドを呼び出します。
PrintBitmapは呼び出された時点でビットマップデータをプリンターに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。**SetBitmap**とエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。
本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。
*Width*はビットマップの変換をコントロールします。*Width*がPTR_BM_ASIS(-11)の場合、変換は実行されません。ビットマップはプリンタードット当たり1ピクセルで印刷されます。
*Width*が0ではない場合、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大されたり圧縮されたりすることにより、変換されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のエラーの内、1つが起こりました。 ・*Station*が存在しません。 ・*Station*がビットマップ印刷をサポートしていません。 ・*Width*が大きすぎます。 ・*Alignment*が、不正な値であるか、大きすぎます。 正立、倒立印字時に位置指定を行った場合、印字ビットマップ幅との合計が**RecLineWidth**の範囲を超えています。 ・32bitカラーのビットマップが設定されています。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_NOEXIST(109)	*FileName*で指定されたファイルが見つかりませんでした。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

PrintImmediate メソッド

形式　**LONG PrintImmediate (LONG** *Station*, **BSTR** *Data*);

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Data	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、ラインフィード (LF)、キャリッジリターン (CR) から成ります。LF、CRについて、下記の*Data*内の特別なキャラクタの値と意味を参照してください。 このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversion**を参照してください。

*Data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

値	意味
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

説明　本メソッドは*Data*のデータを直ちに印刷します。一行の最大文字数を越える分のデータは次の行に折り返して印刷します。本メソッドは**TransactionPrint**、**RotatePrint**によるバッファリングは行なわれず、直ちに印刷を実行します。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータを全て印刷した後に印刷を実行します。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定したプリンターが存在しません。
OPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウトが発生しました。

PrintMemoryBitmap メソッド

形式　**LONG PrintMemoryBitmap (LONG** *Station***, BSTR** *Data***, LONG** *Type***, LONG** *Width***, LONG** *Alignment***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Data	ビットマップデータを保持しているバイト配列。対応イメージファイルは**PrintBitmap**を参照してください。このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversion**を参照してください。
Type	ビットマップの形式。*Data*で示されたデータのフォーマットはPTR_BMT_BMP(1)のみサポートします。
Width	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照してください。
Alignment	ビットマップの印刷位置。下記の値を参照してください。

- *Width*の値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンターのドット当たり1ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。**MapMode**で定義された単位で表記します。**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、1～**RecLineWidth**の範囲で指定してください。また、**RotatePrint**によるビットマップの左右90度回転を行う場合、プリンターの最大値を超えない範囲内で指定してください（プリンターの最大値は**PageModeArea**を参照してください)。 **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeHorizontalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。

値は本ソフトウェアにより8の倍数に切り上げられます。変換後の値が印刷領域を超えない範囲でビットマップ幅を指定してください。

- *Alignment*の値

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BM_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	ビットマップ印刷を開始する左端からの距離。**MapMode**で定義された単位で表記します。

RotatePrintによる左右90度回転中、**PageModePrint**によるページモード中は*Alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

説明　指定されたプリンターにメモリ上に保持されたビットマップを印刷する時に本メソッドを呼び出します。
動作仕様は**PrintBitmap**を参照してください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のエラーの内、1つが起こりました。 ・*Station*が存在しません。 ・*Station*がビットマップ印刷をサポートしていません。 ・*Width*が大きすぎます。 ・*Alignment*が、不正な値であるか、大きすぎます。 正立、倒立印字時に位置指定を行った場合、印字ビットマップ幅との合計が**RecLineWidth**の範囲を超えています。 ・32bitカラーのビットマップが設定されています。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_NOEXIST(109)	*Data*にデータがありませんでした。

値	意味
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

PrintNormal メソッド

形式　**LONG PrintNormal (LONG** *Station***, BSTR** *Data***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Data	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、ラインフィード（LF)、キャリッジリターン（CR）から成ります。LF、CRについて、下記、*Data*内の特別なキャラクタの値と意味を参照してください。 このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversio**nを参照してください。

*Data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

値	意味
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

説明　本メソッドは*Data*のデータを印刷する時に呼び出します。最大桁数を越える分のデータは次の行に折り返して印刷します。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータを全て印刷した後に印刷を実行します。
本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定したプリンターが存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウト、またはデータ受信タイムアウトが発生しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

PrintTwoNormal メソッド

形式　**LONG PrintTwoNormal (LONG** *Stations***, BSTR** *Data1***, BSTR** *Data2***);**

説明　本メソッドはサポートしていません。

戻り値　下記の値が戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

RotatePrint メソッド

形式　**LONG RotatePrint (LONG** *Station***, LONG** *Rotation***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Rotation	回転方向。下記の値を参照してください。

- *Rotation*の値

値	意味
PTR_RP_RIGHT90(257)	右に90度回転（時計回りに）します。
PTR_RP_LEFT90(258)	左に90度回転（反時計回りに）します。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180度回転印刷、つまり倒立印字します。
PTR_RP_BARCODE(4096)	回転バーコード印刷を開始します。この値は上記の回転印刷開始の値の１つとの論理和です。
PTR_RP_BITMAP(8192)	回転ビットマップ印刷を開始します。この値は上記の回転印刷開始の値の１つとの論理和です。**PrintBitmap**で印字されるビットマップを回転させます。
PTR_RP_NORMAL(1)	回転印刷を終了します。

説明　本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。

*Rotation*がPTR_RP_ROTATE180(259)ならば、倒立印刷モードが開始されます。**RotatePrint**が*Rotation*をPTR_RP_NORMAL(1)に設定して呼ばれるまで、**PrintNormal**と**PrintImmediate**の呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。行はPOSプリンターコントロールに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンターの右マージンに合わされます。PTR_RP_BARCODE(4096)が*Rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**PrintBarCode**によるバーコード印字は倒立されて印字されます。また、PTR_RP_BITMAP(8192)がRotationにPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**PrintBitmap**によるビットマップ印字は倒立されて印字されます。

- **180度回転に関する注意**

TransactionPrintによる一括処理を開始した場合、**ClearOutput**と同様に倒立印字モードは解除されます。

*Rotation*がPTR_RP_RIGHT90(257)またはPTR_RP_LEFT90(258)ならば、横書きモードが開始されます。**RotatePrint**が*Rotation*をPTR_RP_NORMAL(1)に設定して呼ばれるまで、**PrintNormal**の呼び出しによるデータはバッファリングされます。(この場合、上記のメソッドのデータはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。また、**AsyncMode**の値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputID**は割り当てられず、**OutputCompleteEvent**も通知しません。)

PTR_RP_BARCODE(4096)が*Rotation*に設定されている場合、**PrintBarCode**によるバーコード印字はバッファリングされます。PTR_RP_BITMAP(8192)が*Rotation*に設定されている場合、**PrintBitmap**によるビットマップ印字はバッファリングされます。
*Rotation*がPTR_RP_NORMAL(1)の場合、回転印刷モードは終了します。横向き回転印刷モードが有効な時に、印字データがバッファリングされていた場合は、そのバッファリングされたデータは印刷されます。
横書きモードにおける横幅は、最適なサイズとなるようにサービスオブジェクトが計算を行います。
横書きモードにおける最大幅は2400ドットとなります。１行あたりの印字データがこの領域を超える場合は、横幅は2400ドットとなり、１行に印字できないデータは次行へ改行されて印字されます。

- **90度回転に関する注意**

横書きモード中に**PrintNormal**に対して、「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス(ESC|#B)によるビットマップ印刷を指定した場合、*Rotation*にかかわらず、バッファリングされます。

TransactionPrintによる一括処理を開始した場合、**ClearOutput**と同様に横書きモードは解除されます。これは**TransactionPrint**によるバッファリングが**RotatePrint**によるバッファリングより優先するためです。横書きモードを一括印字で行うには、**TransactionPrint**実行後に、**RotatePrint**を実行、**RotatePrint**による回転印刷を終了し、**TransacitonPrint**による一括印字の解除を行って印字を行ってください。

ClearOutputを呼ぶことにより、回転印刷モードは中止され、バッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定したプリンターが存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

SetBitmap メソッド

形式　**LONG SetBitmap (LONG** *BitmapNumber***, LONG** *Station***, BSTR** *FileName***, LONG** *Width***, LONG** *Alignment***);**

パラメータ	説明
BitmapNumber	このビットマップに割り当てられる番号。有効な値は、1～20です。
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
FileName	ビットマップファイル名。 空文字列が設定された場合、ビットマップの設定は解除されます。 対応イメージファイルは**PrintBitmap**を参照してください。
Width	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照してください。
Alignment	ビットマップの印刷位置。値は**PrintBitmap**を参照してください。

- *Width*の値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンターのドット当たり1ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。**MapMode**で定義された単位で表記します。**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、1～**RecLineWidth**の範囲で指定してください。

説明　印刷するビットマップに関する情報を保存する時に呼び出します。
ビットマップは、印刷データ内に「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）をもつ**PrintNormal**あるいは**PrintImmediate**を呼ぶことで印刷されます。
サービスオブジェクトはプリンターのダウンロードビットイメージ領域、及び、NVグラフィックス領域にビットマップデータをダウンロードして、印刷に備えます。エスケープシーケンスによりビットマップの印刷が指定された時には印刷を指示するコマンドだけが送信されるので、最適なパフォーマンスが得られます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のエラーの内、1つが起こりました。 ・*BitmapNumber*が不正な値です。 ・*Station*が存在しません。 ・*Station*がビットマップ印刷をサポートしていません。 ・*Width*が大きすぎます。 ・*Alignment*が、不正な値であるか、大きすぎます。 絶対位置指定を行った場合、印字ビットマップ幅との合計が**RecLineWidth**の範囲を超えています。 ・32bitカラーのビットマップが設定されています。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_NOEXIST(109)	*FileName*で指定されたファイルが見つかりませんでした。
OPOS_E_FAILURE(111)	プリンターの残りメモリが不足しているため、ビットマップの登録に失敗しました。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	データ送信タイムアウトが発生したか、タイムアウト時間内にプリンターからの応答を取得できませんでした。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。（**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。）
OPOS_E_EXTENDED(114)	**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

SetLogo メソッド

形式　**LONG SetLogo (LONG** *Location***, BSTR** *Data***);**

パラメータ	説明
Location	設定するロゴ。PTR_L_TOP(1)あるいはPTR_L_BOTTOM(2)を指定してください。
Data	ロゴを作る文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、ラインフィード（LF）、キャリッジリターン（CR）から成ります。LF、CRについて、下記、*Data*内の特別なキャラクタの値と意味を参照してください。 このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversion**を参照してください。

*Data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

値	意味
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

説明　データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存する時に呼び出します。
プリントデータ内に、「トップロゴ印刷」エスケープシーケンス（ESC|tL）あるいは「ボトムロゴ印刷」エスケープシーケンス（ESC|bL）を含んだ**PrintNormal**または**PrintImmediate**を呼ぶことによって、ロゴの印刷ができます。
本メソッドで登録される*Data*は、メソッドを実行した時点の**CharacterSet**のキャラクタセットでデータを保持します。よって、**CharacterSet**が932で**SetLogo**を実行し、漢字を含むデータを登録します。その後、エスケープシーケンスで印字を行う際に、**CharacterSet**が999に設定してある場合でも漢字が印字されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な*Location*が指定されました。
その他	**ResultCode**の項目を参照してください。

TransactionPrint メソッド

形式　**LONG TransactionPrint(LONG** *Station***, LONG** *Control***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Control	一括処理。下記の値を参照してください。

*Control*の値

値	意味
PTR_TP_TRANSACTION(11)	一括処理の開始。
PTR_TP_NORMAL(12)	バッファデータを印字して一括処理を終了します。

説明　一括処理モードに入る時または抜ける時に本メソッドを呼び出します。
*Control*がPTR_TP_TRANSACTION(11)ならば、一括処理モードに入ります。その後の**PrintNormal**、**CutPaper**、**RotatePrint**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、**PrintMemoryBitmap**または**DrawRuledLine**への呼び出しは、*Control*にPTR_TP_NORMAL(12)をセットして**TransactionPrint**が呼び出されるまで、印刷データはサービスオブジェクトによりバッファリングされます。(この場合、前記のメソッドの印刷データはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。また、**AsyncMode**の値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputID**は割り当てられませんし、**OutputCompleteEvent**も通知しません。)

*Control*がPTR_TP_NORMAL(12)ならば、一括処理モードを抜けます。**PrintNormal**、**CutPaper**、**RotatePrint**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、**PrintMemoryBitmap**または**DrawRuledLine**によりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。本メソッドは**AsyncMode**がFALSEならば、同期的に実行され、**AsyncMode**がTRUEならば、非同期的に実行されます。
ClearOutputを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。
RotatePrintとの併用に関しては、**RotatePrint**を参照してください。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定したプリンターが存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中かエラー中のため、実行できません。(**AsyncMode**がFALSEの場合は**State**がOPOS_S_BUSY(3)かOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定され、**AsyncMode**がTRUEの場合は**State**がOPOS_S_ERROR(4)の場合に設定されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	OPOS_EPTR_TOOBIG(206)、OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)を除く、**ResultCodeExtended**で定義されているエラーが通知されます。

ValidateData メソッド

形式　**LONG ValidateData(LONG** *Station***, BSTR** *Data***);**

パラメータ	説明
Station	使用するステーションを指定します。PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
Data	判定されるデータ。印刷可能なデータとエスケープシーケンスを含みます。このデータのフォーマットは**BinaryConversion**の値に依存します。詳細は**BinaryConversion**を参照してください。

説明　**PrintNormal**または**PrintImmediate**を呼び出す前に、指定されたプリンターにとって、おそらく1つ以上のエスケープシーケンスを含むデータシーケンスが、有効か否かを判定する時に呼び出します。
本メソッドは印刷は行いませんが、そのプリンターの能力を判定するために使用されます。

戻り値　下記の値のいずれかが戻され、**ResultCode**にも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	データは有効です。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**ClaimDevice**を実行してください。
OPOS_E_DISABLED(105)	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**をTRUEに設定後に実行してください。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	1つ以上のエスケープシーケンスが範囲外です。しかし、コントロールは有効な選択肢を選ぶことができます。 また、エスケープシーケンスがページモードや、右90度または左90度の回転印刷モードでサポートされていない場合も、この値が格納されます。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
OPOS_E_FAILURE(111)	1つ以上のエスケープシーケンスがサポートされていません。選ぶことのできる選択肢はありません。

OPOS_E_ILLEGAL(106)が通知されるケースは、下記の場合です。

エスケープシーケンス	状況
複数行フィード	下記のいずれかの状態です。 ･行数'#'が正しくありません。コントロールはサポートされている最も近い値を選択します。 ･**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ･**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
単位フィード	･フィード量'#'は**MapMode**の設定によっては1ドット分の丸め誤差が発生するため正確にはサポートされていません。 ･フィード量'#'が正しくありません。コントロールはサポートされている最も近い値を選択します。 ･**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ･**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
埋め込みデータの送信	埋め込みデータのバイト数'#'が正しくありません。
バーコード印刷	下記のいずれかの状態です。 ･バーコードデータのバイト数'#'が正しくありません。 ･Rに続く属性を示す文字、またはパラメータ値が正しくありません。
罫線印刷	下記のいずれかの状態です。 ･罫線データのバイト数'#'が正しくありません。 ･dLに続く属性を示す文字、またはパラメータ値が正しくありません。
アンダーライン	太さ'#'が正しくありません。コントロールはサポートされている最も近い値を選択します。
縦倍率	倍率'#'が正しくありません。コントロールはサポートされている最も近い値を選択します。
横倍率	倍率'#'が正しくありません。コントロールはサポートされている最も近い値を選択します。

エスケープシーケンス	状況
中央揃え	下記のいずれかの状態です。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
右寄せ	下記のいずれかの状態です。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
左寄せ	下記のいずれかの状態です。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。

OPOS_E_FAILURE(111)が通知されるケースは、下記の場合です。

エスケープシーケンス	状況
(全般)	エスケープシーケンスの書式が無効です。
用紙カット	サポートしていません。
フィードと用紙カット	サポートしていません。
フィードとカットとスタンプ印刷	サポートしていません。
スタンプ印刷	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ビットマップ番号'#'が正しくありません。
逆フィード	サポートしていません。
フォントタイプ指定	サポートしていません。
イタリック	サポートしていません。
カスタムカラー	サポートしていません。
網掛け文字	サポートしていません。
色指定	サポートしていません。
サブ　スクリプト	サポートしていません。
スーパー　スクリプト	サポートしていません。
取り消し線	サポートしていません。

データ	状況
data1CRdata2LF	(CRはキャリッジリターン、LFはラインフィードです。) データを印刷後その行に残ることができません。データdata1は1行に印刷され、データdata2は次の行に印刷されます。

5.7 イベント

DirectIOEvent イベント

形式　**void DirectIOEvent (LONG** *EventNumber***, LONG*** *pData***, BSTR*** *pString***);**

説明　本イベントはサポートしていません。

ErrorEvent イベント

形式　**void ErrorEvent (LONG** *ResultCode***, LONG** *ResultCodeExtended***, LONG** *ErrorLocus***, LONG*** *pErrorResponse***);**

パラメータ	説明
ResultCode	エラーイベントを起こした要因のコード。値は**ResultCode**の項目を参照してください。
ResultCodeExtended	エラーイベントを起こした要因の拡張コード。下記の値を参照してください。
ErrorLocus	OPOS_EL_OUTPUT(1)に設定します。非同期出力中にエラーが起こりました。
pErrorResponse	エラーイベント応答へのポインタです。下記の値を参照してください。

*ResultCode*がOPOS_E_EXTENDED(114)の場合、*ResultCodeExtended*は下記に示す値のいずれかに設定されます。

値	意味
OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201)	カバーが開いています。
OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203)	レシート用紙がありません。
OPOS_EPTR_VPPOWER(1001)	Vp電圧エラーが発生しました。
OPOS_EPTR_HEAD_TEMP(1005)	ヘッド温度エラーが発生しました。
OPOS_EPTR_UNRECOVERABLE(1010)	復帰不可能エラーが発生しました。
OPOS_EPTR_BATTERY(1013)	バッテリーエラーが発生しました。
OPOS_EPTR_MARK_JAM(1014)	マークまたはギャップ検出時に紙ジャムエラーが発生しました。

*pErrorResponse*によって指定される位置の内容は、OPOS_ER_RETRY(11)のデフォルト値にプリセットされます。

アプリケーションは下記に示す値の内の1つを設定します。

値	意味
OPOS_ER_RETRY(11)	その非同期処理を再度試みます。エラー状態は抜けます。レジストリ"ProcessCompletionTiming"="0"の場合、プリンターに送信が完了していない全てのデータの印字を行います。レジストリ"ProcessCompletionTiming"="1"の場合、印字が完了していない全てのデータの印字を行います。

値	意味
OPOS_ER_CLEAR(12)	全てのバッファリングされている印字データを削除します。エラー状態は抜けます。

説明　エラーを察知し、POSプリンターコントロールの状態がエラー状態に移った時に通知されます。

OutputCompleteEvent イベント

形式　**void OutputCompleteEvent (LONG** *OutputID***);**

*OutputID*は完了した非同期出力リクエストのID番号を示します。

説明　前に開始された非同期出力リクエストが正常に終了した時に通知します。

StatusUpdateEvent イベント

形式　**void StatusUpdateEvent (LONG** *Status***);**

*Status*は下記に示す値のいずれかに設定されます。

値	意味
PTR_SUE_COVER_OPEN(11)	プリンターカバーが開いています。
PTR_SUE_COVER_OK(12)	プリンターカバーが閉じています。
PTR_SUE_REC_EMPTY(24)	レシート用紙がありません。
PTR_SUE_REC_PAPEROK(26)	レシート用紙が用意できました。
PTR_SUE_IDLE(1001)	全ての非同期出力が、成功するか、または削除されることによって終了しました。POSプリンターコントロールの**State**は現在OPOS_S_IDLE(2)です。**FlagWhenIdle**は、本イベントが通知するためにTRUEである必要があります。そして、POSプリンターコントロールは、イベントが通知する前に、そのプロパティをFALSEへ自動的にリセットします。
OPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)	デバイスは電源オンかつレディ状態です。（**PowerNotify**=OPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知）
OPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。（**PowerNotify**=OPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知）

説明　プリンターデバイス側に重要な状態の変化が起こった時に通知されます。

Bluetoothモデルはデバイスが電源オフまたはオフライン状態になってからOPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)が通知されるまでに30秒程度かかることがあります。また、デバイスが電源オン状態になってからOPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)が通知されるまでに10秒程度かかることがあります。

6章　本ソフトウェアが使用するレジストリについて

設定プログラムにより設定されるレジストリの詳細を下記に示します。

レジストリの値は手動で設定することも可能ですが、設定プログラムで設定してください。また、レジストリ内容は、本ソフトウェアが**Open**を実行したタイミングで読込まれますので、本ソフトウェア動作中に値を変更しても動作には反映されません。新しい設定値を反映させるには、一旦本ソフトウェアで**Close**を発行後、**Open**を発行してください。

6.1 POSプリンターコントロール

[レジストリキー]
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥OLEforRetail¥ServiceOPOS¥POSPrinter¥デバイス名キー

デバイス名キーはプリンターに依存します。プリンターのデバイス毎に設定プログラムにより追加されます。

プリンター	デバイス名キー	意味
MP-B21L	"MP-B21L"など	設定プログラムで追加したプリンターのデバイス名
MP-B30L	"MP-B30L"など	
MP-B30	"MP-B30"など	

[レジストリ値一覧]

値名	値	意味
(既定)	OPOS.POSPRINTER.SO.SII.CORE.GEN	-
CoreSODLLPath	C:¥Program Files¥SII¥OPOS¥SPSWO_Prn.dll	POSプリンターサービスオブジェクトのファイル名称（フルパス）
DefaultCharacterSet	932（日本語） 999（英語）	**CharacterSet**の初期値
Description	SII MP-Bxx POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc.	プリンター専用POSプリンターサービスオブジェクトの詳細

値名	値	意味
DriverName	SII MP-B21L SII MP-B30L SII MP-B30	プリンタードライバー名 プリンタードライバーの設定で使用
PortName	-	通信ポート名
Interface	Driver	初回設定時のインターフェイス
LogRetentionPeriod	1	ログファイルの保存期間 1： 1日分 3： 3日分 10：10日分 30：30日分 90：90日分
LogLevelCore	-1	POSプリンターサービスオブジェクトのログ出力レベル -1：出力しない 0：エラー 4：トレース
LogLevelSub	-1	MP-Bxx専用POSプリンターサービスオブジェクトのログ出力レベル -1：出力しない 0：エラー 4：トレース
MarkMode	0	マーク検出モード 0：マーク検出無効 1：マーク検出有効
PrintWidth	384	MP-B21L 印字幅・有効ドット数選択 168：21mm/168dots 176：22mm/176dots 192：24mm/192dots 208：26mm/208dots 224：28mm/224dots 240：30mm/240dots 256：32mm/256dots 272：34mm/272dots 288：36mm/288dots 304：38mm/304dots 320：40mm/320dots 336：42mm/336dots 352：44mm/352dots 360：45mm/360dots 368：46mm/368dots 384：48mm/384dots

値名	値	意味
PrintWidth	576	MP-B30L 印字幅・有効ドット数選択 360：45mm/360dots 368：46mm/368dots 384：48mm/384dots 400：50mm/400dots 416：52mm/416dots 432：54mm/432dots 448：56mm/448dots 464：58mm/464dots 480：60mm/480dots 496：62mm/496dots 512：64mm/512dots 528：66mm/528dots 544：68mm/544dots 560：70mm/560dots 576：72mm/576dots
PaperSize	3	MP-B30 レシート用紙幅・有効ドット数選択 3：80mm/576dots
PrintQuality	0	プリンターの印字品質選択 0：**RecLetterQuality**の設定有効 1：標準 2：品質1 3：品質2
SendTimeout	10000	送信タイムアウト（ミリ秒）
ReceiveTimeout	10000	受信タイムアウト（ミリ秒）
ProcessCompletionTiming	1	処理完成タイミング設定 0：データ送信の完了 1：印字の完了
SubSODLLPath	MP-B21L： C:¥Program Files¥SII¥OPOS¥SPSWO_Prn_MPB21L.dll MP-B30L： C:¥Program Files¥SII¥OPOS¥SPSWO_Prn_MPB30L.dll MP-B30： C:¥Program Files¥SII¥OPOS¥SPSWO_Prn_MPB30.dll	MP-Bxx専用POSプリンターサービスオブジェクトのファイル名称（フルパス）
Version	1.14.xx	MP-Bxx専用POSプリンターサービスオブジェクトのバージョン

7章　ヘッダファイルについて

7.1 POSプリンターヘッダファイル

本ソフトウェアで使用するヘッダファイルを下記に示します。
本ソフトウェアで独自に定義する定数は下記の通りです。

- **OPOS_EPTR_VPPOWER**
- **OPOS_EPTR_HEAD_TEMP**
- **OPOS_EPTR_IMAGEAREA_FULL**
- **OPOS_EPTR_UNRECOVERABLE**
- **OPOS_EPTR_BATTERY**
- **OPOS_EPTR_MARK_JAM**
- **PTR_DI_GET_REMAINING_MEMORY**
- **PTR_DI_SET_INTERNATIONAL_CHARACTER**
- **PTR_DI_GET_STATUS_DATA**

ヘッダファイル siicommptr.h

```
////////////////////////////////////////////////////////////////////
//
// SIICommPtr.h
//
// POS Printer header file for OPOS Applications.
//
// Modification history
// ---------------------------------------------------------------
//
////////////////////////////////////////////////////////////////////
#if  !defined(SIICOMMPTR_H)
#define SIICOMMPTR_H
////////////////////////////////////////////////////////////////////
// OPOS "ResultCodeExtended" Property Base Constants
////////////////////////////////////////////////////////////////////
const LONG PTRERREXT = 1000; // POS Printer specific error base
////////////////////////////////////////////////////////////////////
```

```
// "ResultCodeExtended" Property Constants for Printer
/////////////////////////////////////////////////////////////////
const LONG OPOS_EPTR_VPPOWER         =  PTRERREXT+1;
const LONG OPOS_EPTR_HEAD_TEMP       =  PTRERREXT+5;
const LONG OPOS_EPTR_IMAGEAREA_FULL  =  PTRERREXT+9;
const LONG OPOS_EPTR_UNRECOVERABLE   =  PTRERREXT+10;
const LONG OPOS_EPTR_BATTERY         =  PTRERREXT+13;
const LONG OPOS_EPTR_MARK_JAM        =  PTRERREXT+14;

/////////////////////////////////////////////////////////////////
// Parameter Constants of "DirectIO" Method
/////////////////////////////////////////////////////////////////
const LONG PTR_DI_GET_REMAINING_MEMORY         = 3;
const LONG PTR_DI_SET_INTERNATIONAL_CHARACTER  = 201;
const LONG PTR_DI_GET_STATUS_DATA              = 501;
#endif  //!defined(SIICOMMPTR_H)
```